

HT-4559-702/702E/705/705E

HT-4559-922/925

**ソフトウェア&ユーティリティ
ユーザーズガイド**

**Windows 版
プリンタドライバ編**



Adobe® PostScript® 3™

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・操作を行なう前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

来歴表

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
00	初版—全ページ	2003年7月
01	表紙、ii(01)～vi(01)、1-2(01)、1-3(01)、1-5(01)、1-6(01)、2-1(01)～2-18(01)、3-4(01)、3-5(01)、3-7(01)、3-9(01)、3-10(01)、3-13(01)、3-14(01)、3-16(01)、4-2(01)～4-4(01)、4-14(01)、5-2(01)、5-3(01)、5-6(01)～5-42(01)、6-2(01)～6-7(01)、6-13(01)、6-14(01)、6-30(01)、6-34(01)	2004年1月
02	表紙、iii(02)、1-3(02)、2-8(02)、2-10(02)、3-7(02)、3-9(02)、4-7(01)～4-9(01)、4-11(01)、4-12(01)、4-17(01)、4-18(01)、5-17(02)、5-39(02)、5-42(02)	2004年10月
03	表紙、iii(03)、vi(02)、1-3(03)、2-5(02)、2-8(03)、2-13(02)、5-17(03)、5-32(02)、5-37(02)、5-42(03)、5-43(01)、5-44(01)、6-29(01)	2005年1月
04	2-5(03)、2-13(03)	2005年1月
05	1-2(02)、2-6(02)、2-8(04)、2-10(03)、2-18(02)、3-5(02)、3-7(03)、3-9(03)、3-16(02)、6-2(02)	2005年3月
06	2-5(04)、2-6(03)、2-13(04)、5-7(02)、5-14(02)、5-15(02)	2005年5月
07	iv(02)、v(02)、1-2(03)、1-3(04)、1-4(01)、1-6(02)、2-2(02)、2-4(02)、2-5(05)、2-6(04)、2-8(05)、2-9(02)、2-10(04)、2-11(02)、2-13(05)、2-15(02)、2-16(02)、2-17(02)、2-18(03)、3-2(01)、3-4(02)、3-5(03)、3-7(04)、3-8(01)、3-9(04)、3-10(02)、3-13(02)、3-14(02)、3-15(01)、3-16(03)、4-2(02)、4-7(02)、4-8(02)、4-9(02)、4-10(01)、4-12(02)、4-15(01)、4-16(01)、4-17(02)、4-18(02)、5-1(01)、5-2(02)、5-5(01)、5-7(03)、5-14(03)、5-15(03)、5-17(04)、5-22(02)、5-23(02)、5-25(02)、5-26(02)、5-29(02)、5-30(02)、5-31(02)、5-32(03)、5-34(02)、5-35(02)、5-36(02)、5-37(03)、5-38(02)、5-39(03)、5-40(02)、5-42(04)、6-2(03)、6-6(02)、6-11(01)、6-16(01)、6-22(01)、6-27(01)、6-32(01)	2006年1月
08	表紙、iii(04)、iv(03)、1-2(04)、1-3(05)、1-5(02)、1-6(03)、「第2章 Windows Vista からの印刷」の追加に伴い第3章以降の全ページ変更	2007年7月
09	表紙、iii(05)、iv(04)、v(03)、vi(03)、vii(00)～viii(00) 削除、1-2(05)、1-3(06)、1-5(03)、1-6(04)、2-5(00)、「2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」の追加に伴い2.3項以降の2章全ページ変更、2-26(00)、3-4(00)、3-5(00)、「3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」の追加に伴い3.3項以降の3章全ページ変更、「第4章 Windows NT4.0 からの印刷」「第5章 Windows 95/98 からの印刷」の削除に伴い第4章以降の全ページ変更	2008年6月
10	iv(05)、v(04)～vi(04)、1-2(06)、1-3(07)、1-5(04)、1-6(05)、1-7(01)、2-1(01)～2-5(01)、2-6(02)～2-25(02)、2-26(01)、3-8(07)、3-21(03)、4-37(06)、4-39(06)、4-42(07)、4-43(03)、5-2(03)～5-9(03)、5-11(04)～5-12(04)、5-18(04)、5-19(03)	2008年10月
11	表紙、iii(06)～iv(06)、v(05)～vi(05)、1-2(07)、1-3(08)、1-5(05)、1-6(06)、2-1(02)～2-5(02)、2-6(03)～2-25(03)、2-26(02)、3-6(05)、3-7(08)、3-11(05)、3-15(08)、3-16(04)、3-17(05)、4-2(05)、4-37(07)、4-39(07)、4-40(05)、4-41(04)、4-42(08)、4-43(04)、4-44(03)、4-45(00)、4-46(00)、5-2(04)～5-9(04)、5-16(03)～5-17(03)、5-18(05)、5-19(04)	2010年7月

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
12	<ul style="list-style-type: none"> ・社名変更 表紙、iv (07)、1-3(09) ・来歴ページ追加 ii ・画像の OS 表記削除 1-2(08) ・Windows8/Server2012 追加 1-3(09)、1-5(06)、1-6(07)、2-1(03)、2-2(03)、2-3(03)、2-4(03)、 2-6(03)、2-7(04)、2-10(04)、2-11(04)、2-13(04)、2-15(04)、 2-17(04)、2-23(04)、2-26(04)、2-27(04)、4-37(08)、4-39(08)、 4-43(05)、4-45(01)、5-2(05)、5-3(05)、5-5(05)、5-7(05)、5-18(06)、 5-20(05) ・Window2000 削除 1-3(09)、1-5(06)、1-6(07)、3章全ページ変更、4-37(08)、4-39(08)、 4-43(05)、5-10(06)、5-11(05)、5-12(05)、5-13(06)、5-14(04)、 5-15(03)、5-18(06)、5-22(04) ・手順修正 2-17(04)、2-21(04)、2-22(04)、3-15(05)、3-16(06)、3-19(06)、 5-22(04) ・インフォメーション画像変更 4-17(07) ・誤記修正 2-17(04) ・目次更新 v (07)、vi(06)、vii(06) 	2013 年 10 月
13	<ul style="list-style-type: none"> ・HT-4559-702E/HT-4559-705E の記載追加 表紙、iii (03)、1-7(02) ・著作権情報変更 表紙、iv (08)、1-3(10) ・社名変更 表紙、iv (08)、1-3(10) ・誤記修正 4-17(08) 	2014 年 04 月
14	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタモデル追加 5-4(05)、5-5(06)、5-12(06) 	2014 年 07 月

はじめに

このマニュアルは、以下のプリンタに添付される「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の使用方法、Windows 版プリンタドライバのインストール方法および操作方法について説明しています。

ご使用のプリンタが HT-4559-702E または HT-4559-705E の場合は、HT-4559-702 または HT-4559-705 用プリンタドライバをご使用ください。

モデル名	形名
HT-4559-702/702E (日本語 2 書体版)	LB070BKT
HT-4559-705/705E (日本語 5 書体版)	LB070BKT
HT-4559-922 (日本語 2 書体版)	LB092AKT
HT-4559-925 (日本語 5 書体版)	LB092AKT



注意

- ・操作を行う前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- ・このマニュアルは必要なときすぐ参照できるよう、使いやすい場所に保管してください。
- ・このマニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
- ・本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。

商標について

Copyright (c) 2014 Ricoh Company, Ltd.
All Rights Reserved.

このマニュアルおよびマニュアル中に記載されている内容は株式会社リコーによりすべての著作権が保存されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複写、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語に翻訳することはできません。

Adobe、PostScript、PostScript ロゴ、Acrobat、PageMaker は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標もしくは商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。

Macintosh、Mac OS、TrueType は米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet (イーサネット) はゼロックス社の商標です。

リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101 は株式会社モリサワの商標です。

NetWare は米国ノベル社の登録商標です。

その他、記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標もしくは商標です。

目次

第 1 章 ご使用の前に

- 1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について 1-2
- 1.2 ソフトウェアインストールメニュー画面について 1-3
- 1.3 プリンタドライバについて 1-5
 - 1.3.1 Windows 版プリンタドライバの動作環境 1-5
 - 1.3.2 プリンタドライバの選択 1-6

第 2 章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷

- 2.1 プリンタとの接続確認 2-2
- 2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加 2-6
- 2.3 LPR ポートの追加 2-7
- 2.4 プリンタドライバのインストール 2-10
- 2.5 プロパティの表示 2-15
- 2.6 プリンタ共有 2-17
- 2.7 印刷するポートの変更 2-19
 - 2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合 2-20
 - 2.7.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 2-22
- 2.8 プリンタドライバ初期値の変更 2-23
- 2.9 アプリケーションソフトからの印刷 2-25
- 2.10 プリンタドライバのアンインストール 2-26
 - 2.10.1 プリンタアイコンの削除 2-26
 - 2.10.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除 2-29

第 3 章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

- 3.1 プリンタとの接続確認 3-2
- 3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加 3-4
- 3.3 プリンタドライバのインストール 3-6
- 3.4 プロパティの表示 3-11
- 3.5 プリンタ共有 3-12
- 3.6 印刷するポートの変更 3-13
 - 3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合 3-14
 - 3.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 3-16
- 3.7 プリンタドライバ初期値の変更 3-17
- 3.8 アプリケーションソフトからの印刷 3-18
- 3.9 プリンタドライバのアンインストール 3-19
 - 3.9.1 プリンタアイコンの削除 3-19
 - 3.9.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除 3-20

第 4 章 プリンタドライバの設定

- 4.1 ダイアログの構成 4-2
- 4.2 [ドキュメント] ダイアログ 4-3
- 4.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ 4-7
- 4.4 [セパレータ] ダイアログ 4-8

4.5	[透かし文字の設定] ダイアログ	4-10
4.6	[フォント設定] ダイアログ	4-12
4.7	[イメージ] ダイアログ	4-13
4.8	[高度な設定] ダイアログ	4-14
4.9	[デバイスオプション] ダイアログ	4-16
4.10	[インフォメーション] ダイアログ	4-17
4.11	セパレータの活用	4-18
4.11.1	バナーページ/スリップシート/フロントカバー/バックカバー	4-18
4.11.2	0HP 保護用紙トレイ	4-19
4.11.3	シート挿入	4-20
4.12	混在トレイの活用	4-21
4.13	プロファイルの活用	4-22
4.13.1	プロファイルによる設定内容の切り換え	4-22
4.13.2	プロファイルの登録	4-22
4.13.3	プロファイル登録内容の変更	4-23
4.13.4	プロファイルの削除	4-24
4.14	ステーブル位置について	4-25
4.15	PCL マクロによる重ね合わせ印刷	4-27
4.15.1	PCL マクロの概要	4-27
4.15.2	マクロデータについて	4-28
4.15.3	マクロデータの作成	4-29
4.15.4	マクロデータの登録 (PC 上のディスク)	4-30
4.15.5	マクロデータの登録 (プリンタメモリ)	4-31
4.15.6	マクロデータの登録 (プリンタディスク)	4-32
4.15.7	マクロデータを指定した重ね合わせ印刷	4-34
4.15.8	マクロデータの属性編集	4-35
4.15.9	マクロデータの削除	4-36
4.16	プリントモニタについて	4-37
4.16.1	プリントモニタの概要	4-37
4.16.2	プリントモニタの起動	4-38
4.16.3	プリントモニタの画面	4-41
4.16.4	ステータス通知の設定	4-42
4.16.5	プリントモニタ/ページ記述言語 設定値の変更	4-43
4.16.6	ファイアウォールの設定について	4-44

第5章 その他のプリンタドライバについて

5.1	Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 標準 PostScript プリンタドライバ	5-2
5.1.1	インストール手順	5-2
5.1.2	プリンタドライバ初期値の変更	5-7
5.1.3	アプリケーションソフトからの印刷	5-9
5.2	Windows XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタドライバ	5-10
5.2.1	インストール手順	5-10
5.2.2	プリンタドライバ初期値の変更	5-14
5.2.3	アプリケーションソフトからの印刷	5-15
5.3	プリンタ固有機能	5-16
5.4	カスタムサイズ用紙に印刷するには	5-18

5.5	プリンタドライバのバージョンを確認するには	5-20
5.5.1	Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 標準 PostScript プリンタドライバ	5-20
5.5.2	Windows XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタドライバ	5-22

OG	B	00	
----	---	----	--

第 1 章

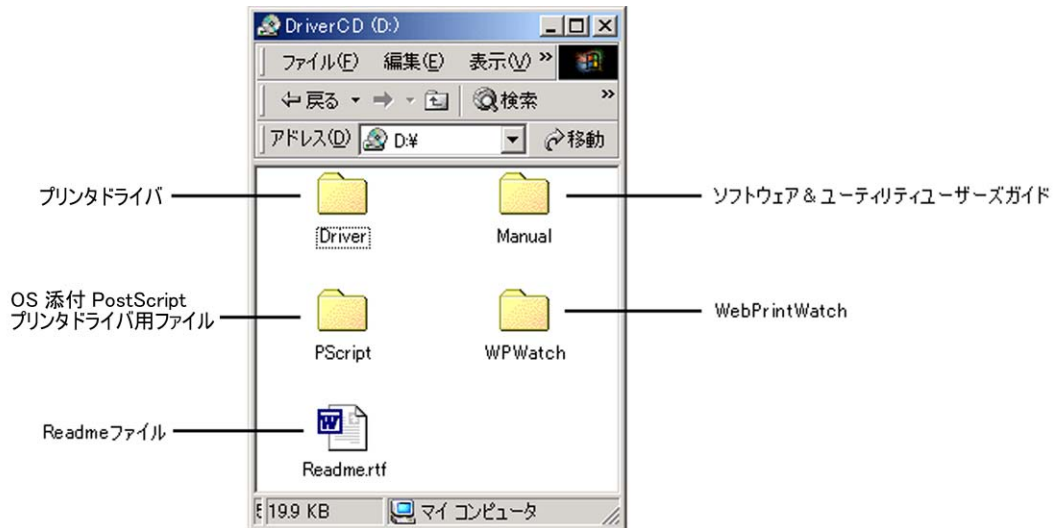
ご使用の前に

OG	B	00	
----	---	----	--

第1章 ご使用の前に

1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMには、次のようなソフトウェアやユーティリティが格納されています。



「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMは、Windows用のISO9660フォーマットと、Mac OS用のHFSフォーマットを持ったハイブリッド形式で記録されています。このためWindowsが動作するコンピュータではCD-ROMのWindows用の領域が、MacintoshではCD-ROMのMac OS用の領域がそれぞれ自動的に読み出されます。



注意

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM内の“Readme.rtf”または“初めにお読みください”ファイルには、このユーザーズガイドに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ等の使用上の注意事項が記述されています。「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMに格納されているソフトウェアやユーティリティをご使用前に必ずお読みください。

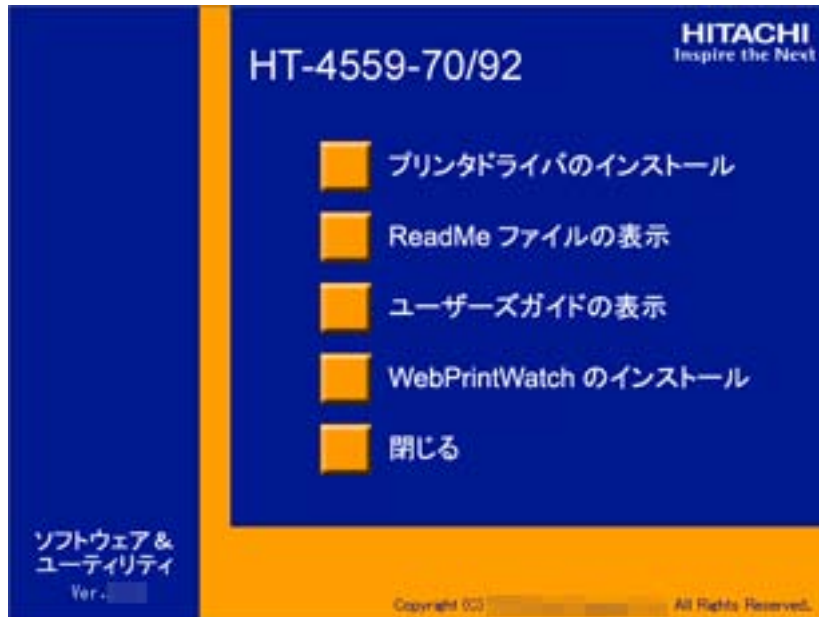


注意

「WebPrintWatch」については、「ソフトウェア&ユーティリティユーザーズガイド ユーティリティ編」をご覧ください。

1.2 ソフトウェアインストールメニュー画面について

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を、Windows が動作するコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されます。



① プリンタドライバのインストール

当社製プリンタドライバのインストールを行います。詳しくは「1.3 プリンタドライバについて」をご覧ください。また、ボタンをクリックすると動作環境にあわせて以下の説明箇所に進みます。

動作環境	説明箇所
Windows Vista/Server 2008/7/ Server 2008 R2/8/Server 2012	2.4 プリンタドライバのインストール 6
Windows XP/Server 2003	3.3 プリンタドライバのインストール 5



注意

上位システムの構成により、推奨となるプリンタドライバが異なります。本 CD-ROM には当社製プリンタドライバ及び、Windows 標準 PostScript ドライバの 2 種類が含まれています。上位システムとの組み合わせにより、あらかじめ必要なプリンタドライバをご確認ください。
なお、上記メニュー画面で [プリンタドライバのインストール] をクリックすると、当社製プリンタドライバがインストールされます。その他のプリンタドライバのインストール方法については本マニュアルの第 5 章 [その他のプリンタドライバについて](#) を参照してください。



注意

[プリンタドライバのインストール] をクリックし [OK] ボタンをクリックしたとき、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックしてください。



ポイント

本マニュアルの説明文中、単に「プリンタドライバ」と表現しているものは、当社製プリンタドライバに対する記述を表しています。その他のプリンタドライバは「Windows 標準 PostScript プリンタドライバ」と明示しています。

② ReadMe ファイルの表示

ReadMe ファイルを表示します。「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM に関する使用上の注意事項が記述されています。ご使用前にお読みください。

③ ユーザーズガイドの表示

ソフトウェア&ユーティリティユーザーズガイドを表示します。



ソフトウェア&ユーティリティユーザーズガイドを表示するには、Acrobat Reader が必要です。ご使用のコンピュータに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、画面表示にしたがって Acrobat Reader をインストールしてください。

④ WebPrintWatch のインストール

WebPrintWatch のインストールを行います。詳しくは「ソフトウェア&ユーティリティユーザーズガイド ユーティリティ編」をご覧ください。

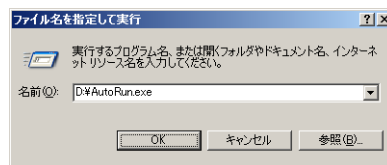
また、ボタンをクリックすると「ソフトウェア&ユーティリティユーザーズガイド ユーティリティ編」の「2.1 WebPrintWatch のインストール」の **⑥** に進みます。

⑤ 閉じる

メニュー画面を終了します。



メニュー画面が自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行...] を選択します。**[参照]** ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブから [AutoRun.exe] を選択して [開く] ボタンをクリックします。下図ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。



1.3 プリンタドライバについて

Windows や Mac OS などの基本ソフトが動作するコンピュータからご購入のプリンタに印刷するためには、“プリンタドライバ”と呼ばれるソフトウェアが必要となります。

1.3.1 Windows 版プリンタドライバの動作環境

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM に格納されているプリンタドライバは、以下の基本ソフトが動作するコンピュータに組み込むこと (= インストール) ができます。

- ◇ Microsoft Windows Server 2012 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 8 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 7 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Vista 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- ◇ Microsoft Windows XP 日本語版



印刷を行うコンピュータには、コンピュータ上で動作している基本ソフトの種類に応じて、個々にプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバは、コンピュータの基本ソフト上で動作するソフトウェアですが、次のような役割があります。

- (1) 印刷可能な用紙サイズやプリンタに搭載されているフォントなどのプリンタ情報を、アプリケーションソフトに伝達する。
- (2) 用紙サイズを選択やステープル位置の指定など、プリンタ固有の機能を利用できるようにユーザインタフェースを提供する。
- (3) アプリケーションソフトから印刷が指示されると、アプリケーションソフト上の文書データを、PostScript や PCL5e などのプリンタで処理可能な印刷データに変換する。

1.3.2 プリンタドライバの選択

プリンタドライバのインストール方法や使用方法については、以下の説明箇所をご覧ください。

基本ソフト	プリンタドライバの種類	説明箇所
Windows Vista/ Server 2008/7/ Server 2008 R2/8/ Server 2012	当社製プリンタドライバ	第2章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷 第4章 プリンタドライバの設定
	標準 PostScript プリンタドライバ	第5章 その他のプリンタドライバについて
Windows XP/ Server 2003	当社製プリンタドライバ	第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷 第4章 プリンタドライバの設定
	標準 PostScript プリンタドライバ	第5章 その他のプリンタドライバについて



注意

Windows XP 環境で当社製プリンタドライバをご使用になる場合、Service Pack 1 以上の修正プログラムを適用してください。



ポイント

Windows 環境では複数のプリンタドライバをインストールすることができます。

当社製プリンタドライバは、次のような特長があります。

当社製プリンタドライバの主な特長	説明箇所
ページ記述言語の複数サポート 印刷目的に応じて PostScript と PCL5e を切り替えて印刷することができます。PostScript と PCL5e では、プリンタドライバで利用できる機能に違いがあります。	第4章 プリンタドライバの設定 4.8 [高度な設定] ダイアログ
専用グラフィカルユーザインタフェース Windows で統一された専用グラフィカルユーザインタフェースを提供します。設定目的に応じて画面をすばやく移動したり、プリンタドライバの設定を瞬時に切り換えることができます。	第4章 プリンタドライバの設定 4.13 プロファイルの活用
プリンタ状態監視機能 ネットワーク管理の標準プロトコル SNMP を用いてコンピュータとプリンタの間で直接通信を行い、Windows 画面で印刷処理状況やプリンタに障害が発生していないかどうかを確認することができます。	4.16 プリントモニタについて
高度な印刷機能 任意のページ範囲ごとに給紙トレイを切り換えて印刷することができる「混在トレイ」機能、文書の任意ページに間紙を挿入することができる「セパレータ」機能、中綴じ小冊子を作成するために必要な「中綴じ」面付け機能など、印刷の幅を広げる機能があります。	4.2 [ドキュメント] ダイアログ 4.11 セパレータの活用 4.15 PCL マクロによる重ね合わせ印刷

Windows 標準 PostScript プリンタドライバは、Windows システムに標準添付されているプリンタドライバです。前述の当社製プリンタドライバのような特長や機能はありませんが、標準的な PostScript プリンタドライバとして広く利用されています。

なお、これらのプリンタドライバは同一コンピュータ上で適宜切り替えて併用することが可能です。



注意

それぞれのプリンタドライバは、プリンタに内蔵されている日本語書体数に応じてモデル分けされています。プリンタドライバのインストール時に、この日本語書体数に応じてプリンタモデルを選択してください。プリンタに内蔵されている日本語書体数については、ご購入のプリンタの操作パネルから、レポート印刷をすることにより確認できます。レポート印刷はプリンタの操作パネルで、[レポート印刷] → [フォント] → [ポストスクリプト] を選択してください。日本語書体数は、印刷されたレポートの [Resident PostScript Kanji Fonts] でご確認ください。

モデル名	日本語書体名
HT-4559-702/702E (日本語 2 書体版) HT-4559-922 (日本語 2 書体版)	Ryumin Light-KL Gothic Medium BBB
HT-4559-705/705E (日本語 5 書体版) HT-4559-925 (日本語 5 書体版)	Ryumin Light-KL、Gothic Medium BBB Jun 101、Futo Min A101、Futo Go B101



注意

JIS2004 対応および日立書体対応フォントは標準 PostScript プリンタドライバでしか対応しておりません。これらのフォントをご使用になる場合は標準 PostScript プリンタドライバをインストールしてください。

OG	B	00	
----	---	----	--

第 2 章


Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/ 8/Server 2012 からの印刷

第2章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷


Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、LPRポートの追加、プリンタドライバをインストールしてください。

2.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

 **参考** プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

1 プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。

 **参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

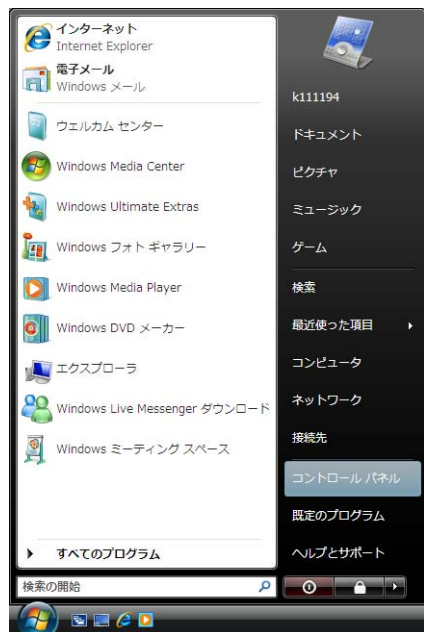
2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

(1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。



3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

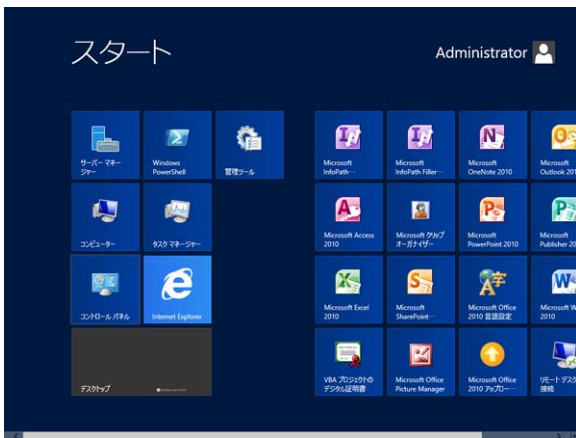
(2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。



(3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。



参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



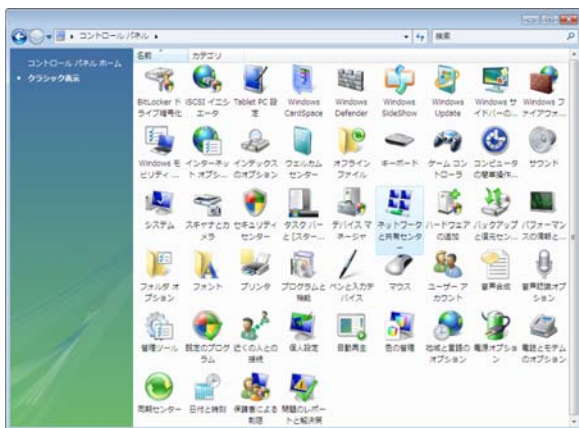
5 [ローカルエリア接続] の [状態の表示] をクリックします。



参考 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[アクティブなネットワークの表示] の [ローカルエリア接続] をクリックします。

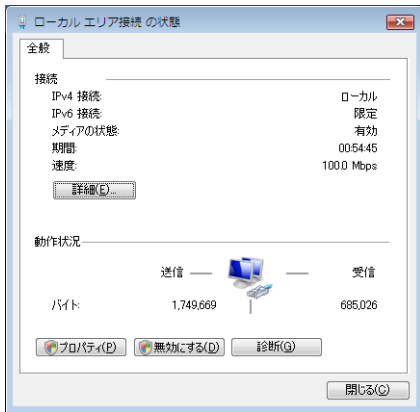
参考 Windows 8/Server 2012 の場合は、[アクティブなネットワークの表示] の [イーサネット] をクリックします。

4 [ネットワークと共有センター] アイコンをダブルクリックします。[ネットワークと共有センター] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

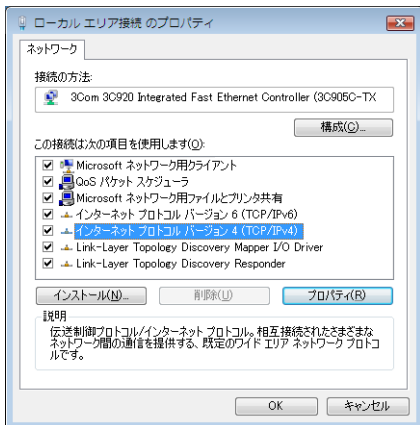


参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

6 [プロパティ] ボタンをクリックします。

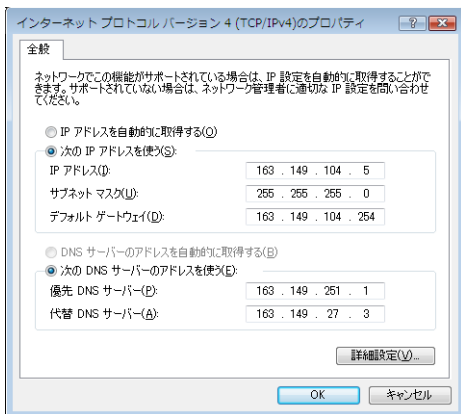


7 リストから [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



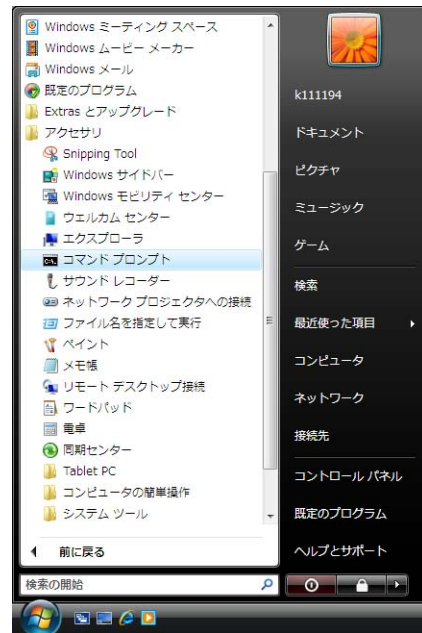
注意 [ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログが表示される前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

8 [IP アドレス] などの設定が正しく行われていることをご確認ください。



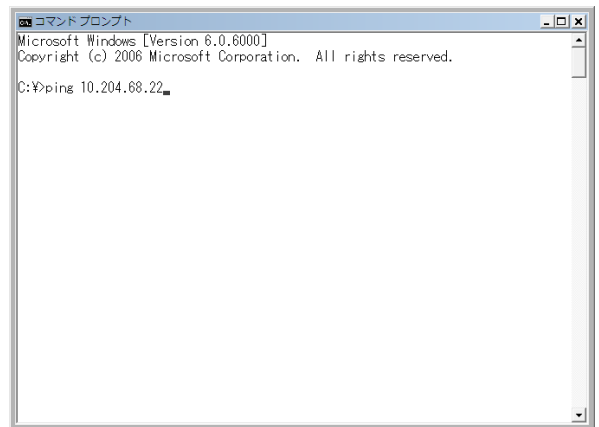
参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

9 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。



参考 Windows 8/Server 2012 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。
 (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

10 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。





プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

11

図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。

```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping 10.204.68.22

10.204.68.22 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:

10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =4ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254

10.204.68.22 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4, 受信 = 4, 損失 = 0 (0% の損失),
    ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 1ms, 最大 = 4ms, 平均 = 1ms

C:\>
```

2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加

当社製プリンタドライバにおけるプリンタ状態監視機能はネットワーク管理の標準プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を用いてコンピュータとプリンタ間で通信を行い、印刷処理状況やプリンタに障害が発生していないかどうかを確認します。当社製プリンタドライバをインストールする前に、この SNMP を追加します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 Windows Vista/7 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 の場合
[スタート] → [管理ツール] → [サービス] をクリックし、**9** に進みます。

Windows 8 の場合
以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

(1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
(2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
(3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

Windows Server 2012 の場合
[スタート] 画面 → [管理ツール] → [サービス] をクリックし、**9** に進みます。

3 [プログラムと機能] をダブルクリックします。[プログラムと機能] アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネル画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

参考 Windows 7/8 の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

4 [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。

5 [Windows の機能] の [簡易 TCP/IP サービス (echo, daytime など)] のチェックを ON にし、[OK] ボタンをクリックします。

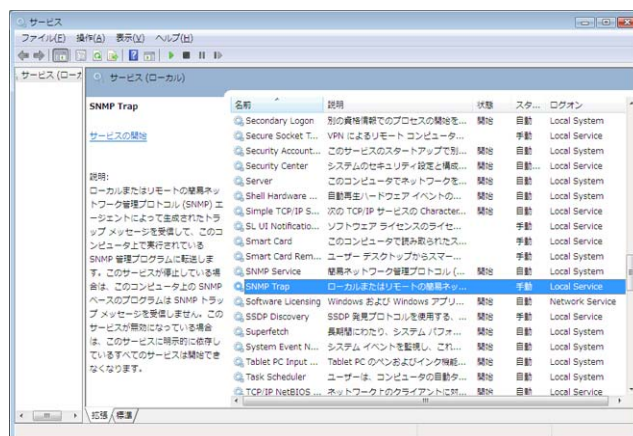


6 [プログラムと機能] 画面左上の [←] をクリックし、コントロールパネルへ戻ります。

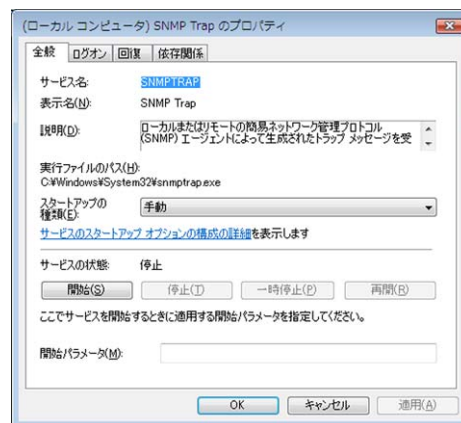
7 コントロールパネル上の [管理ツール] をダブルクリックします。

8 [サービス] をダブルクリックします。

9 [SNMP Trap] をダブルクリックします。



10 [スタートアップの種類] → [自動] を選択し、[開始] をクリックします。



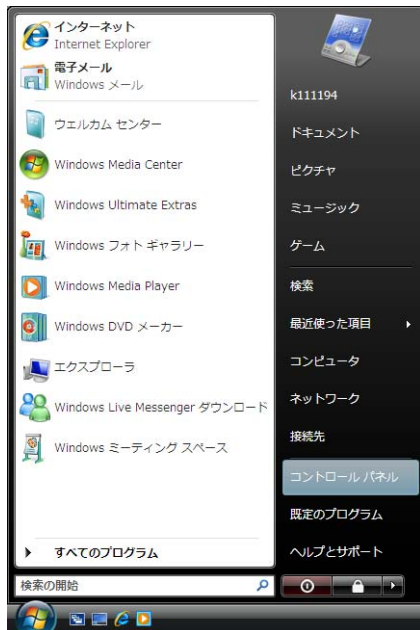
11 [OK] をクリックします。

2.3 LPR ポートの追加

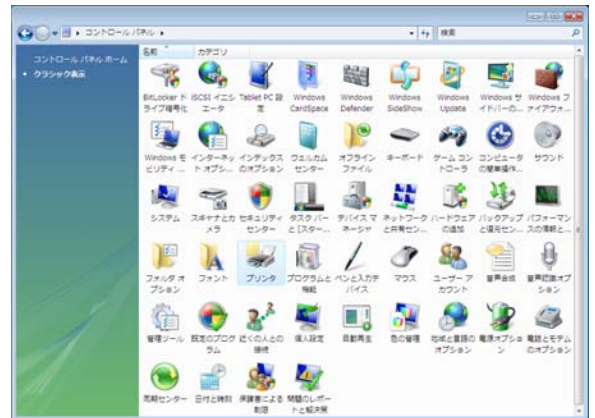
プリンタ出力用のポートを追加するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



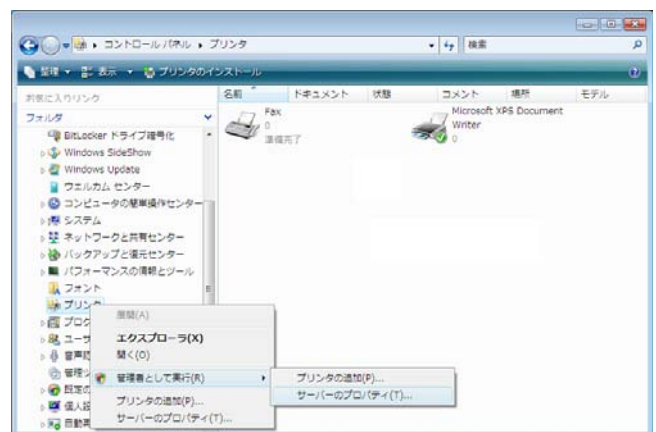
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

4 画面左側のプリンタメニューをマウス右ボタンクリックし、[管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、Fax またはプリンタを選択し、画面上的 [プリントサーバープロパティ] をクリックしてください。

5 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログの [ポート] タブを選択して [ポートの追加] ボタンをクリックします。



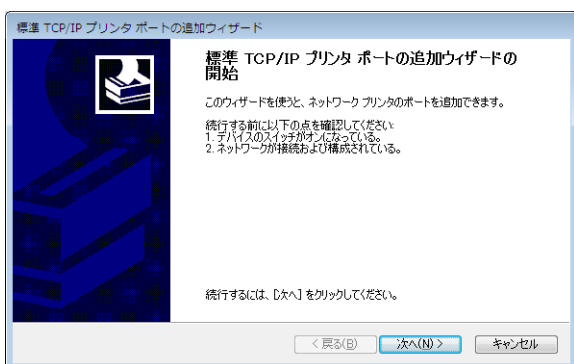
参考 Windows Server 2008 R2 の場合は、[ポート設定の変更] ボタンをクリックして [ポートの追加] ボタンをクリックします。

6 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

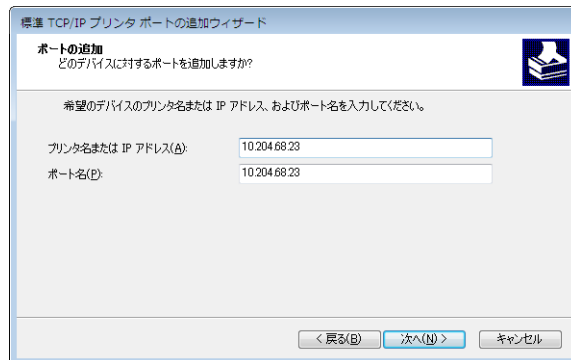


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

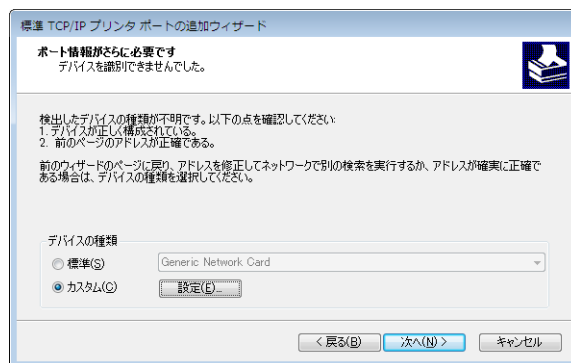
7 [次へ] ボタンをクリックします。



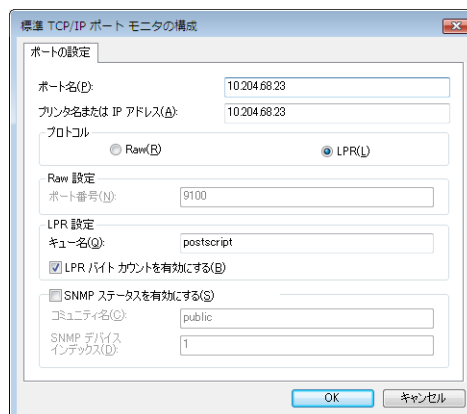
8 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



9 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

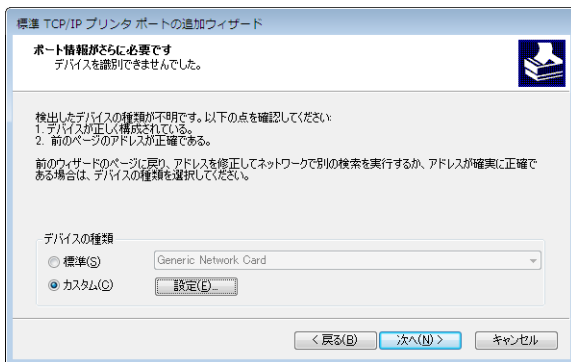


10 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

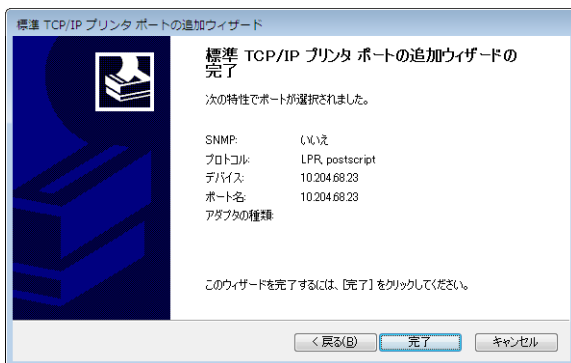


ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript”や“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は“postscript”を、ページ記述言語で PCL を使用する場合は“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“postscript”または“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

11 [次へ] ボタンをクリックします。



12 [完了] ボタンをクリックします。



13 [閉じる] ボタンをクリックします。



14 [閉じる] ボタンをクリックして [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログを閉じます。



2.4 プリンタドライバのインストール

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 用プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM から以下の手順にしたがって直接インストールすることができます。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。



注意 製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前に必ずお読みください。



ポイント プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、同じバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上に複数インストールして併用することは可能ですが、異なるバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上で併用することはできません。

1

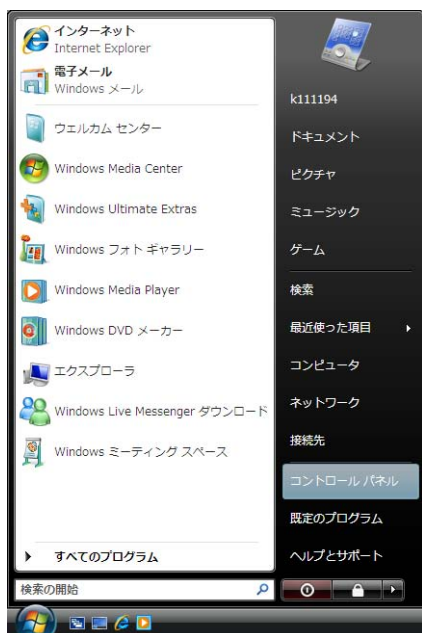
[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

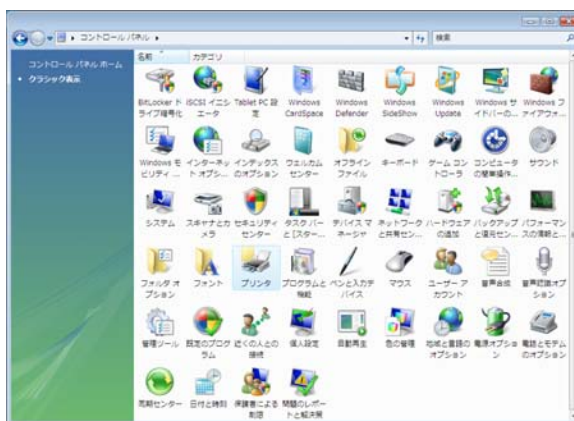
3

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



4

[プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。



参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

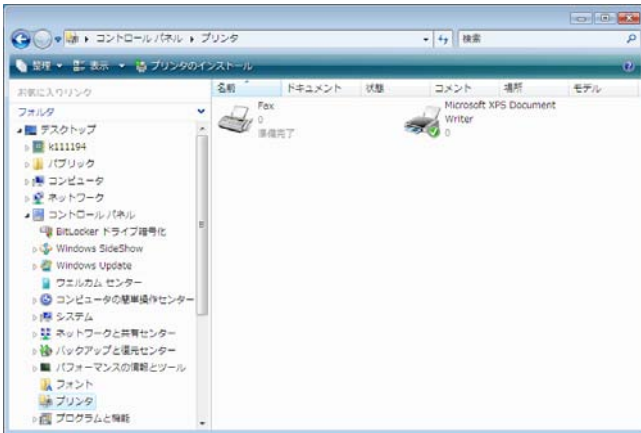
- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。



参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

5 Windows Vista の場合

画面上部の [プリンタのインストール] をクリックします。

**Windows Server 2008 の場合**

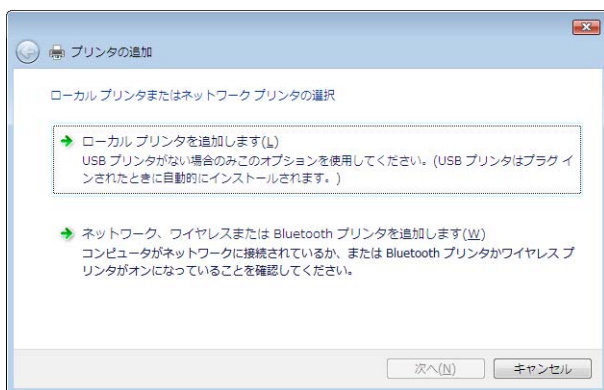
[ファイル] → [管理者として実行] → [プリンタの追加...] を選択します。

Windows 7/8/Server 2012 の場合

画面上部の [プリンターの追加] をクリックします。

Windows Server 2008 R2 の場合

画面上部の [プリンターの追加] をクリックし、[管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する] をクリックします。

6 [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。

ポイント プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は [ローカルプリンターを追加します] を選択してください。

Windows 8/Server 2012 の場合

以下 (1) ~ (2) の手順にて実施してください。

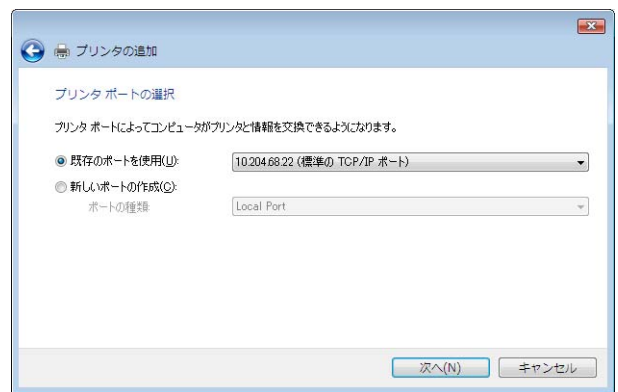
(1) [探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。

(2) [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

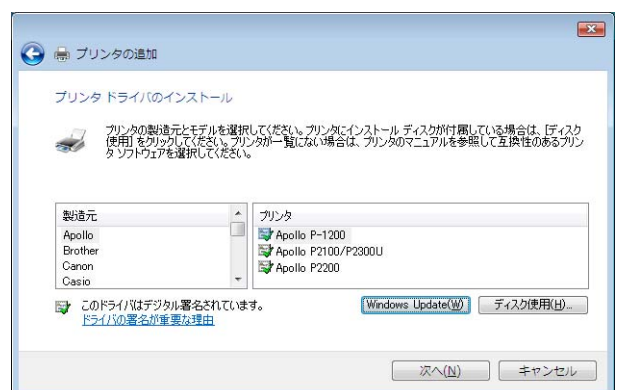
参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

Windows 8/Server 2012 の場合

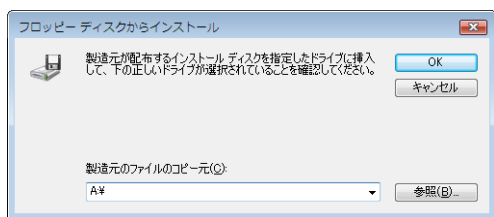
[Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する] を選択します。

7 プリンタとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタポートは「2.3 LPR ポートの追加」で追加したポートを選択してください。

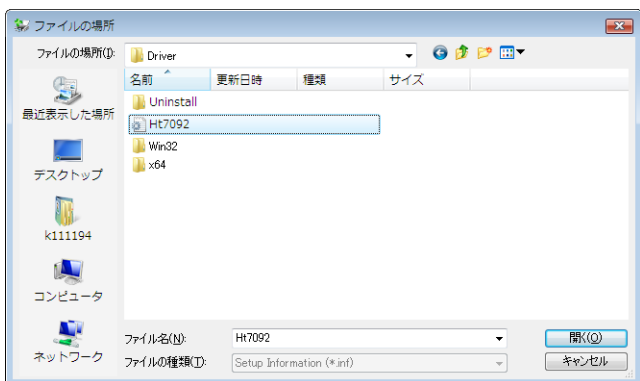
参考 プリンタポートは、プリンタドライバのインストール完了後に変更することもできます。「2.7 印刷するポートの変更」をご覧ください。

8 [ディスク使用] ボタンをクリックします。

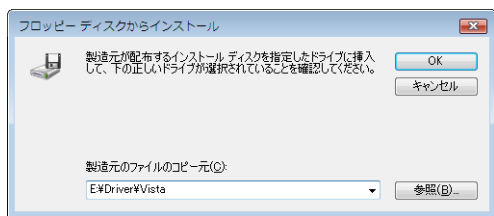
9 [参照] ボタンをクリックします。



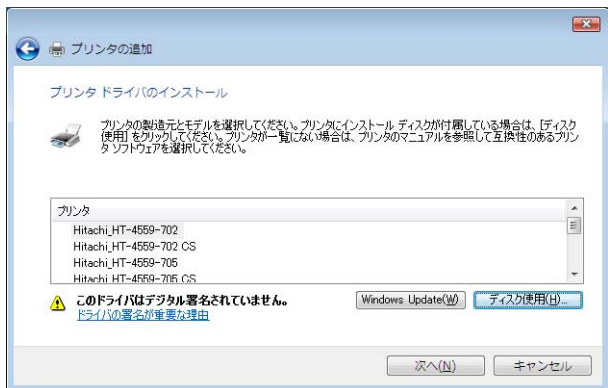
10 CD-ROM ドライブの [Driver] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



11 [OK] ボタンをクリックします。

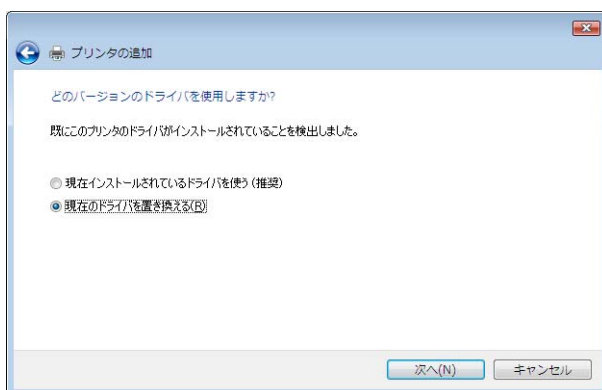


12 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

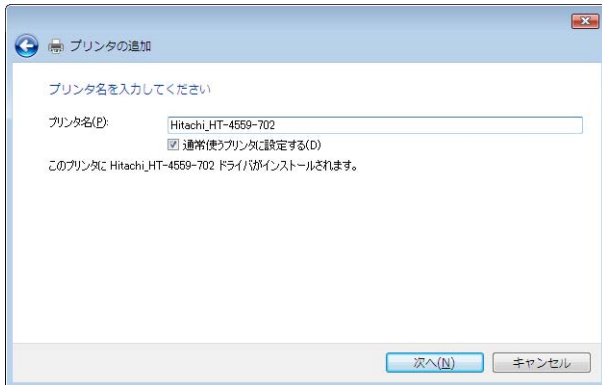


プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台と スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台と スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台と スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台と スタンダードフィニッシャー

13 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。このダイアログが表示されない場合は **14** に進みます。



- 14** [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうか選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタドライバのインストールが開始されます。



注意 プリンタの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。



Windows 7/Server 2008 R2 場合は、プリンタドライバを通常使用するかどうかを **16** で選択します。



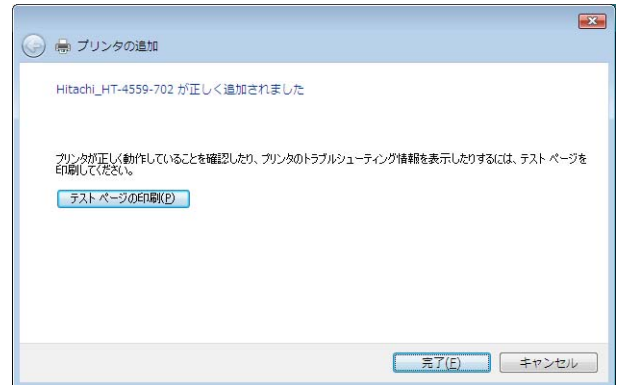
[Windows セキュリティ] ダイアログが表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

- 15** [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。**「2.6 プリンタ共有」** をご覧ください。

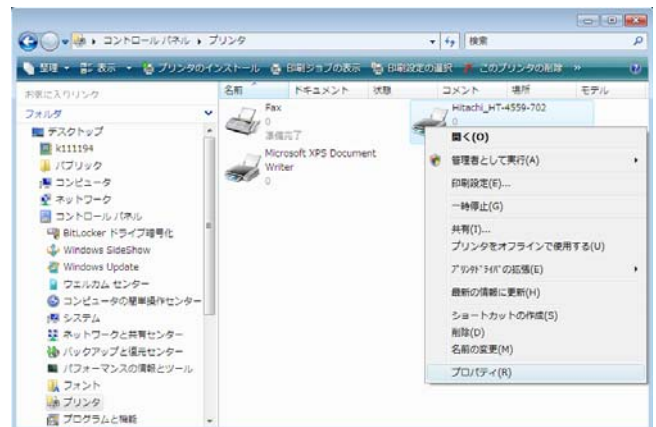
- 16** プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため、[テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



注意 ページ記述言語に PCL5e を設定する場合は、ここでは [完了] を選択してください。**21** でページ記述言語を PCL5e に設定後、プリンタプロパティダイアログからテストページの印刷を行ってください。



17 次に [デバイスオプション] の設定をします。[プリンタ] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。

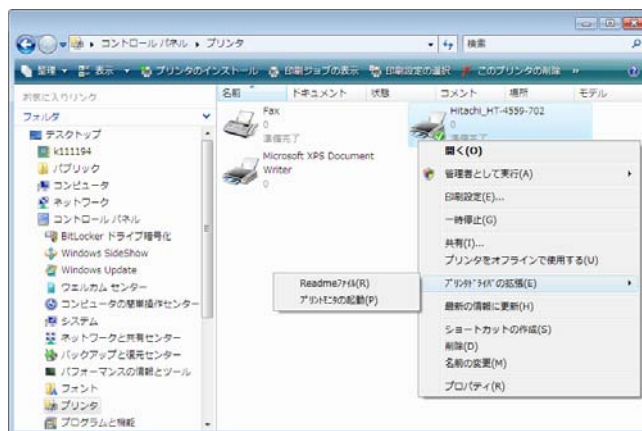


Windows 7/Server 2008 R2/8/Server2013 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 18** プリンタアイコンと同じ名称のタブを選択して、[デバイスオプション] → [設定] ボタンをクリックします。



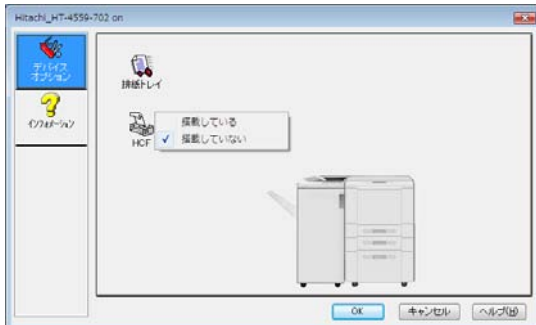
- 22** 最後に Readme ファイルをお読みください。[プリンタ] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プリンタドライバの拡張] → [Readme ファイル] を選択します。



- 参考** プリンタ状態監視機能については、「[4.16 プリントモニタについて](#)」をご覧ください。

- 参考** [プリンタ状態監視機能 / ページ記述言語] の [設定] ボタンについては、「[4.16.5 プリントモニタ / ページ記述言語 設定値の変更](#)」をご覧ください。

- 19** オプション装置の装着状況を設定します。



- ポイント** オプション装置の装着状況を変更するには、各オプションそれぞれのアイコンをクリックしてください。なお、画面に表示されるオプション装置は、**12** で選択したプリンタモデルごとに異なります。

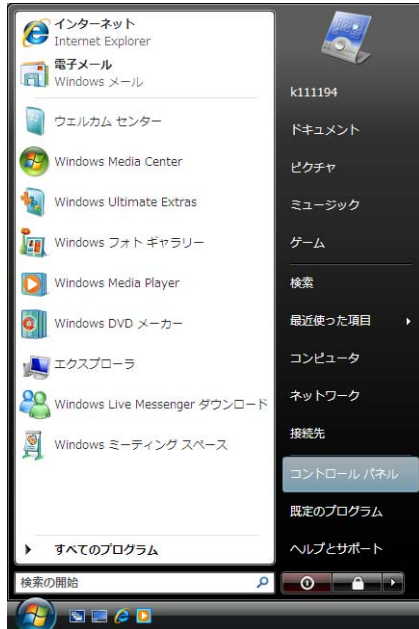
- 20** [OK] ボタンをクリックして [デバイスオプション] ダイアログと [プロパティ] を閉じます。

- 21** ページ記述言語を設定します。ページ記述言語の設定については「[4.16.5 プリントモニタ / ページ記述言語 設定値の変更](#)」をご覧ください。

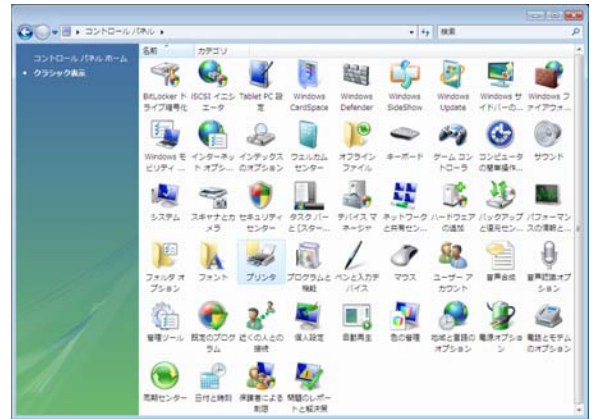
2.5 プロパティの表示

プリンタの [プロパティ] を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



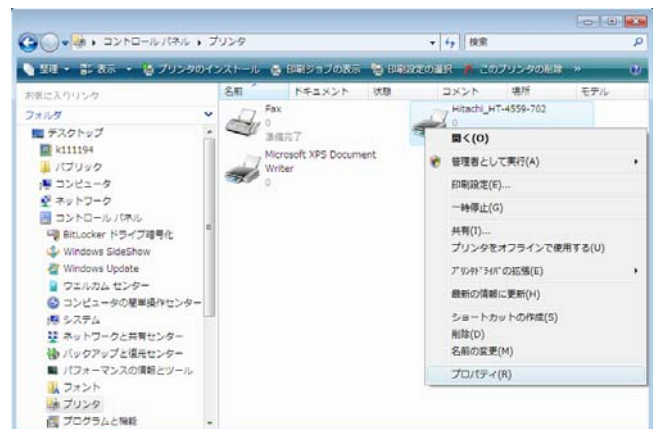
- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

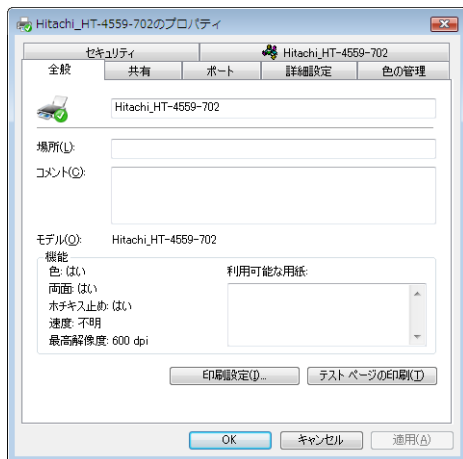
- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 4** [全般] や [共有] などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。



- 参考** [共有] については、「[2.6 プリンタ共有](#)」を、[ポート] については「[2.7 印刷するポートの変更](#)」をそれぞれご覧ください。

- 5** プリンタドライバのバージョンを確認するには、プリンタアイコンと同じ名称のプロパティを表示します。



- 参考** 本プリンタドライバをご使用の場合はプリンタアイコンと同じ名称のプロパティが表示されますが、別の種類のプリンタドライバでは [デバイスの設定] プロパティが表示されます。

2.6 プリンタ共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 が動作しているコンピュータを経由して印刷を行うときに、プリンタの [共有] 機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 コントロールパネルを開き [ネットワークと共有センター] を選択します。[共有と探索] のリストから [プリンタ共有] の詳細を開いて [プリンタ共有を有効にする] を選択します。画面右下の [適用] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

既にプリンタ共有が有効に設定されている場合は **3** に進みます。

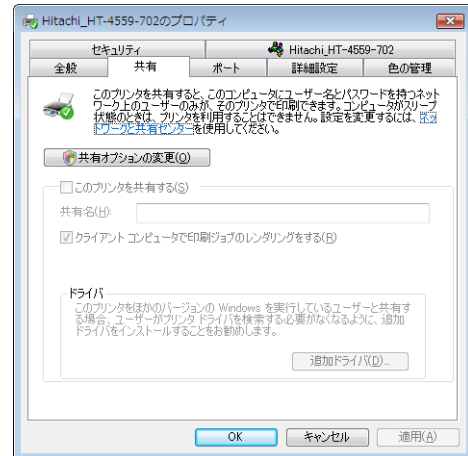


「ネットワークと共有センター」で [適用] ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。



Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[共有の詳細設定の変更] をクリックし、[ファイルとプリンターの共有] で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] を選択し、[変更の保存] をクリックしてください。

3 「2.5 プロパティの表示」の手順にしたがって、[共有] プロパティを表示し、[共有オプションの変更] ボタンをクリックします。



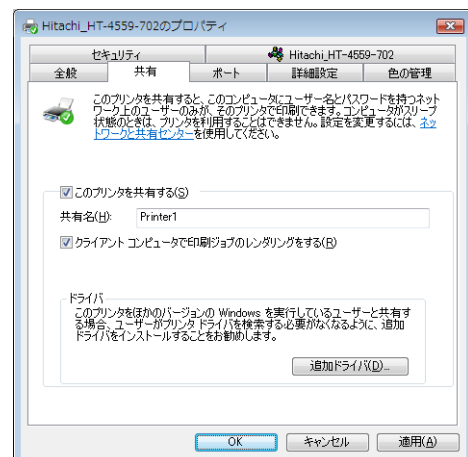
「共有オプションの変更」ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。



Windows 8/Server 2012 の場合は、[共有] プロパティを表示した後、**4** に進みます。

4

[このプリンタを共有する] のチェックを ON にして [OK] ボタンをクリックします。[共有名] を任意の名前に変更することができます。





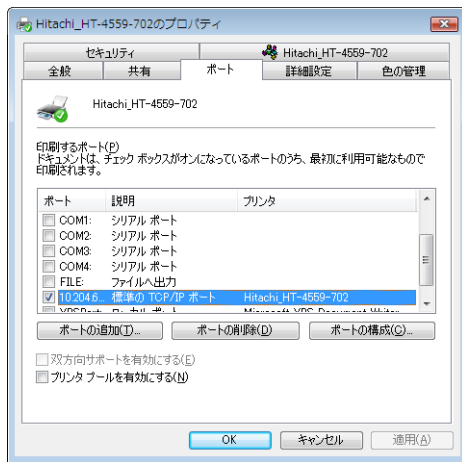
プリンタを [共有する] とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに [ポート] プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータからWindows上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開しているWindowsにネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

2.7 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 「2.5 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



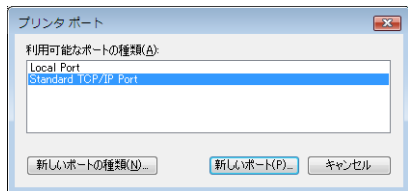
3 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

! プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

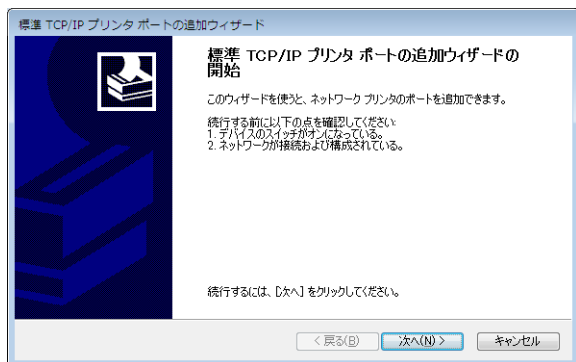
2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



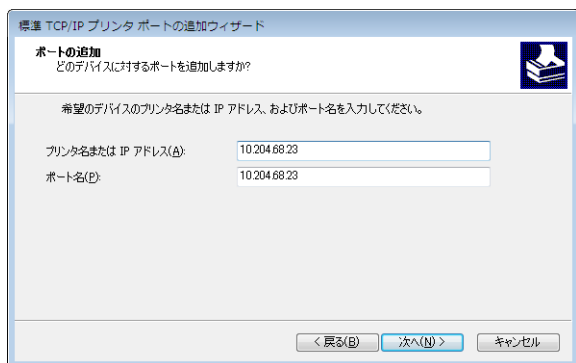
ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

注意 ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

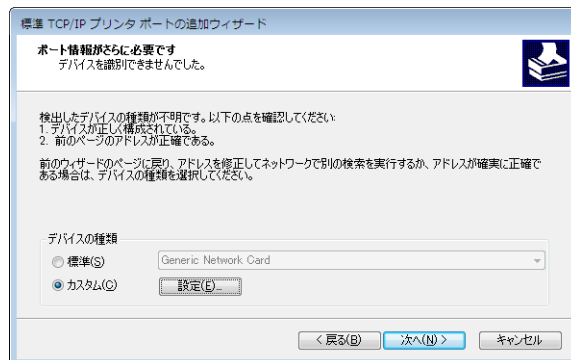
3 [次へ] ボタンをクリックします。



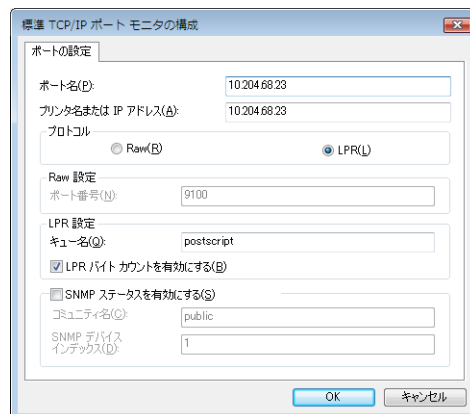
4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

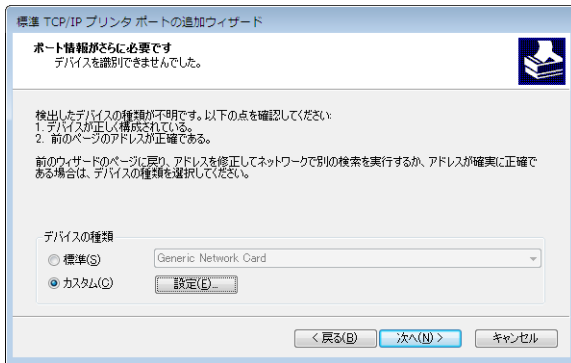


6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

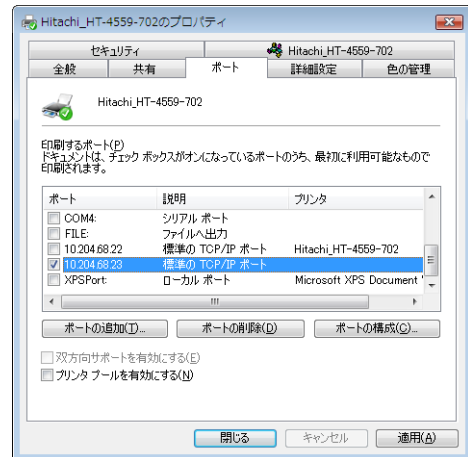


ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript” や “vp-pcl” などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は “postscript” を、ページ記述言語で PCL を使用する場合は “vp-pcl” を論理プリンタ名として使用します。“postscript” または “vp-pcl” はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

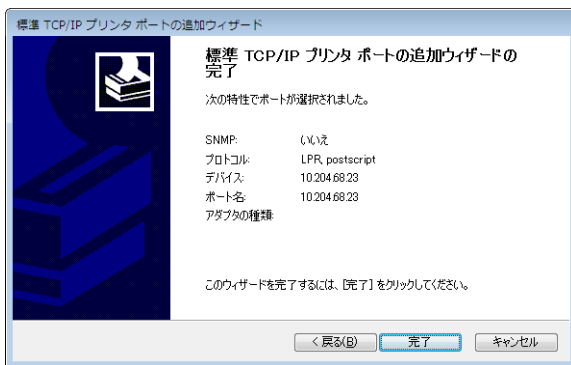
7 [次へ] ボタンをクリックします。



10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



8 [完了] ボタンをクリックします。



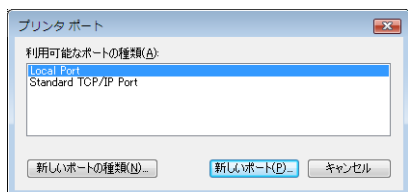
9 [閉じる] ボタンをクリックします。



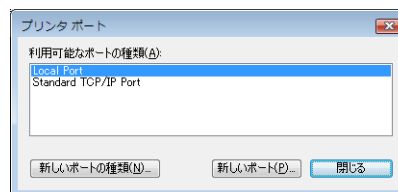
2.7.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

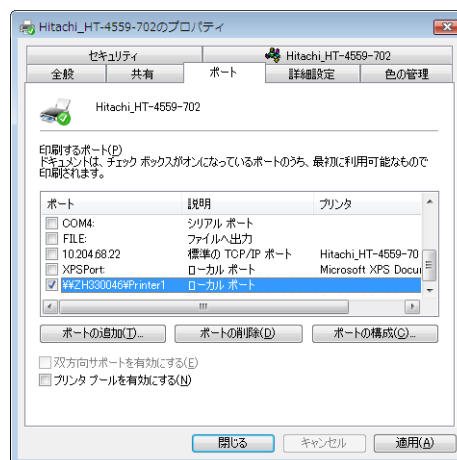
2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。

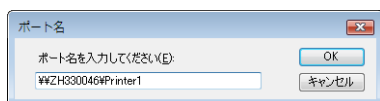


5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。

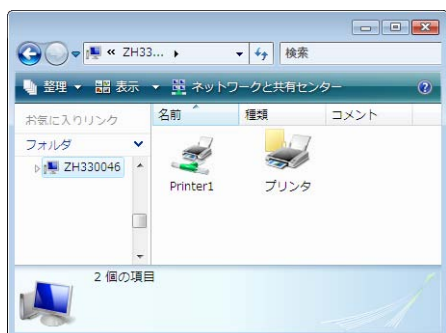


注意 ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

3 [ポート名] を“¥サーバ名¥共有プリンタ名”の書式で入力、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名が ZH330046 で共有プリンタ名が Printer1 の場合の例です。



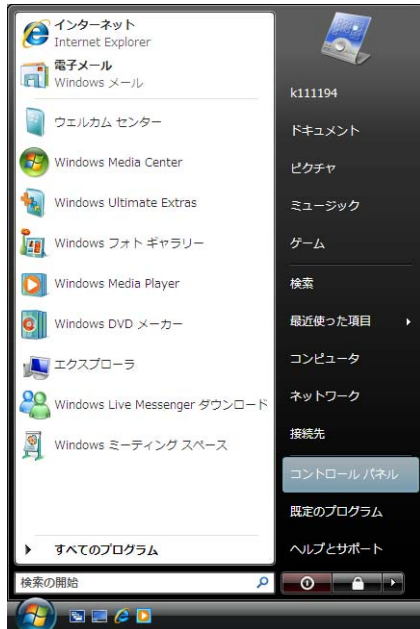
ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、スタートメニューの [ネットワーク] を起動します。[ネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



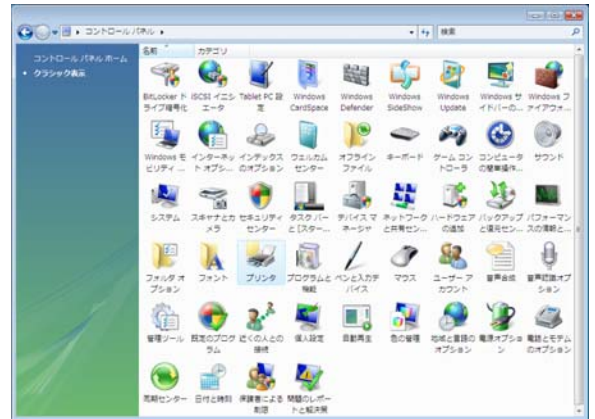
2.8 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更し、新たな初期値として保存するには、次の手順で操作を行います。アプリケーションソフトから印刷する場合、ここでのプリンタドライバの設定が初期値となります。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



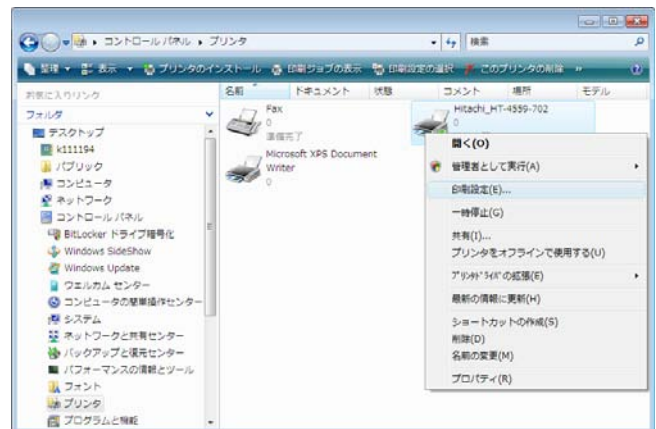
- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[印刷設定] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

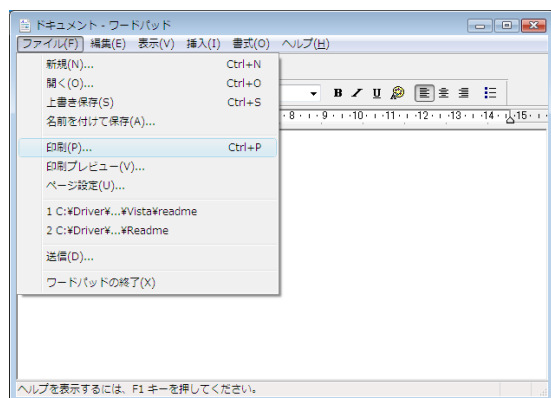
2.9 アプリケーションソフトからの印刷

プリンタドライバのさまざまな機能を利用してアプリケーションソフトから印刷するには、次の手順でプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

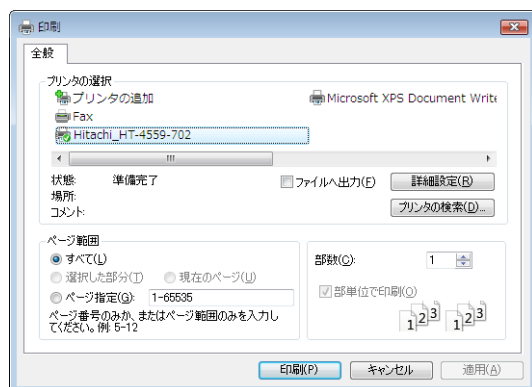


ここでは Windows Vista 付属のワードパッドで印刷する場合の例を示します。ご使用になるアプリケーションソフトごとにメニューやダイアログの表示内容は異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

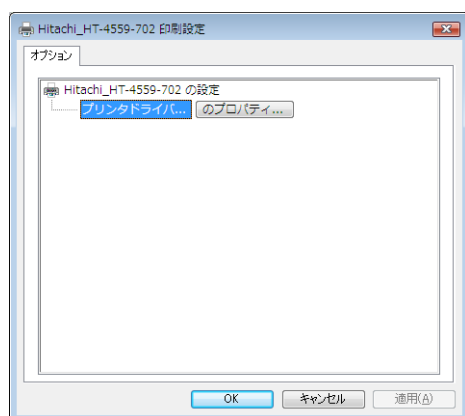
1 [ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [のプロパティ] ボタンをクリックします。



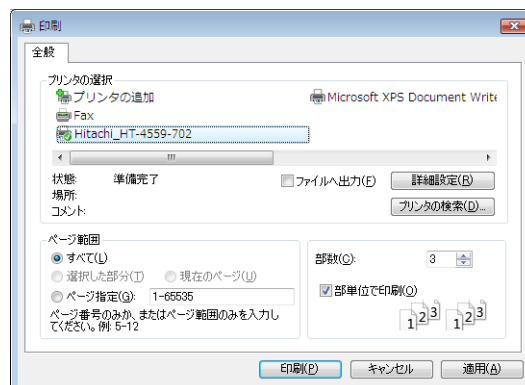
4 プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。



各ダイアログの詳細は「[第4章 プリンタドライバの設定](#)」をご覧ください。

5 [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログを閉じます。

6 必要に応じて [ページ範囲] や [部数]などを指定します。[印刷] ボタンをクリックすると印刷が行われます。



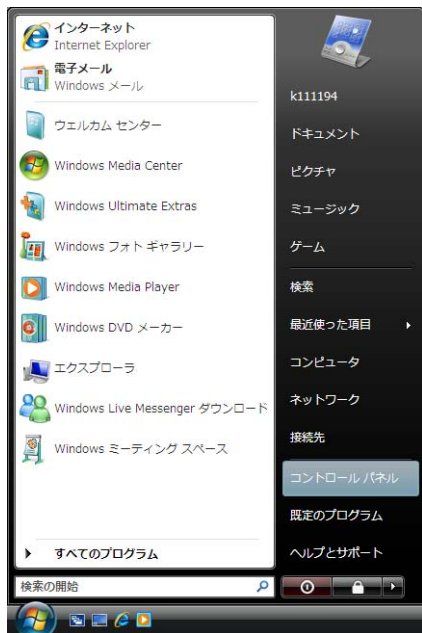
アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示される場合があります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に働きません。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、プリンタドライバの [ドキュメント] ダイアログで [丁合い] のチェックが ON (初期値) であれば、各ページごとにページ順で印刷を行うことができます。

2. 10 プリンタドライバのアンインストール

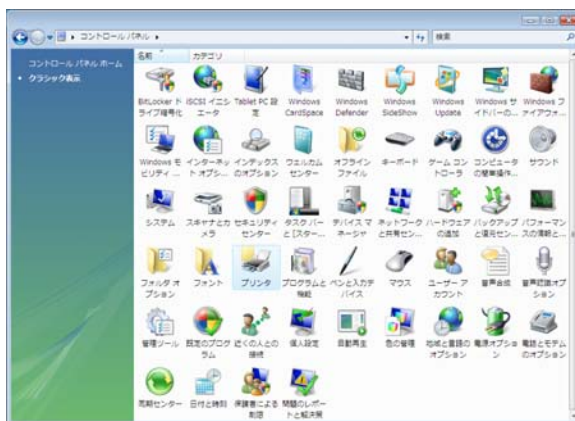
2. 10. 1 プリンタアイコンの削除

プリンタドライバを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。
- 2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

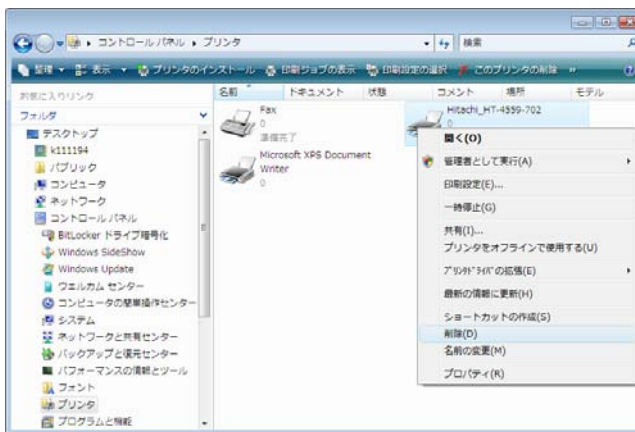


- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。
- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 - (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 - (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

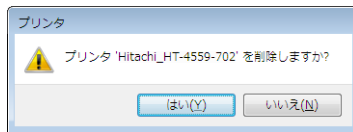
- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 4 削除するプリンタドライバのプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスの削除] を選択します。

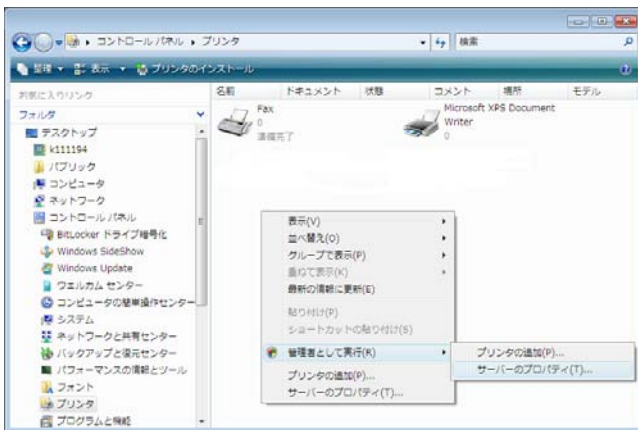
- 5** [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **4** から **5** を繰り返します。



- 6** 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

ポイント 続けて **7** 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタドライバ関連のファイルを削除することができません。

- 7** 再度、[コントロールパネル] → [プリンタ] を開きプリンタリスト上で右ボタンをクリックして [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。



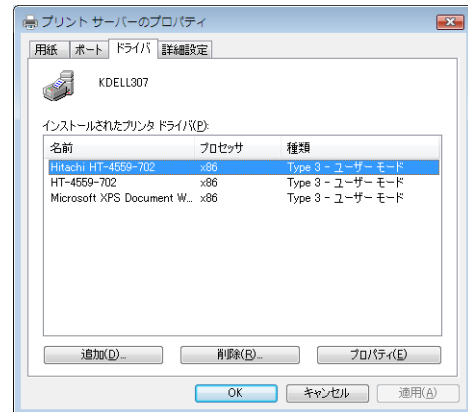
注意

[サーバーのプロパティ] メニュー選択すると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、Fax またはプリンタを選択し、画面上の [プリントサーバープロパティ] をクリックしてください。

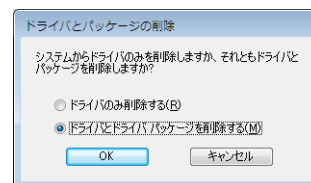
- 8** [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックします。



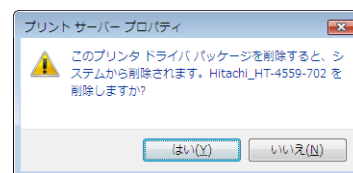
注意

[Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012の場合は、[ドライバー設定の変更] ボタンをクリックして、[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

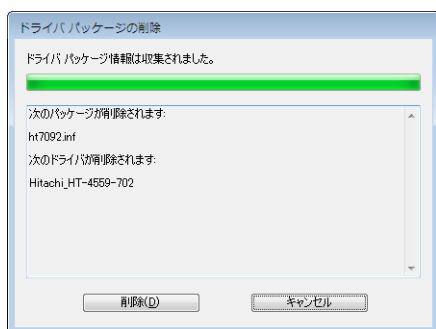
- 9** [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択して [OK] ボタンをクリックします。



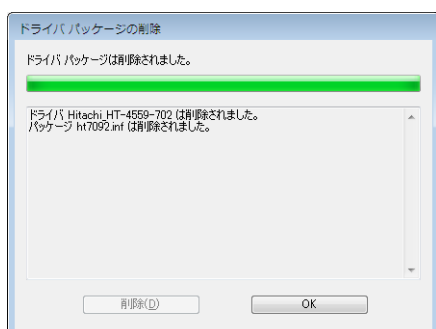
- 10** 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



11 [ドライバパッケージの削除] ダイアログが表示されますので [削除] ボタンをクリックします。



12 削除されたドライバパッケージが表示されます。最後に [OK] ボタンをクリックします。



2.10.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除

プリンタドライバを構成するファイルを Windows システムから削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。



注意

本節の操作が必要となるのは次のような場合です。同じバージョンのプリンタドライバを追加インストールする場合は以下の操作は不要です。

- プリンタドライバをすべて削除してから、再度プリンタドライバをインストールする。
- プリンタドライバのバージョンアップを行う。

1

すべてのプリンタドライバを [プリンタ] フォルダから削除します。

プリンタドライバの削除方法については、「[2.10.1 プリンタアイコンの削除](#)」を参照してください。

2

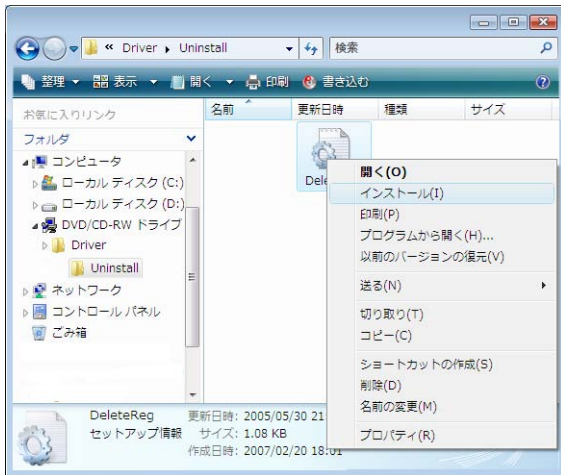
「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

[Driver] → [Uninstall] フォルダを開きます。

4

次に [DeleteReg.inf] アイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [インストール] を選択します。



注意

この操作を行うと [プロファイル] の設定など、プリンタドライバの設定情報はすべてなくなります。



注意

ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

5

Windows を再起動します。

第 3 章


Windows XP/Server 2003 からの印刷

第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

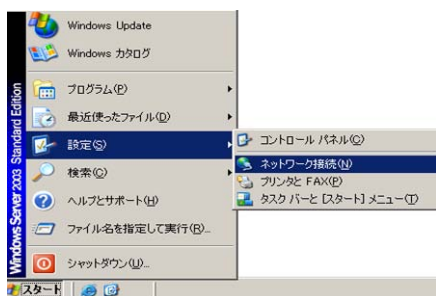
Windows XP/Server 2003 から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、プリンタドライバをインストールしてください。

3.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

 **参考** プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に NetWare サーバ経由で印刷する方法や Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

- 1 プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。
- 2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。
- 3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [設定] → [ネットワーク接続] を選択し、ネットワーク接続を開きます。



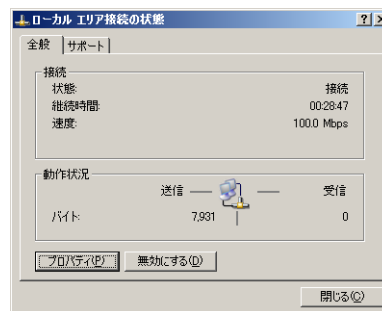
- 4 Windows Server 2003 の場合
[ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。



Windows XP の場合

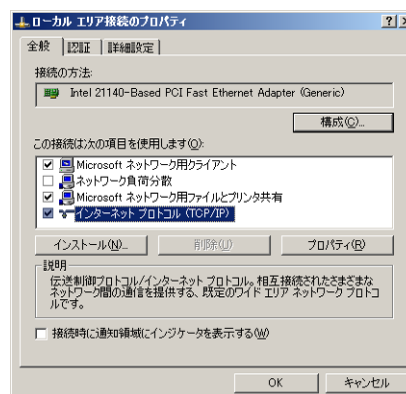
[ネットワーク接続] をクリックします。
次に [ローカルエリア接続] アイコンを選択し、[ネットワークタスク] → [この接続の設定を変更する] をクリックします。

- 5 Windows Server 2003 の場合
[プロパティ] ボタンをクリックします。

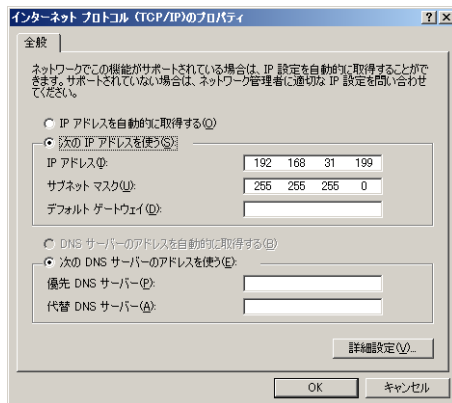


Windows XP の場合

- 6 リストから [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。

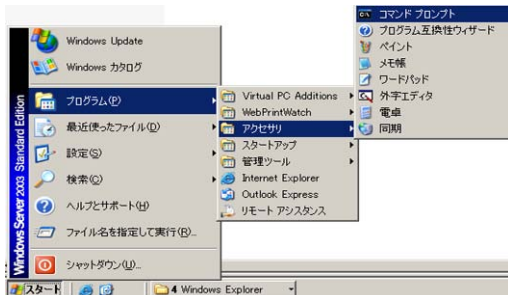


- 7** [IP アドレス]などの設定が正しく行われていることをご確認ください。



参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

- 8** 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。
[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。



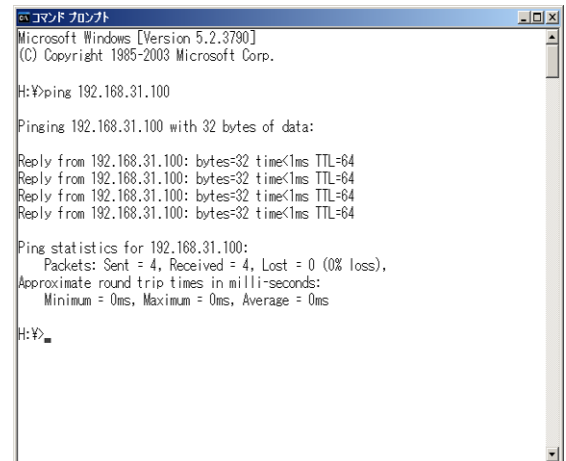
- 9** 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。



参考 プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

- 10** 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。

「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



ポイント LPR ポートの設定はプリンタドライバのインストール時に行います。

3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加

当社製プリンタドライバにおけるプリンタ状態監視機能はネットワーク管理の標準プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を用いてコンピュータとプリンタ間で通信を行い、印刷処理状況やプリンタに障害が発生していないかどうかを確認します。当社製プリンタドライバをインストールする前に、この SNMP を追加します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

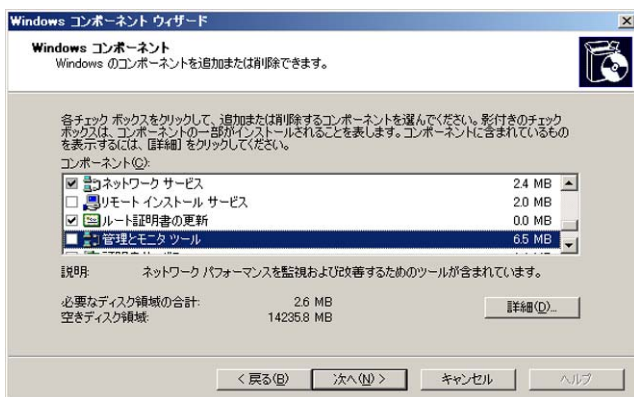
1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。

3 [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

4 [Windows コンポーネントの追加と削除] をクリックします。

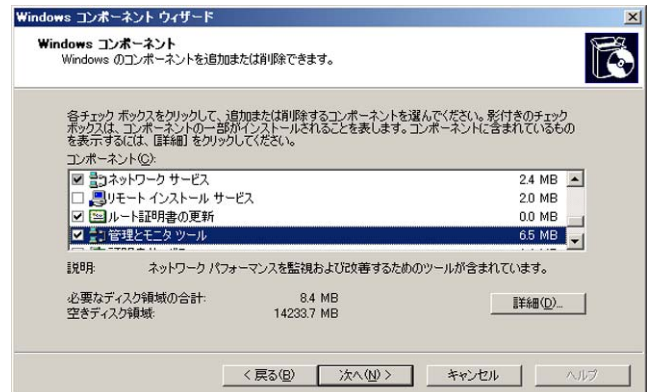
5 [コンポーネント] の [管理とモニタツール] を選択し、[詳細] ボタンをクリックします。このとき、[管理とモニタツール] のチェック状態は変更しないでください。



6 [簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)] のチェックを ON にし、[OK] ボタンをクリックします。



7 [次へ] をクリックします。



8 下記のダイアログが表示された場合は指定された CD-ROM を挿入し、[OK] ボタンをクリックします。



9 下記のダイアログが表示された場合は [コピー元] を CD-ROM 上の有効なフォルダに設定し、[OK] ボタンをクリックします。



10 [完了] ボタンをクリックします。



15 [スタートアップの種類] → [自動] を選択し、[開始] ボタンをクリックします。



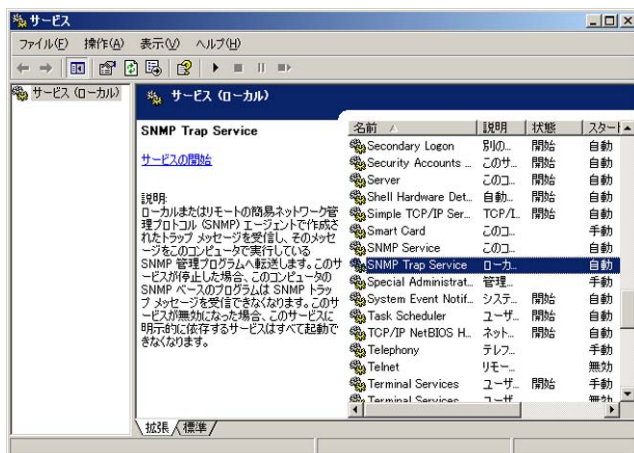
11 [プログラムの追加と削除] 画面右上の [×] をクリックします。

16 [OK] ボタンをクリックします。

12 コントロールパネル上の [管理ツール] をダブルクリックします。

13 [サービス] をダブルクリックします。

14 [SNMP Trap Service] をダブルクリックします。



3.3 プリンタドライバのインストール

Windows XP/Server 2003 用プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM から以下の手順にしたがって直接インストールすることができます。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。



注意 製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前に必ずお読みください。



ポイント プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、同じバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上に複数インストールして併用することは可能ですが、異なるバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上で併用することはできません。

1

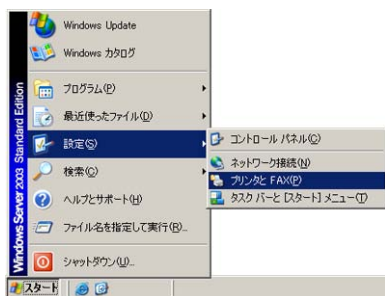
[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



4

Windows Sever 2003 の場合 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

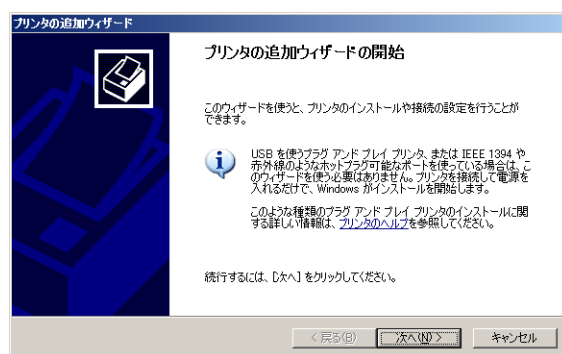


Windows XP の場合

[プリンタのタスク] → [プリンタのインストール] をクリックします。

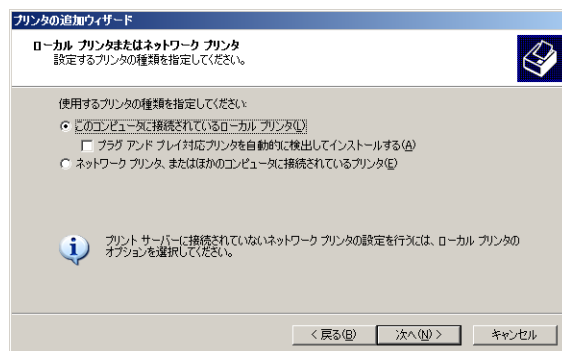
5

[次へ] ボタンをクリックします。



6

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] ボタンをクリックします。

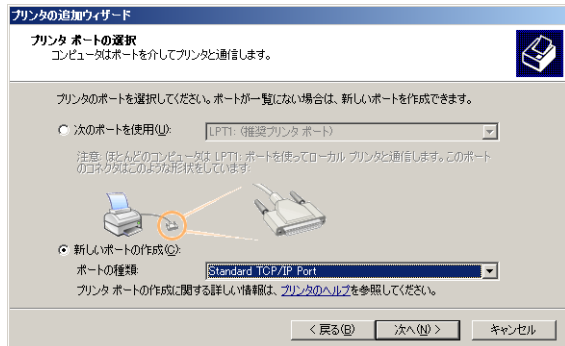


ポイント プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択してください。



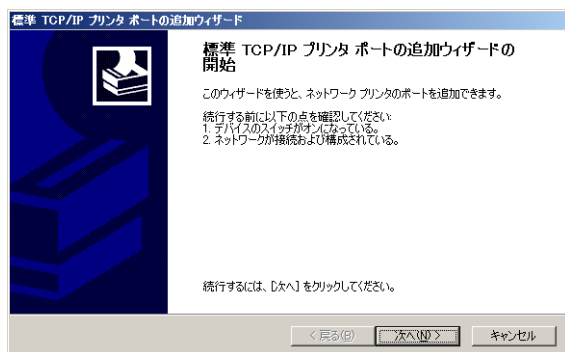
参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用するコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

- 7** プリンタとの接続ポートを選択します。一覧からポートを選択した場合は、[次へ] ボタンをクリックして **14** へ進んでください。新しい LPR ポートを作成する場合は、[新しいポートの作成] を選択し、[種類] から [Standard TCP/IP Port] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

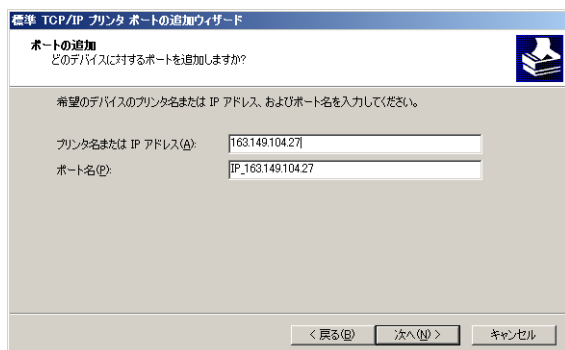


- 参考** プリンタポートは、プリンタドライバのインストール完了後に変更することもできます。「3.6 印刷するポートの変更」をご覧ください。

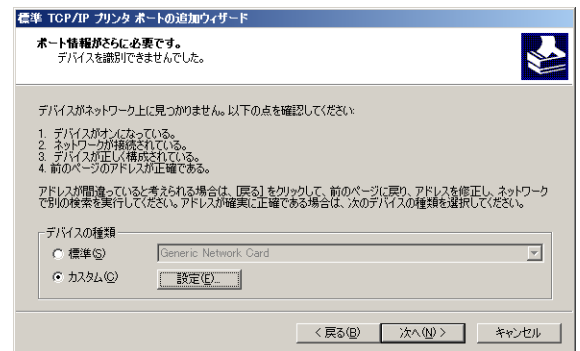
- 8** [次へ] ボタンをクリックします。



- 9** [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



- 10** [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

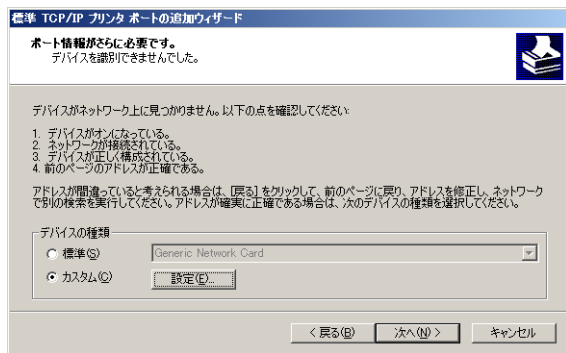


- 11** [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

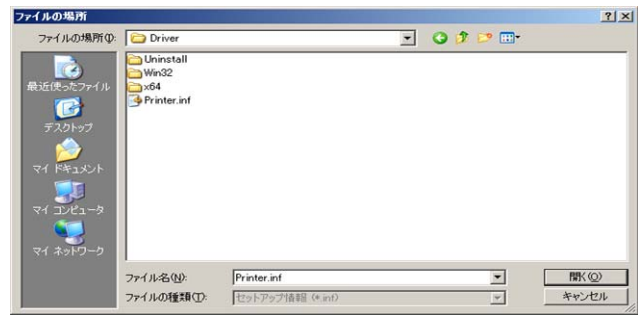


- ポイント** 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript”や“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は“postscript”を、ページ記述言語で PCL を使用する場合は“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“postscript”または“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

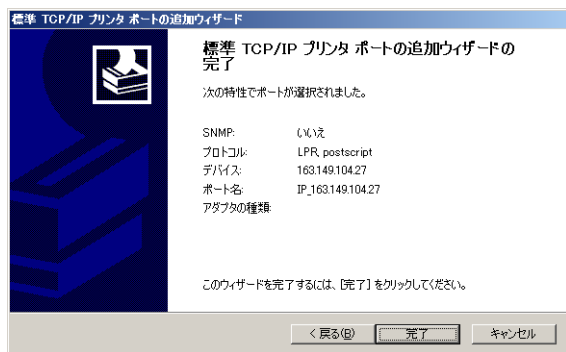
12 [次へ] ボタンをクリックします。



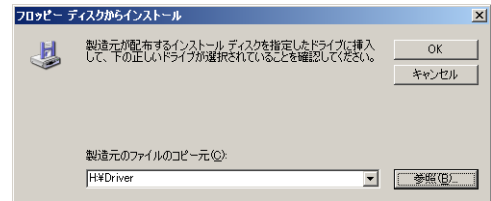
16 CD-ROM ドライブの [Driver] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



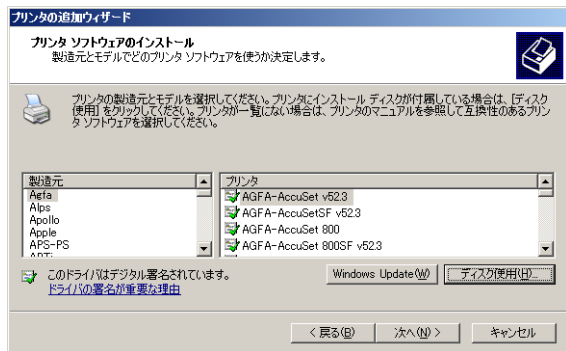
13 [完了] ボタンをクリックします。



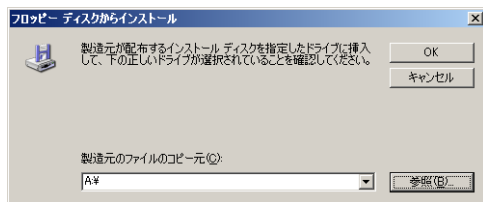
17 [OK] ボタンをクリックします。



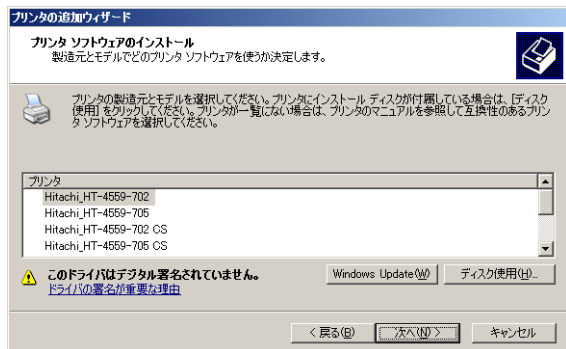
14 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



15 [参照] ボタンをクリックします。

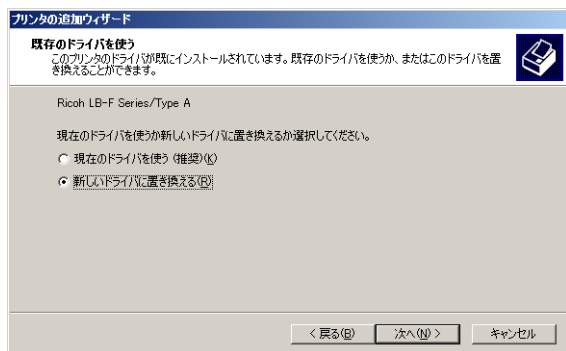


18 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタモデルは、プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションとの組み合わせに注意して選択してください。

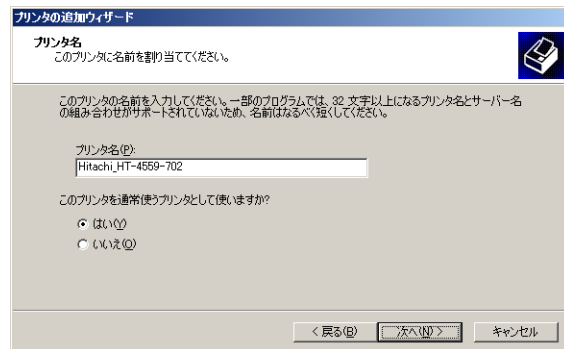


プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー

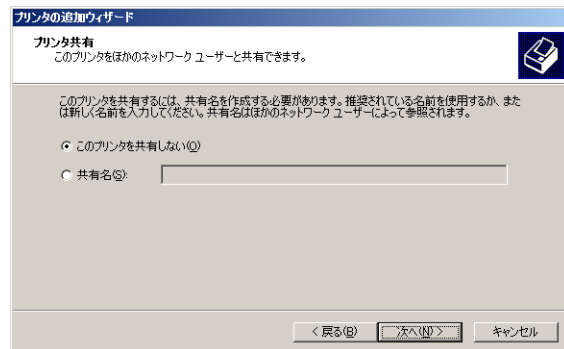
19 下図のダイアログが表示された場合は、[新しいドライバに置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。このダイアログが表示されない場合は **20** に進みます。



20 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうか選択して [次へ] ボタンをクリックします。

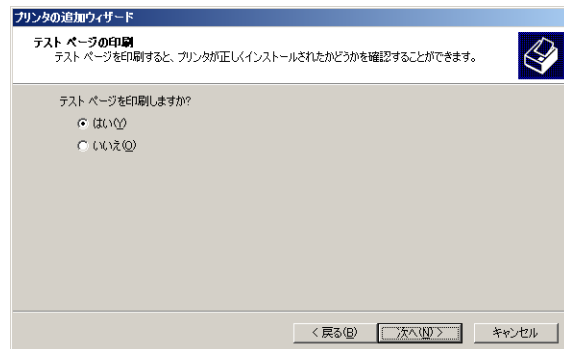


21 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



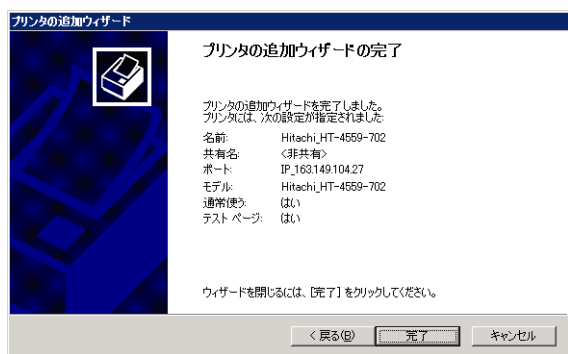
! **ポイント** プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。「3.5 プリンタ共有」をご覧ください。

22 プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため、[はい] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



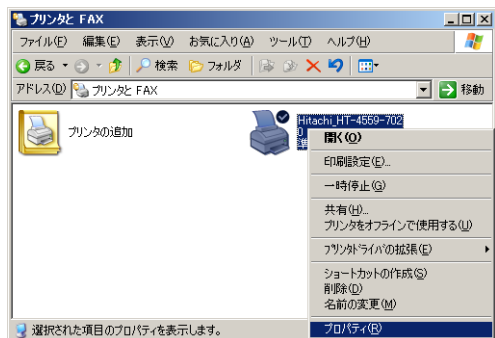
! **注意** ページ記述言語に PCL5e を設定する場合は、ここでは [いいえ] を選択してください。**29** でページ記述言語を PCL5e に設定後、プリンタプロパティダイアログからテストページの印刷を行ってください。

23 [完了] ボタンをクリックします。



24 [ハードウェアのインストール] ダイアログが表示されますので、[続行] ボタンをクリックします。ここでファイルのコピーが行われ、[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが追加されます。

25 次に [デバイスオプション] の設定をします。[プリンタと FAX] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



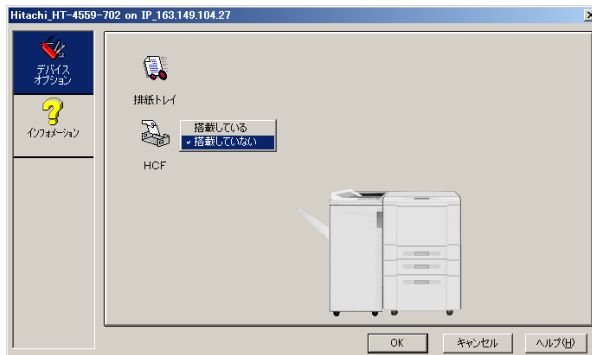
26 プリンタアイコンと同じ名称のタブを選択して、[デバイスオプション] → [設定] ボタンをクリックします。



参考 プリンタ状態監視機能については、「4.16 プリントモニタについて」をご覧ください。

参考 [プリンタ状態監視機能／ページ記述言語] の [設定] ボタンについては、「4.16.5 プリントモニタ／ページ記述言語 設定値の変更」をご覧ください。

27 オプション装置の装着状況を設定します。

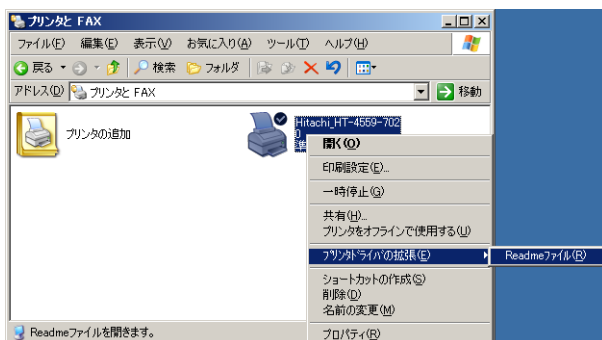


ポイント オプション装置の装着状況を変更するには、各オプションそれぞれのアイコンをクリックしてください。

28 [OK] ボタンをクリックして [デバイスオプション] ダイアログと [プロパティ] を閉じます。

29 ページ記述言語を設定します。ページ記述言語の設定については「4.16.5 プリントモニタ／ページ記述言語 設定値の変更」をご覧ください。

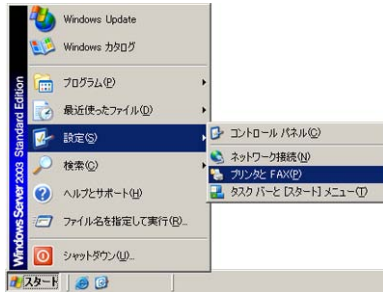
30 最後に Readme ファイルをお読みください。[プリンタと FAX] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プリンタドライバの拡張] → [Readme ファイル] を選択します。



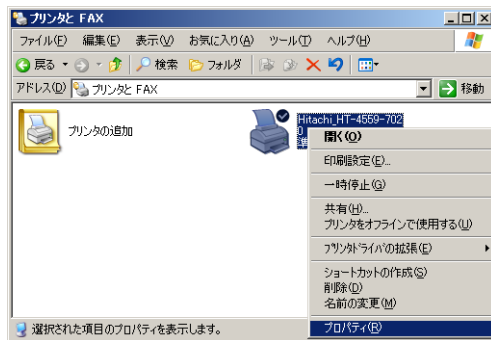
3.4 プロパティの表示

プリンタの [プロパティ] を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



- 3** [全般] や [共有] などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。各項目の説明については、オンラインヘルプをご覧ください。



ポイント オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。

参考 [共有] については、「[3.5 プリンタ共有](#)」を、[ポート] については「[3.6 印刷するポートの変更](#)」をそれぞれご覧ください。

- 4** プリンタドライバのバージョンを確認するには、プリンタアイコンと同じ名称のプロパティを表示します。

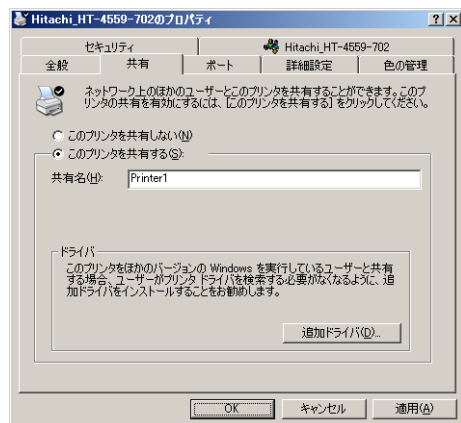


参考 プリンタドライバをご使用の場合はプリンタアイコンと同じ名称のプロパティが表示されますが、別の種類のプリンタドライバでは [デバイスの設定] プロパティが表示されます。

3.5 プリンタ共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows XP/Server 2003 が動作しているコンピュータを経由して印刷を行うときに、プリンタの [共有] 機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** 「3.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、[共有] プロパティを表示します。



- 2** [共有する] を選択して、共有プリンタの名前を入力します。クライアントコンピュータでは、通常ここで入力した名前が「共有プリンタ名」として認識されません。

ポイント プリンタを [共有する] とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに [ポート] プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータからWindows上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開しているWindowsにネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

- 3** [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



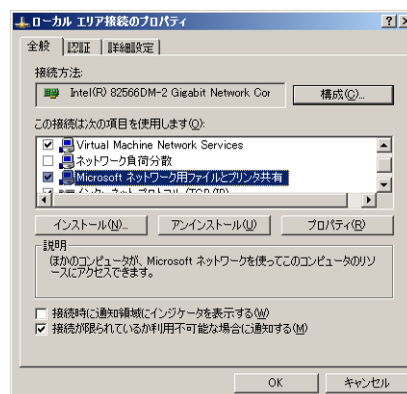
注意

[共有] プロパティの [追加ドライバ] ボタンをクリックすると、クライアントコンピュータから要求があった時にプリンタドライバを自動的にダウンロードするように、あらかじめプリンタドライバを共有プリンタを公開している Windows 上に格納しておくことができます。しかし、製品添付のプリンタドライバを [追加ドライバ] として格納することはできません。クライアントコンピュータ用のプリンタドライバは、個々のコンピュータごとにインストールしてください。



参考

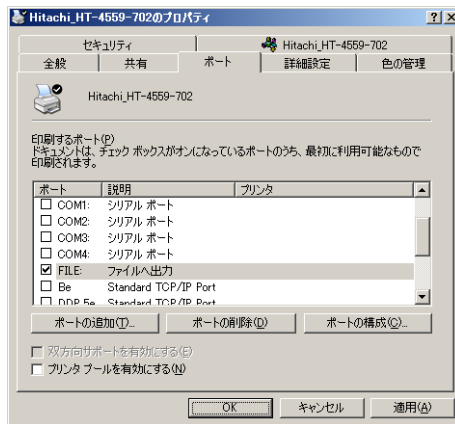
[共有] 設定ができない場合は、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でWindowsにログオンします。[スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択し、[ローカルエリア接続] の [プロパティ] を表示します。[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] が組み込まれていて、チェックボックスが ON になっていることをご確認ください。



3.6 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** 「3.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



- 2** 印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

ポイント プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合

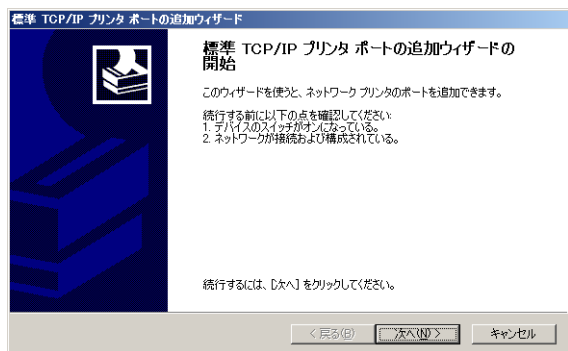
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

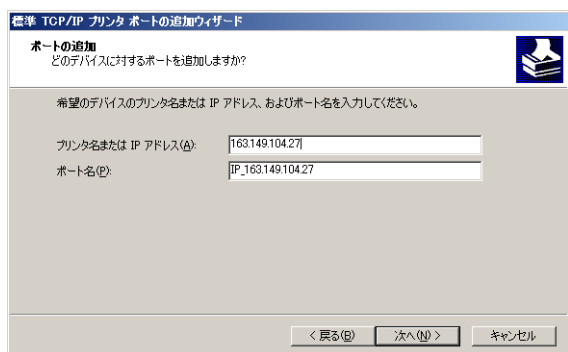


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

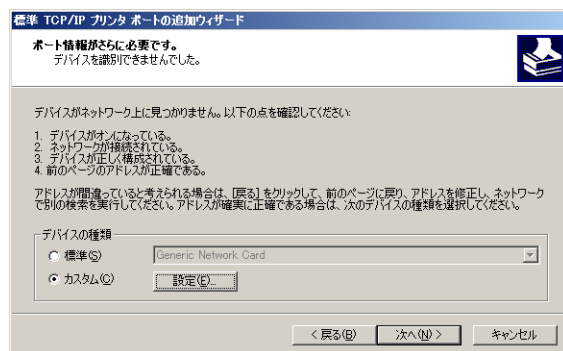
3 [次へ] ボタンをクリックします。



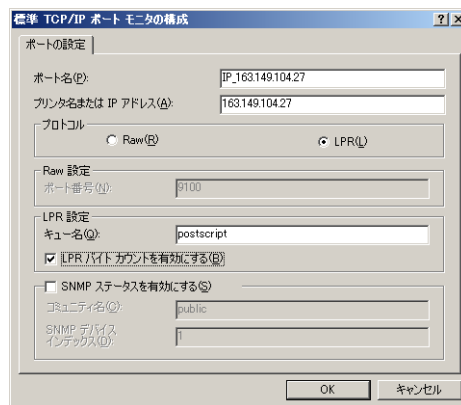
4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

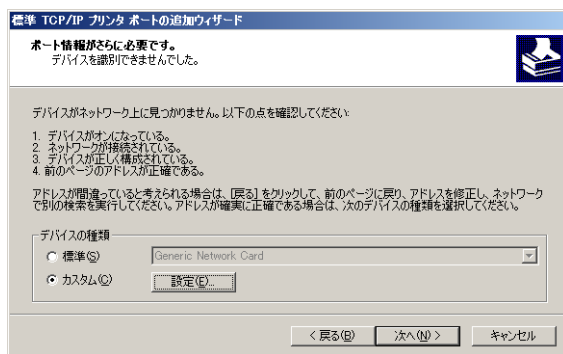


6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

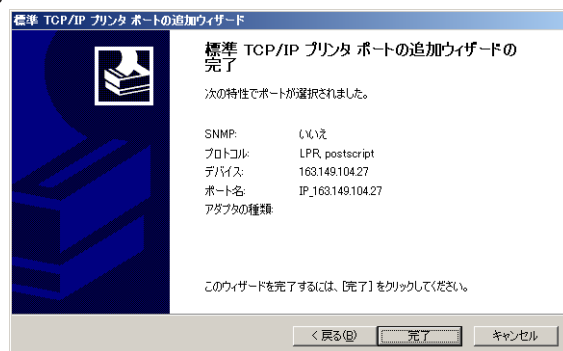


ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript”や“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は“postscript”を、ページ記述言語で PCL を使用する場合は“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“postscript”または“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



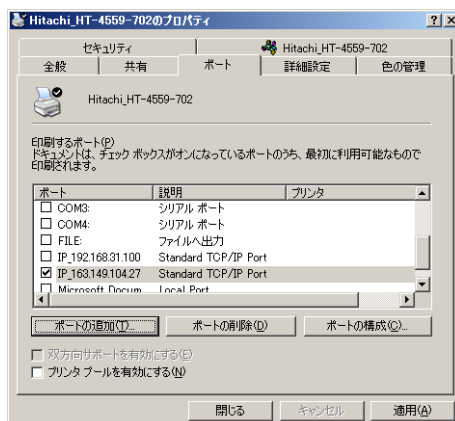
8 [完了] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] ダイアログを閉じます。



3.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



3 [ポート名] を“¥¥サーバ名¥共有プリンタ名”の書式で入力し、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名が kh330003 で共有プリンタ名が Printer1 の場合の例です。



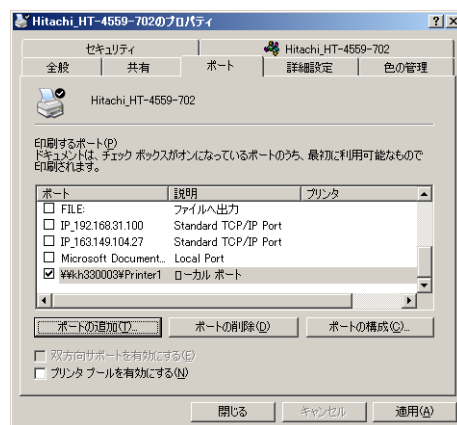
ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、デスクトップ上の [マイネットワーク] を使用します。[マイネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。



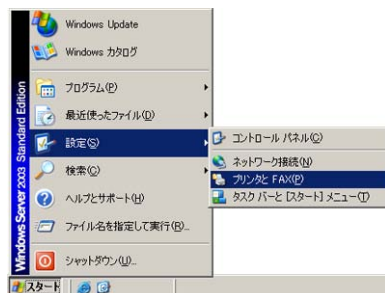
5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] ダイアログを閉じます。



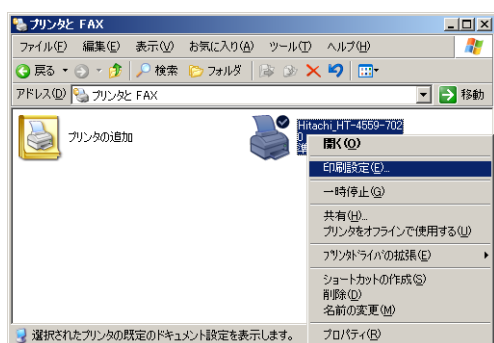
3.7 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更し、新たな初期値として保存するには、次の手順で操作を行います。アプリケーションソフトから印刷する場合、ここでのプリンタドライバの設定が初期値となります。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

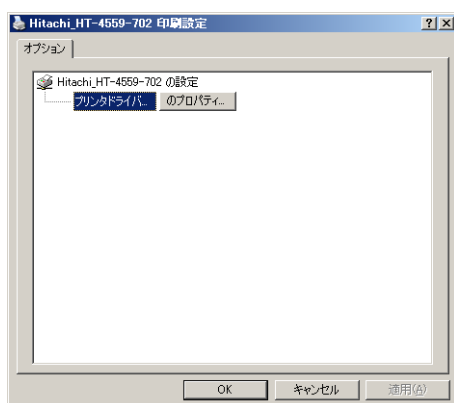
- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



- 3** [のプロパティ] ボタンをクリックします。



- 4** プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。




- 参考** 各ダイアログの詳細は「第 4 章 プリンタドライバの設定」をご覧ください。

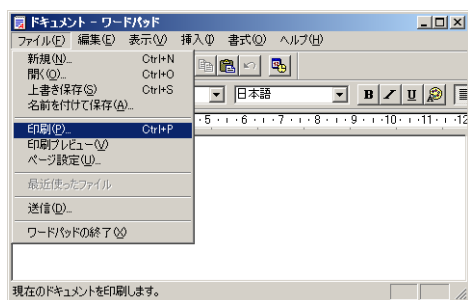
- 5** [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログと [プロパティ] を閉じます。

3.8 アプリケーションソフトからの印刷

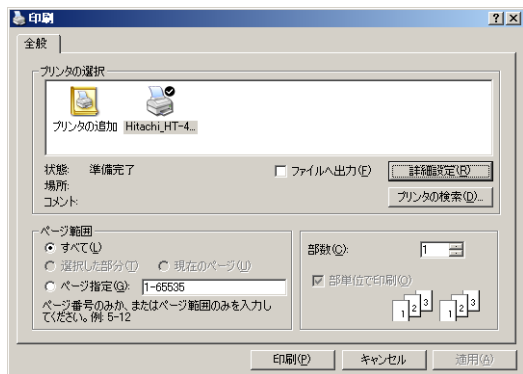
プリンタドライバのさまざまな機能を利用してアプリケーションソフトから印刷するには、次の手順でプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

 ここでは Windows Server 2003 付属のワードパッドで印刷する場合の例を示します。ご使用になるアプリケーションソフトごとにメニューやダイアログの表示内容は異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

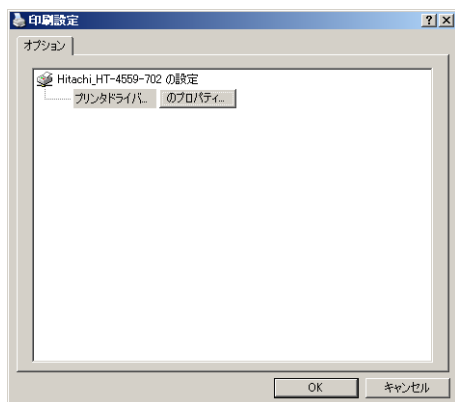
1 [ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。




3 [のプロパティ] ボタンをクリックします。



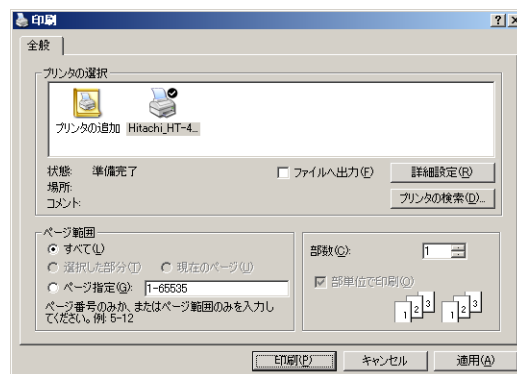
4 プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。



 各ダイアログの詳細は「第 4 章 プリンタドライバの設定」をご覧ください。

5 [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログを閉じます。

6 必要に応じて [ページ範囲] や [部数]などを指定します。[印刷] ボタンをクリックすると印刷が行われます。



 **注意**

アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に動きません。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、プリンタドライバの [ドキュメント] ダイアログで [丁合い] のチェックが ON (初期値) であれば、各部分ごとにページ順で印刷を行うことができます。

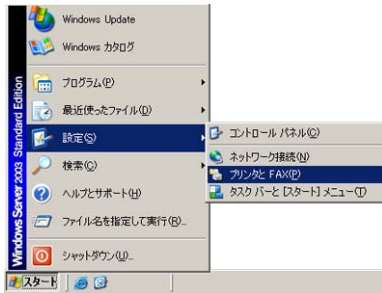
3.9 プリンタドライバのアンインストール

3.9.1 プリンタアイコンの削除

プリンタドライバを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

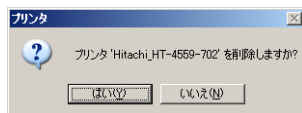
2 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



3 削除するプリンタドライバのプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



4 [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **3** から **4** を繰り返します。

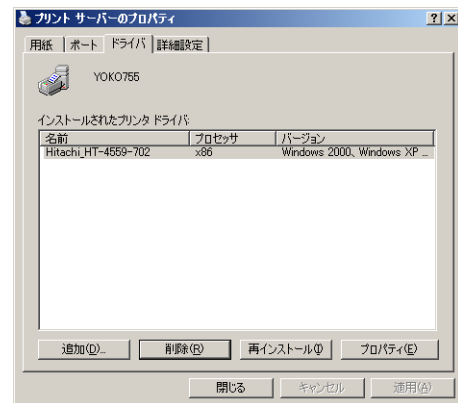


5 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

ポイント 続けて **6** 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタドライバ関連のファイルを削除することができません。

6 再度、[プリンタと FAX] を開き [ファイル] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

7 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[ドライバ] タブを選択して、[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックします。



8 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **7** から **8** を繰り返します。



3.9.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除

プリンタドライバを構成するファイルを Windows システムから削除するには、次の手順で操作を行います。



注意 本節の操作が必要となるのは次のような場合です。同じバージョンのプリンタドライバを追加インストールする場合は以下の操作は不要です。

- プリンタドライバをすべて削除してから、再度プリンタドライバをインストールする。
- プリンタドライバのバージョンアップを行う。

1

すべてのプリンタドライバを [プリンタ] フォルダから削除します。

すべてのプリンタドライバを削除するには、「3.9.1 プリンタアイコンの削除」を参照してください。

2

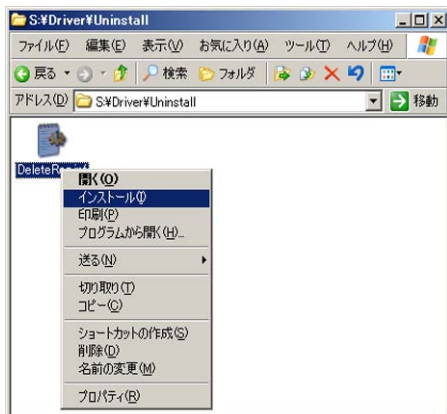
「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

[Driver] → [Uninstall] フォルダを開きます。

4

次に [DeleteReg.inf] アイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [インストール] を選択します。



参考 Windows Server 2003 では、警告メッセージが表示されます。ファイル名と発信元をご確認の上 [開く] ボタンをクリックしてください。



注意 この操作を行うと [プロファイル] の設定など、プリンタドライバの設定情報はすべてなくなります。

5

Windows を再起動します。

第 4 章

プリンタドライバの設定

第4章 プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定をすると、いろいろな機能を使って印刷することができます。本章では、プリンタドライバの設定方法について説明します。



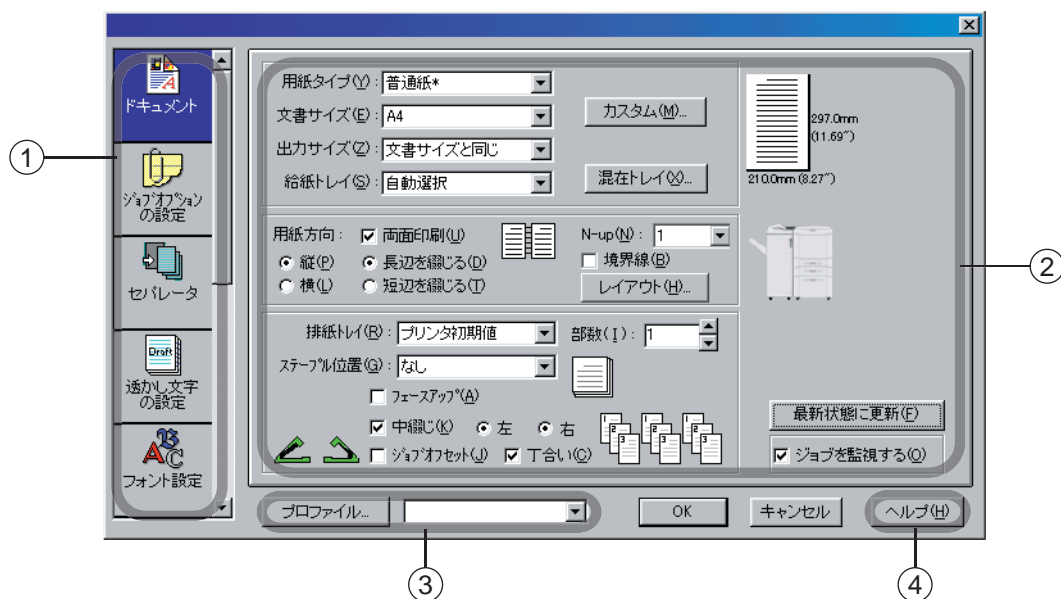
本マニュアルに記載している画面の図は、説明のためにすべての設定項目を表示しています。ページ記述言語、デバイスオプションの選択、プリンタドライバインストール時の設定によって表示内容は変わります。

4.1 ダイアログの構成

プリンタドライバのダイアログ構成を説明します。



プリンタドライバの設定ダイアログを開くには、第2章～第3章の「プリンタドライバ初期値の変更」または「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。



① 設定メニューリスト

プリンタドライバの各機能グループの選択に使用します。項目をクリックすることにより「②設定画面」が切り替わります。

② 設定画面

各種設定を行うために使用します。

③ プロファイル

プロファイルのリストを表示します。プロファイルとは、プリンタドライバの各種設定情報（用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷などの設定）をライブラリとして登録しておき、いつでも呼び出して瞬時にプリンタドライバの設定内容を切り換えるためのものです。設定内容はプロファイル名として任意の名前を付けておくことができ、使用目的に応じてリストから選択することができます。

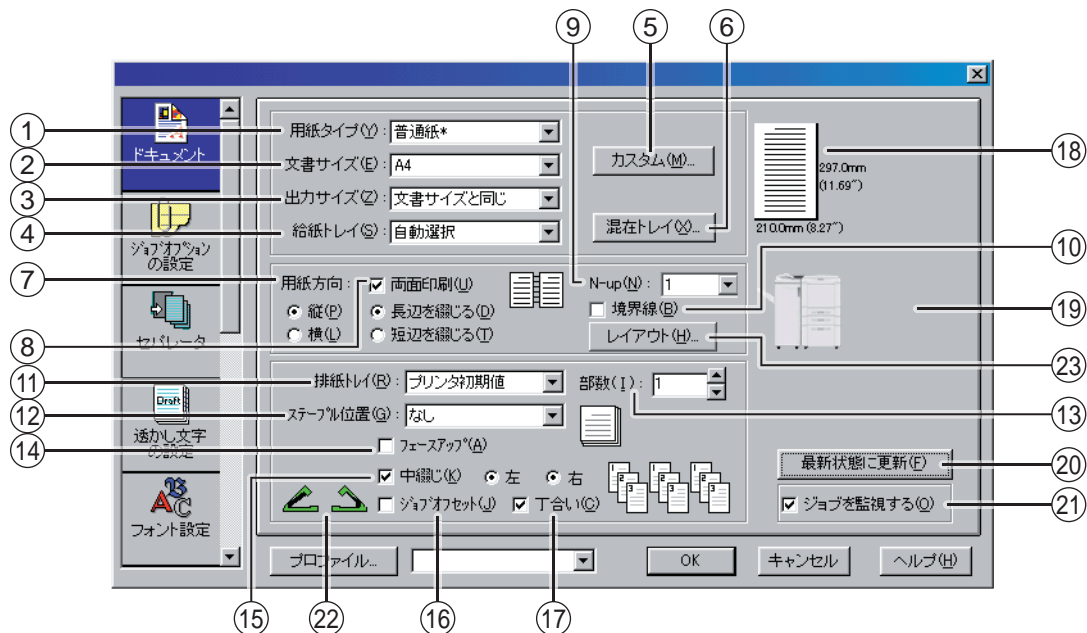
詳しくは「[4.13 プロファイルの活用](#)」をご覧ください。

④ ヘルプボタン

プリンタドライバの機能説明を画面に表示します。

4.2 [ドキュメント] ダイアログ

アプリケーションソフトから印刷する場合の基本的な設定を行います。



① 用紙タイプ

用紙の種類を選択します。

④「給紙トレイ」が自動選択のときは、ここで選択した用紙タイプと出力サイズにマッチした用紙がトレイから給紙されます。

参考 プリンタ状態監視機能（プリントモニタ）が有効な場合には、選択した給紙トレイに設定されている用紙タイプに、*マークが付加されます。

② 文書サイズ

アプリケーションソフトでの文書のサイズを選択します。

③ 出力サイズ

実際にプリンタで印刷する用紙サイズを選択します。

ポイント PostScript では、[文書サイズ] と [出力サイズ] で異なる用紙サイズを指定したときは、ページイメージ全体をスケール変換します。PCL5e では、[文書サイズ] と [出力サイズ] で異なる用紙サイズを指定することはできません。

ポイント 出力サイズ [A4] と [Letter] は、LEF (Log Edge Feed) と SEF (Short Edge Feed) のどちらかを指定することができます。[文書サイズ] で [A4] または [Letter] を指定して、[出力サイズ] で [文書サイズと同じ] を指定すると、LEF (Long Edge Feed) の用紙として扱います。

参考 双方向通信機能（プリントモニタ）が有効な場合には、選択した給紙トレイにセットされている出力サイズに、*マークが付加されます。

④ 給紙トレイ

印刷を行う用紙をセットしたトレイを選択します。

[自動選択] を選択した場合は、用紙タイプ、出力サイズにマッチしたトレイが選択されます。

ポイント [混在トレイ] を選択すると、ひとつのジョブ内で各ページ範囲ごとに給紙トレイを切替えて印刷することができます。詳しくは⑥「混在トレイ」をご覧ください。

参考 プリンタ状態監視機能（プリントモニタ）が有効な場合には、各給紙トレイの後ろに用紙残量が表示されます。（[MBT] は除く）

⑤ カスタム

[カスタム] ボタンをクリックすると、カスタム用紙のサイズを定義することができます。



ポイント カスタム用紙の短辺の長さを [幅]、長辺の長さを [長さ] として入力します。

ポイント カスタム用紙サイズを使用する場合は、「プリンタの操作パネル」で次の設定を行ってください。

- (1) [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] で、カスタム用紙のサイズを設定する。
- (2) [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

プリンタの操作パネルの使用方法については製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

- ⑥ 混在トレイ
[混在トレイ] ボタンをクリックすると [混在トレイの設定] ダイアログが開きます。



〈トレイ選択方法：「給紙トレイ」の場合〉



〈トレイ選択方法：「用紙タイプ」の場合〉

印刷する文書の任意のページ範囲ごとに、給紙トレイを切替えて印刷することができます。

[トレイ選択方法]

混在トレイの選択方法として「給紙トレイ」で選択するか、「用紙タイプ」で選択するかを指定します。

参考 設定例および注意事項については「4.12 混在トレイの活用」をご覧ください。

[グループ]

最大 50 グループまでページ範囲を指定できます。
▲ をクリックすると前の5グループに、▼ をクリックすると次の5グループにそれぞれ移動します。

[ページ]

ページの範囲を、開始ページ [From] と終了ページ [To] で指定します。直前のグループの終了ページ [To] を確定すると、自動的に次のグループの開始ページ [From] が確定します。ページグループを追加するためには、最下行の [To] の値を最大値 (9999) より小さな値に設定してください。

[給紙トレイ] (トレイ選択方法：給紙トレイの場合)
範囲指定したページを印刷するときに使用する [給紙トレイ] を選択します。

[用紙タイプ] (トレイ選択方法：用紙タイプの場合)
範囲指定したページを印刷するときに使用する [用紙タイプ] を選択します。

[両面印刷]

範囲指定したページを片面印刷するのか両面印刷するのかを指定します。[ドキュメント] ダイアログの ⑧ [両面印刷] を選択した場合のみ、両面印刷の有無を設定できます。

- ⑦ 用紙方向
アプリケーションソフトでの文書の用紙方向を選択します。

- ⑧ 両面印刷
用紙の両面に印刷します。用紙裏側に印刷するページイメージの貼り付け方によって、[長辺を綴じる] または [短辺を綴じる] のいずれかを選択します。

- ⑨ N-up (PostScript で印刷する場合のみ有効)
1 枚の用紙片面に何ページ分のページイメージを印刷するかを指定します。

- ⑩ 境界線
ページの境界線を印刷します。

- ⑪ 排紙トレイ
用紙の排紙先を選択します。排紙先はプリンタのオプション構成によって異なります。

⑫ ステープル位置

ステープル位置は、用紙縁面中央2箇所（左中央、右中央、上中央）、用紙コーナー1箇所（左上、右上）のいずれかを選択できます。詳しくは「4.14 ステープル位置について」をご覧ください。

！ 特定の用紙タイプやプリンタ操作パネルの用紙重量の設定などの組み合わせにより、ステープルが不可能な場合もあります。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。



注意

[ステープル位置] と混在トレイ機能やセパレータ機能などを組み合わせて印刷する場合、ひとつのジョブの中に用紙サイズが混在する文書については、正しく印刷することができません。

⑬ 部数

コピー部数を指定します。

⑭ フェースアップ

チェックボックスを選択すると、片面印刷時に印刷面を上に向けて排紙します。



参考

用紙送り方向に対して長さが9inch (228.6mm) を超える用紙は [フェースアップ] で排紙することはできないか、推奨されていません。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

⑮ 中綴じ (PostScript で印刷する場合のみ有効)

チェックボックスを選択すると、中綴じ小冊子を作成したときにページ順序が正しくなるようにページの並べ替えを行って面付け処理をします。

例えば [文書サイズ] メニューで A4、[出力サイズ] で A3 を指定すると、A4 サイズの文書を A3 用紙の片面に2枚、両面で4ページ配置します。

小冊子が左開きとなるようにページの並べ替えを行うには [左] を、小冊子が右開きとなるようにページの並べ替えを行うには [右] を選択します。



ポイント

Acrobat 5. x から印刷する場合は、印刷ダイアログの [用紙サイズに合わせてページを縮小] [用紙サイズに合わせてページを拡大] [スピードを優先して最適化] のチェックはすべて外してください。

Acrobat 4. x から印刷する場合は、印刷ダイアログの [用紙サイズに合わせる] のチェックは外してください。

⑯ ジョブオフセット

チェックボックスを選択すると、ジョブ単位または部単位でのオフセット排紙を行います。

⑰ 丁合い

チェックボックスを選択すると、ページ順に複数部数の印刷を行います。

⑱ 用紙アイコン

出力サイズ、用紙方向、N-up の選択状態を表示します。

⑲ プリンタのオプション構成

[デバイスオプション] ダイアログの設定にしたがって、プリンタのオプション構成を表示します。

⑳ 最新状態に更新

プリンタの構成情報を直接プリンタに問い合わせ、プリンタドライバの設定を最新状態に更新します。プリンタの給紙トレイにセットされている用紙タイプ、出力サイズには、それぞれのメニュー上で*マークを表示します。[MBT] トレイを除く各給紙トレイの用紙残量を表示したり、フィニッシャーのステープル残量をステープルレベルアイコンで表示します。



ポイント

これらの機能は、プリンタドライバのインストール時にプリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を有効とした場合にのみ適用されます。

㉑ ジョブを監視する

チェックボックスを選択すると、アプリケーションソフトから印刷するときにプリントモニタを起動して印刷ジョブを監視します。



ポイント

プリンタドライバのインストール時にプリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を有効とした場合にのみ適用されます。

㉒ ステープルアイコン

フィニッシャーのステープル残量を表示します。アイコンが緑色のときは残量があることを示し、アイコンが赤色のときは残量がないことを示します。

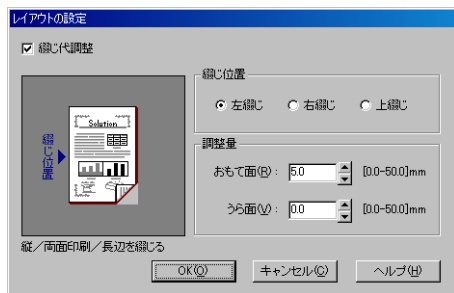


ポイント

プリンタドライバのインストール時にプリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を有効とした場合にのみ適用されます。

②③ レイアウト (PostScript で印刷する場合のみ有効)

[レイアウト] ボタンをクリックすると [レイアウトの設定] ダイアログが開きます。[レイアウトの設定] ダイアログでは、綴じ代を調整することができます。



[綴じ代調整]

綴じ代を調整するには、チェックボックスを選択します。

[綴じ位置]

綴じ位置を指定します。

[調整量]

綴じ代の調整量を [おもて面]、[うら面] (両面印刷する場合) それぞれ指定します。用紙の綴じ位置を基準にして、指定した長さ分だけページイメージ全体をシフトして印刷します。

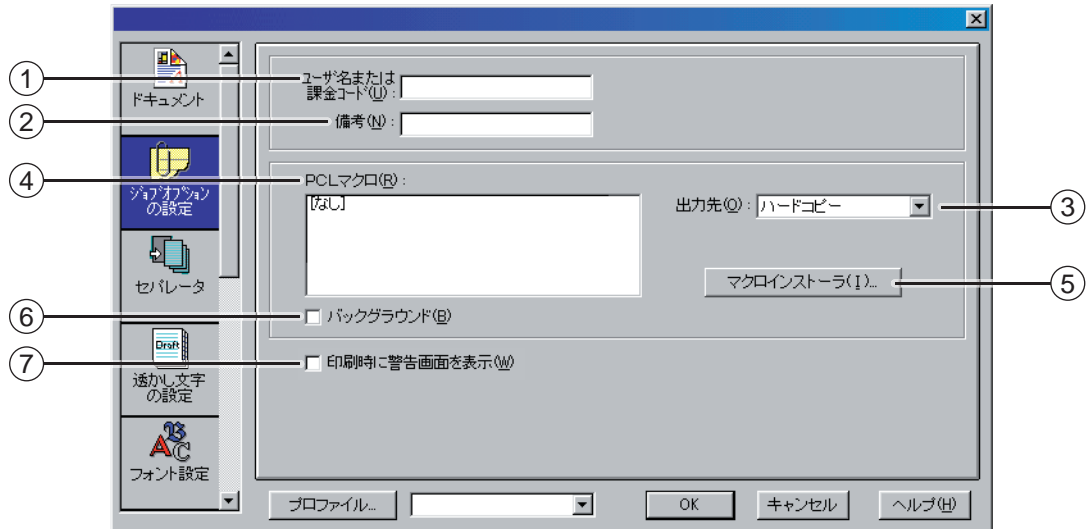


注意

綴じ代調整を設定した後に、[ドキュメント] ダイアログの [用紙方向] と [両面印刷] の設定を変更すると、設定値が変わってしまうことがあります。綴じ代調整を行う時は、必ず先に [用紙方向] と [両面印刷] (両面印刷する場合) を設定してください。

4.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ

バナーページに印刷する情報の入力と PCL マクロの設定を行います。



- ① ユーザ名または課金コード
バナーページの [User/Project] 欄に、ここで入力した文字列が印刷されます。

- ② 備考
バナーページの [Note] 欄に、ここで入力した文字列が印刷されます。

- ③ 出力先 (PCL5e で印刷する場合のみ有効)
プリンタドライバが生成する印刷データの出力先を指定します。
通常では [ハードコピー] を選択します。この場合はプリンタに印刷データを出力します。一方、[PCL マクロ] を選択してアプリケーションソフトから印刷すると、コンピュータ上のファイルとしてマクロデータを作成することができます。

! マクロデータを作成するときは、④ [PCL マクロ] リストで [なし] を選択します。「4.15 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

- ④ PCL マクロ (PCL5e で印刷する場合のみ有効)
⑤ [マクロインストーラ] により登録されたマクロデータをリスト表示します。リストからマクロデータを選択してアプリケーションソフトから印刷すると、印刷データにマクロデータを重ね合わせた印刷をすることができます。

! マクロデータの重ね合わせ印刷をするときは、③ [出力先] は [ハードコピー] にします。詳しくは「4.15 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

- ⑤ マクロインストーラ (PCL5e で印刷する場合のみ有効)
ボタンをクリックすると、PCL マクロインストーラが起動します。PCL マクロインストーラを使用すると、プリンタドライバで作成したマクロデータを④ [PCL マクロ] リストに登録することができます。

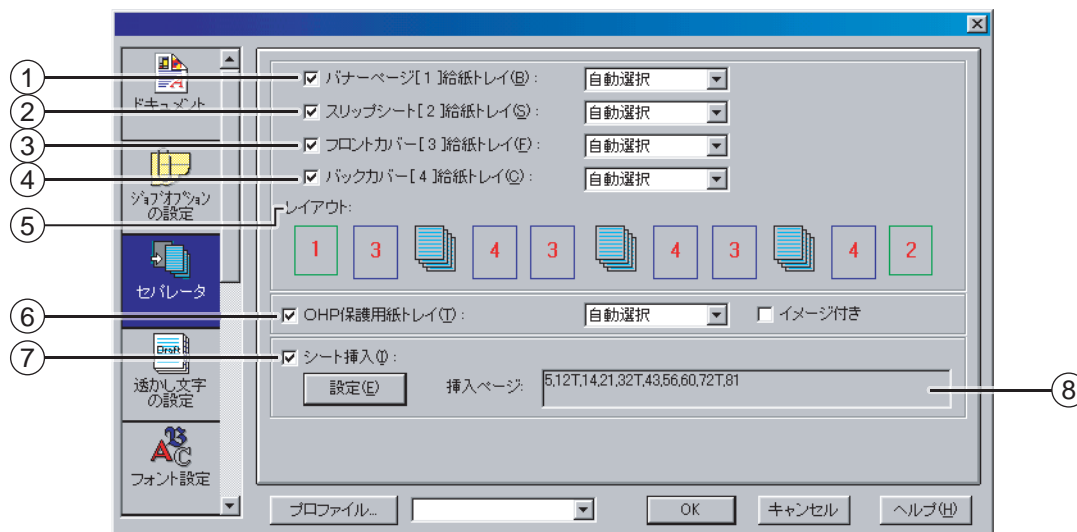
「4.15 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

- ⑥ バックグラウンド (PCL5e で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、マクロデータを最初に描画してから印刷イメージを重ね合わせて印刷します。印刷イメージがマクロデータによって消されてしまうような場合に有効です。

- ⑦ 印刷時に警告画面を表示 (PostScript で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、Adobe Reader/Adobe Acrobat/Adobe Acrobat Reader からの印刷指示時に、印刷設定に関する警告画面を表示します。ただし、チェックボックスを選択した状態でもプリンタドライバの設定内容によっては警告画面が表示されないこともあります。

4.4 [セパレータ] ダイアログ

印刷する文書にカバーシートなどの用紙を挿入して印刷する場合の設定を行います。



「4.11 セパレータの活用」をご覧ください。

参考

- ① **バナーページ**
チェックボックスをチェックすると、ジョブの先頭にバナーページを挿入します。バナーページの印刷内容は、[ジョブオプションの設定] ダイアログ で入力します。
- ② **スリップシート**
チェックボックスをチェックすると、ジョブの最後に次のジョブとの区切りのために白紙を挿入します。
- ③ **フロントカバー**
チェックボックスをチェックすると、指定した給紙トレイから部単位ごと各部の先頭に、白紙を挿入します。
- ④ **バックカバー**
チェックボックスをチェックすると、指定した給紙トレイから部単位ごと各部の最後に、白紙を挿入します。
- ⑤ **レイアウト**
バナーページ、スリップシート、フロントカバー、バックカバーの選択状態をビジュアル表示します。
- ⑥ **OHP 保護用紙トレイ**
チェックボックスをチェックすると、各シートの後に用紙を挿入します。また、[イメージ付き] を選択すると、挿入する用紙にも OHP シートの印刷イメージを印刷します。

- ⑦ **シート挿入 (PostScript で印刷する場合のみ有効)**
チェックボックスを選択すると、間紙 (あいし) やタブインデックス印刷を含むタブ紙の挿入機能を有効にします。なお、最大 100 シートの設定が可能です。



中綴じ、N-up 機能との同時指定は行えません。

参考

[設定] ボタンをクリックすると [シート挿入の設定] ダイアログ が開きます。詳しくは「4.11.3 シート挿入」をご覧ください。



[シート挿入の設定] ダイアログでは、印刷する文書の任意ページの後に、間紙やタブ紙を挿入するための設定を行います。タブ紙を挿入する場合は、指定した文字列をインデックスタブに印刷することも可能です。



シート挿入の設定をするには、まず [ページ] にポイント 数字を入力してから [Tab] キーを押します。

[ページ]

間紙やタブ紙を挿入する箇所をページ番号で指定します。ここで指定したページ番号の次に間紙やタブ紙が挿入されます。

例えば「5」を入力すると、5 ページ目と 6 ページ目の間にシートが挿入されます。ただし両面印刷で用紙の表面に5 ページ目が裏面に6 ページ目が印刷されるような場合は、ここでの「5」ページ目の指定はスキップされて5 ページ目と 6 ページ目の間にシートは挿入されません。

[給紙トレイ]

挿入する間紙やタブ紙を給紙するトレイを選択します。

[タブ付き]

インデックスタブに文字列を印刷する場合にチェックします。

[タブテキスト]

インデックスタブに印刷するテキスト文字列を入力します。

[インデックスタブ]

インデックスタブ付き用紙の種類、タブテキストを印刷するときのフォント、スタイル、文字サイズを選択します。また、タブテキストを縦書き印刷する場合は、[テキストの回転] をチェックします。



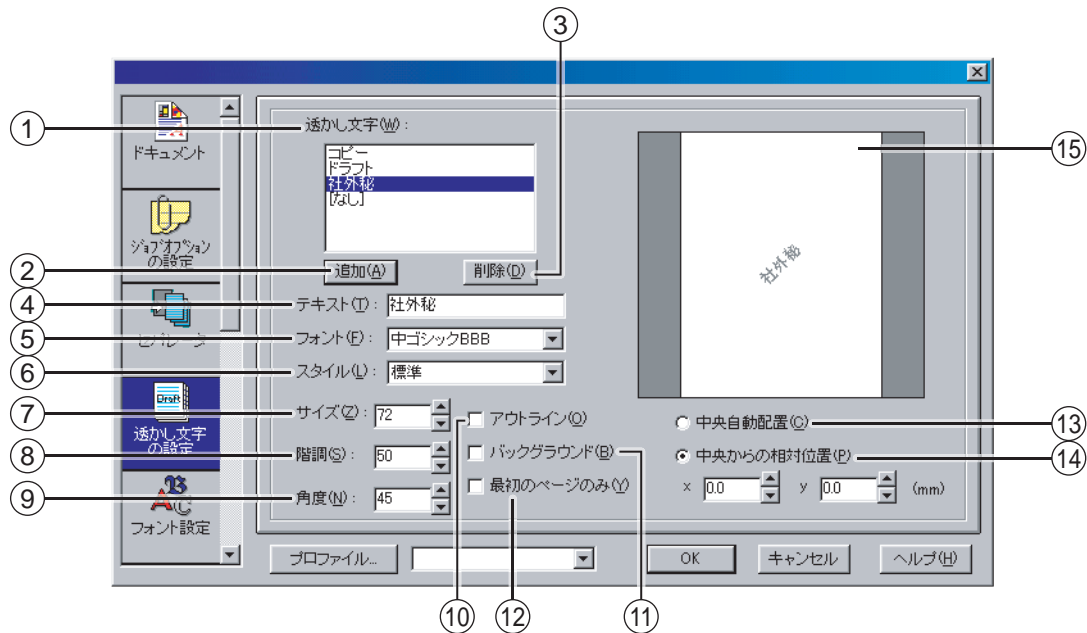
インデックスタブ付き用紙は、5 山見出しインデックスカード(A4 タブ紙)のみ対応しています。

⑧ 挿入ページ

[シート挿入の設定] ダイアログ で定義されている挿入箇所のページ番号をリスト表示します。記号「T」はタブインデックスの挿入を意味します。

4.5 [透かし文字の設定] ダイアログ

透かし文字を印刷イメージに重ね合わせて印刷する場合の設定を行います。

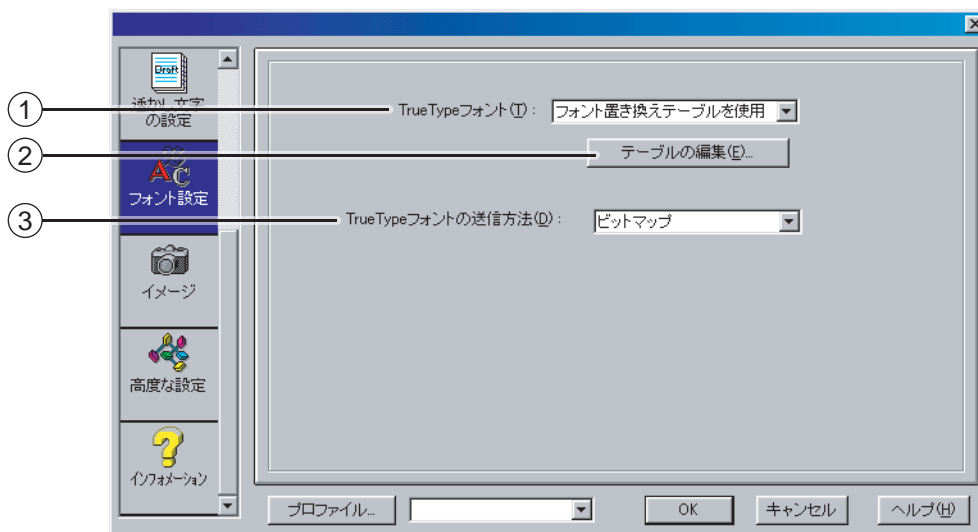


- ① 透かし文字
透かし文字として印刷する文字列をリストから選択します。
- ② 追加
ボタンをクリックすると、④ [テキスト] に<新規>入力用のテキストが表示されます。任意の文字列を入力することにより、① [透かし文字] リストに追加することができます。
- ③ 削除
① [透かし文字] リストで選択されている文字列を、リストから削除します。
- ④ テキスト
透かし文字として登録する文字列を入力します。② [追加] ボタンをクリックしてから文字列を入力します。
- ⑤ フォント
透かし文字を印刷するときに使用するフォントを指定します。
- ⑥ スタイル
透かし文字を印刷するときに使用するフォントスタイルを選択します。
- ⑦ サイズ
透かし文字を印刷するときに用いるフォントのサイズを指定します。
- ⑧ 階調
透かし文字の濃度を指定します。0% が白で 100% が黒となります。
- ⑨ 角度
透かし文字の角度を指定します。[0] ~ [360] の範囲で指定します。ページ記述言語が [PCL5e] の場合は、日本語フォントの1文字1文字は角度を持ちません。
- ⑩ アウトライン (PostScript で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、透かし文字は文字の外形のみを印刷します。
- ⑪ バックグラウンド
チェックボックスを選択すると、透かし文字を最初に描画してから印刷イメージを重ね合わせて印刷します。印刷イメージが透かし文字によって消されてしまうような場合に有効です。
- ⑫ 最初のページのみ
チェックボックスを選択すると、先頭ページのみ透かし文字を印刷します。
- ⑬ 中央自動配置 (C)
- ⑭ 中央からの相対位置 (P)
 x 0.0 y 0.0 (mm)

- ⑬ 中央自動配置
透かし文字の印刷位置を、用紙中央にします。
- ⑭ 中央からの相対位置
透かし文字の印字位置を、用紙中央からの相対位置で指定します。相対位置は (x, y) それぞれ、-2540.0 ~ 2540.0 mm の範囲で指定します。
- ⑮ プレビュー
透かし文字のプレビューを表示します。

4.6 [フォント設定] ダイアログ

TrueType フォントの印刷に関する設定を行います。



- ① TrueType フォント
アプリケーションソフトの文書中で使用されている TrueType フォントをどのように印刷するかを指定します。

[フォント置き換えテーブルを使用]

[フォント置き換えテーブル] の設定にしたがって、任意の TrueType フォントを任意のプリンタフォントに置き換えて印刷するように指定します。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えると、一般に印刷データ量が小さくなりますが、画面上のフォントと印刷で使用するフォントのデザインは一致しなくなります。

[常にプリンタフォントを使用]

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。TrueType フォントが送信されずに印刷速度は向上しますが、画面上のフォントと印刷で使用するフォントのデザインが一致しない場合があります。

[常に TrueType フォントを使用]

プリンタフォントへの置き換えは行わずに、TrueType フォントをそのまま使用して印刷します。画面上のフォントと印刷で使用するフォントが同じになりますが、印刷データ量が大きくなり印刷時間が長くなる場合があります。

- ② テーブルの編集
ボタンをクリックすると [フォント置き換えテーブル] ダイアログが開きます。



Windows に登録されている [TrueType フォント] がリストアップされますので、[プリンタフォント] への置き換えを指定します。[プリンタフォント] リスト最上部の [ソフトフォントとしてダウンロード] を指定すると、[プリンタフォント] への置き換えはしません。

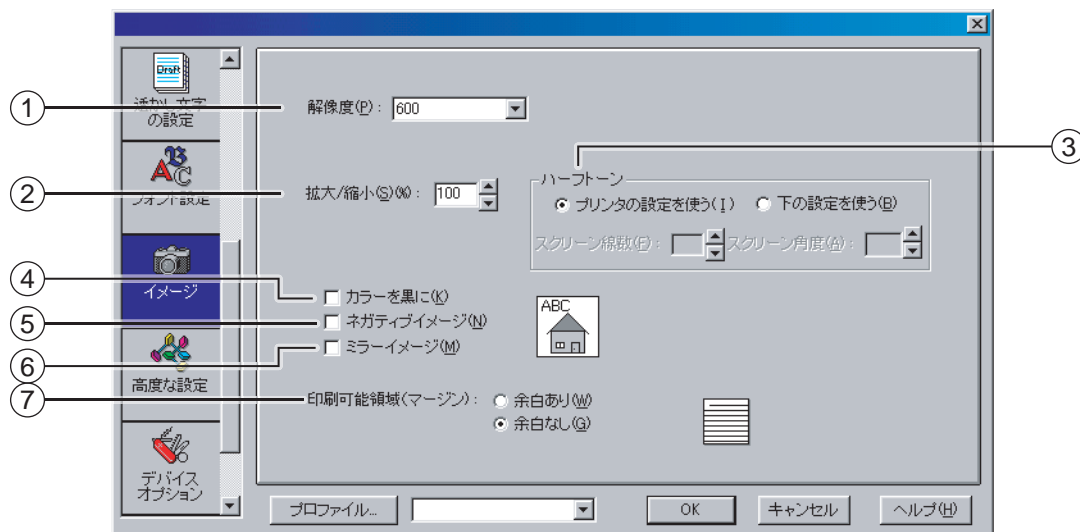
ポイント 外字などを印刷する場合は [ソフトフォントとしてダウンロード] を指定します。

参考 [プリンタフォント] への置き換えを指定すると、[TrueType フォント] 名の後に (プリンタフォント名) が付加されます。また、フォント名の先頭に "@" が付いているものは縦書き用フォントで、フォント名の先頭に "@" のない同名のフォントはリストの後方にあります。

- ③ TrueType フォントの送信方法
[ビットマップ] または [スケーラブル] のいずれかを選択します。ただし、[スケーラブル] はページ記述言語が [PostScript] のときに選択できます。

4.7 [イメージ] ダイアログ

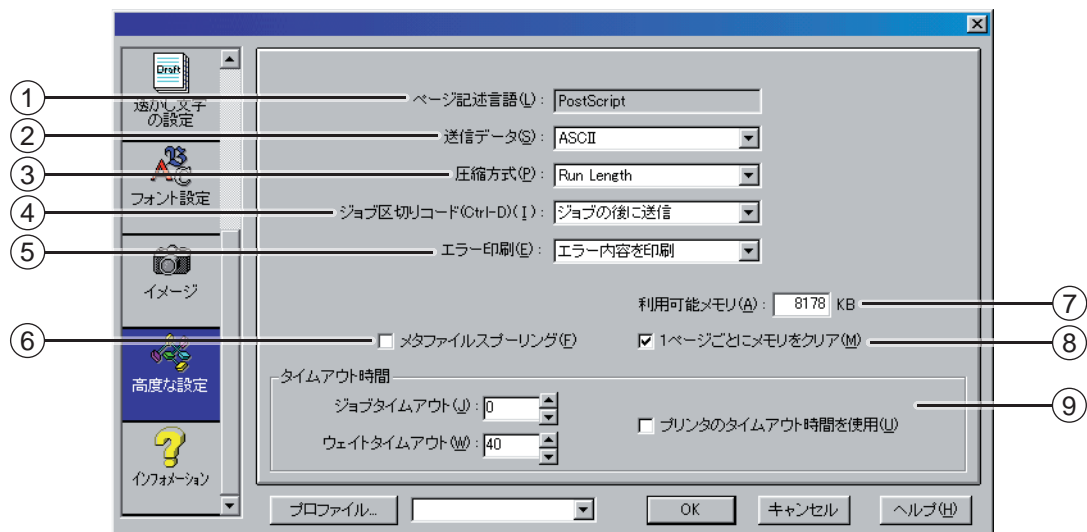
解像度、拡大／縮小、印刷可能領域（マージン）などの設定を行います。



- ① 解像度
本プリンタは [600 dpi] 固定です。
- ⑤ ネガティブイメージ (PostScript で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、RGB 値の補色または白黒値の反転によって、反転イメージを印刷します。
- ② 拡大／縮小 (PostScript で印刷する場合のみ有効)
印刷イメージの拡大縮小率を、百分率 ([10] ~ [400] %) で指定します。
- ⑥ ミラーイメージ (PostScript で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、水平方向に反転させて、文書のミラーイメージを印刷します。
- ③ ハーフトーン (PostScript で印刷する場合のみ有効)
[スクリーン線数] と [スクリーン角度] を指定して印刷する場合は、[下の設定を使う] を選択します。
- ⑦ 印刷可能領域 (マージン)
[余白なし] を選択すると、用紙全面に縁なし印刷することが可能になります。
- ④ カラーを黒に (PostScript で印刷する場合のみ有効)
チェックボックスを選択すると、文書のカラーデータをすべて黒で印刷します。

4.8 [高度な設定] ダイアログ

プリンタドライバが印刷データを生成する際に使用するページ記述言語の選択などを行います。



- ① ページ記述言語
ページ記述言語を表示します。
なお、ページ記述言語を変更する手順については、[「4.16.5 プリントモニタ/ページ記述言語 設定値の変更」](#)をご覧ください。
- ② 送信データ (PostScript で印刷する場合のみ有効)
送信時のデータ形式を [ASCII] 形式で送るか、[バイナリ] 形式で送るかを選択します。
- ③ 圧縮方式
画像データの圧縮方式を選択します。[なし] 以外を選択するとプリンタへの送信データ量が少なくなります。
- ④ ジョブ区切りコード (PostScript で印刷する場合のみ有効)
ジョブ区切りコード (Ctrl + D) を [ジョブの前] に送信するか、[ジョブの後] に送信するか、または [ジョブの前と後] に送信するかを選択します。



注意

[バイナリ] 形式はデータ量が少なくはすみませんが、プリンタドライバインストール時にプリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を無効、④ [ジョブ区切りコード] を [なし]、プリンタ本体の [PostScript I/O モード] を [Raw] に設定し、Ethernet インタフェースでのみご使用ください。

なお、[PostScript I/O モード] については製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。



注意

コンピュータとプリンタをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

- ⑤ エラー印刷 (PostScript で印刷する場合のみ有効)
PostScript エラーが発生した場合に、エラー内容を印刷するかどうかを選択します。[プリンタの設定を使用] は、プリンタ操作パネルの [プリンタ] → [ポストスクリプト] → [エラー印刷] の設定にしています。

- ⑥ **メタファイルスプーリング**
メタファイル (EMF) スプーリングを必要とするアプリケーションソフトをご使用の場合は、チェックボックスを選択します。



メタファイルスプーリングする場合は、次の機能は無効になります。
[ドキュメント] ダイアログ → [ジョブを監視する]
[セパレータ] ダイアログ → [バナーページ]
[セパレータ] ダイアログ → [シート挿入]
[透かし文字の設定] ダイアログ

- ⑦ **利用可能メモリ**
印刷時に利用可能なプリンタメモリの量を指定します。印刷中に問題が発生した場合は、設定値を小さくしたり、⑧ [1 ページごとにメモリをクリア] を選択します。
- ⑧ **1 ページごとにメモリをクリア**
印刷ジョブの各ページごとにプリンタ内部で使用しているメモリをクリアします。
- ⑨ **タイムアウト時間 (PostScript で印刷する場合のみ有効)**
アプリケーションソフトから印刷する場合のタイムアウト時間を指定するには、[プリンタのタイムアウト時間を使用] のチェックを外します。

[ジョブタイムアウト]

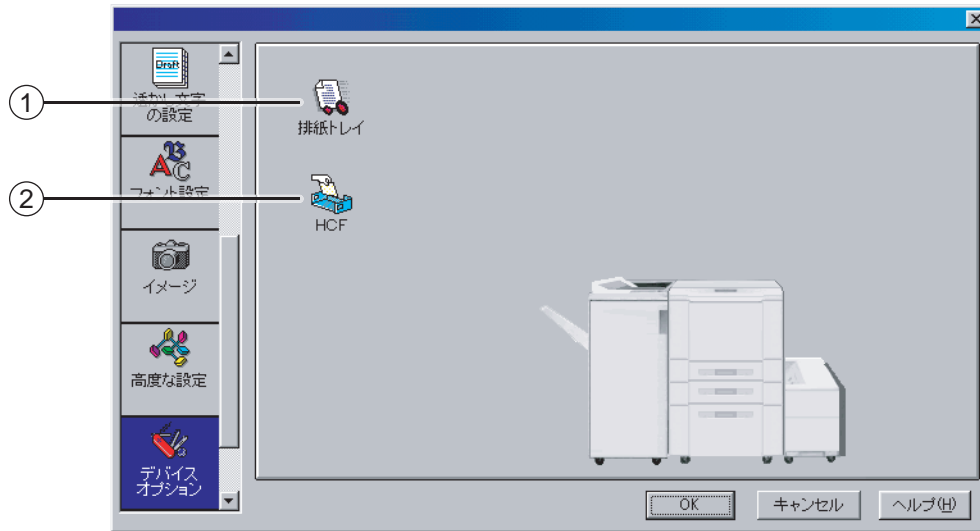
印刷データがコンピュータからプリンタに送信され、印刷されるまでの最長時間を秒単位で指定します。ここで指定した時間が過ぎると、印刷はキャンセルされます。[0] を指定すると画面上で印刷をキャンセルできなくなります。プリンタ共有を使用する場合は、[0] を指定しないでください。


[ウェイトタイムアウト]

コンピュータから送信されるデータをプリンタが受信するまでの最大待ち時間を秒単位で設定します。ここで設定された時間が過ぎる前にデータがプリンタに送信されないと、プリンタは印刷を中止してエラーメッセージを印刷します。このオプションは、コンピュータが何らかの理由で停止した場合に、プリンタがデータ待ちの状態に陥ってしまうことを防ぐことができます。[0] を入力すると、印刷をキャンセルできなくなります。プリンタ共有を使用する場合は、[0] を指定しないでください。

4.9 [デバイスオプション] ダイアログ

プリンタに装着されているオプションの選択を行います。



 オプションの装着状況に応じて図が変化します。

① 排紙トレイ

プリンタに装着されているフィニッシャーオプションを選択します。[排紙トレイ] アイコンをクリックして、フィニッシャーオプションを選択してください。

② HCF

HCF (High Capacity Feeder) オプション装着時には、[HCF] アイコンをクリックして [搭載している] を選択してください。

4.10 [インフォメーション] ダイアログ

プリンタドライバのバージョン情報や著作権情報などを表示します。

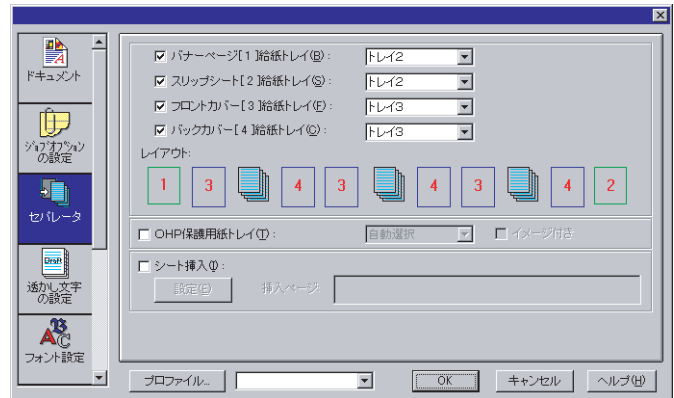
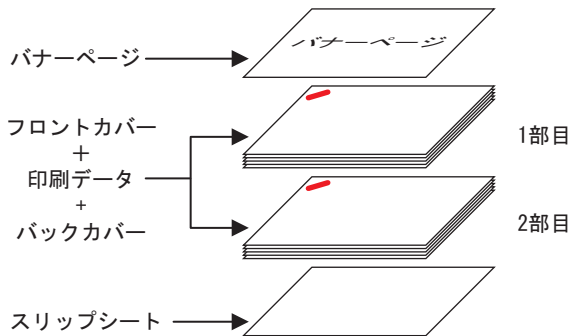


4.11 セパレータの活用

アプリケーションソフトから印刷するとき任意のページに間紙を挿入するには、セパレータ機能を使用します。ここではこのセパレータ機能の使用方法について説明します。

4.11.1 バナーページ / スリップシート / フロントカバー / バックカバー

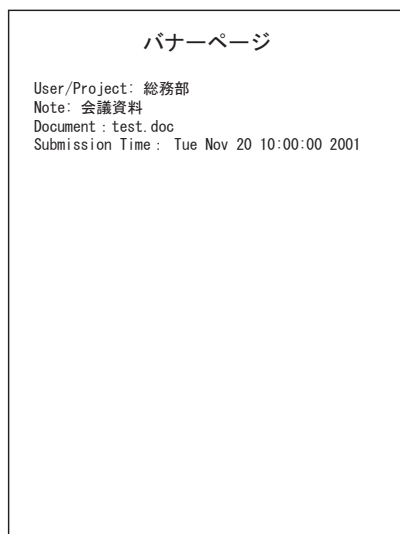
図のような印刷を行うには、次のように [セパレータ] ダイアログを設定します。



1 表紙や裏表紙を挿入するには、[フロントカバー] あるいは [バックカバー] を選択して、用紙の給紙先を指定します。

2 他の印刷物との区別をするために区切りページを挿入するには、[バナーページ] または [スリップシート] を選択して、用紙の給紙先を指定します。

参考 [ジョブオプションの設定] ダイアログの [ユーザ名 または課金コード] [備考] に入力した文字は、バナーページの [User/Project] [Note] 欄にそれぞれ印刷されます。



3 印刷部数やステープル位置の指定を行うには [ドキュメント] ダイアログを開きます。

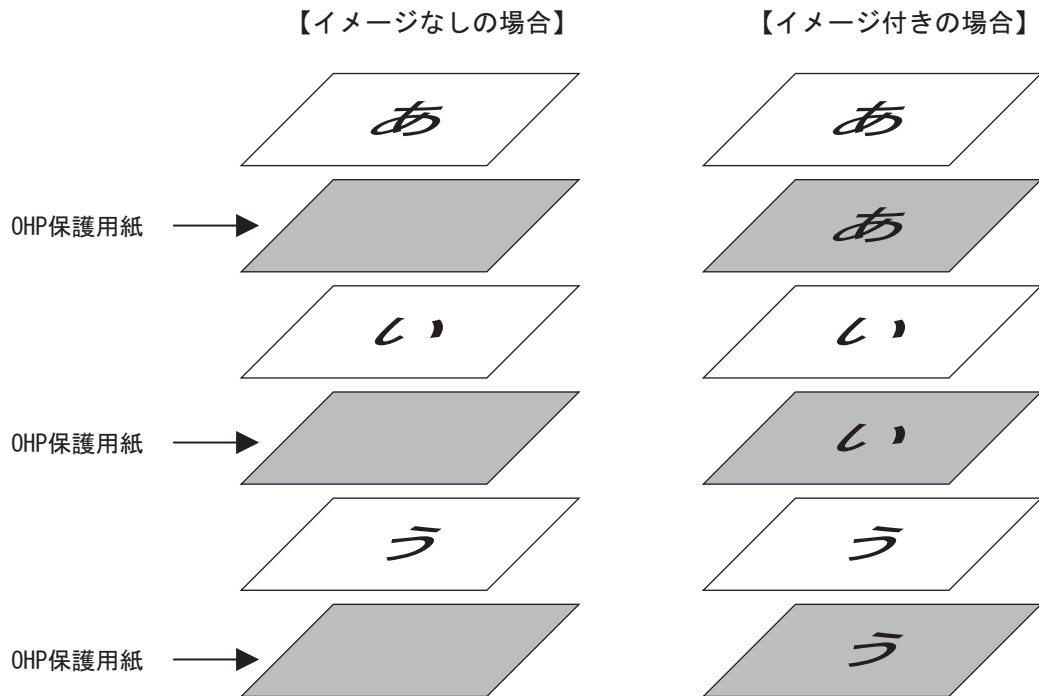
ポイント [フロントカバー] [バックカバー] は1部ごとに挿入され、まとめてステープルされます。



注意 [ドキュメント] ダイアログの [丁合い] が選択されていることをご確認ください。[ドキュメント] ダイアログ以外の画面に表示される [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。

4.11.2 OHP 保護用紙トレイ

OHP シートに印刷するとき、OHP シートと OHP シートの間に保護用紙を挿入することができます。



1 [ドキュメント] ダイアログを開きます。

3 [セパレータ] ダイアログを開きます。

2 [用紙タイプ] を [OHP シート] にして [MBT] から給紙します。

4 [OHP 保護用紙トレイ] を選択して、保護用紙の給紙先を指定します。

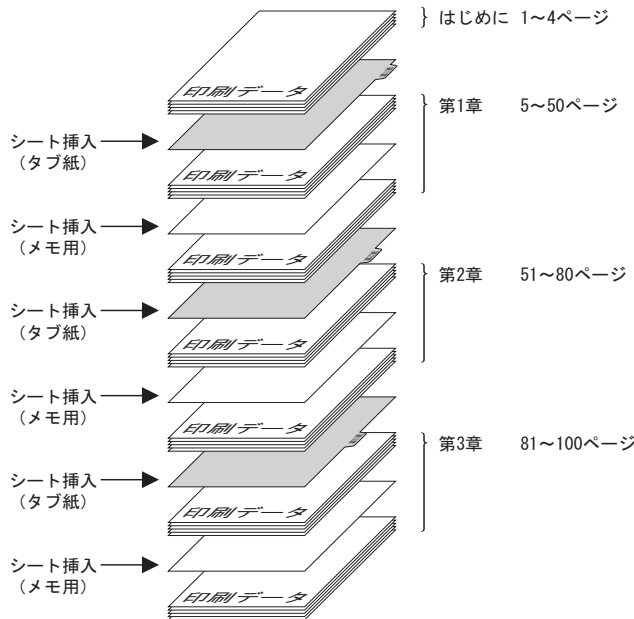


参考 [イメージ付き] を選択すると、直前に印刷した OHP シートの印刷イメージを保護用紙にも印刷することができます。

! [OHP 保護用紙トレイ] は、シートとシートの間に用紙を挿入する機能ですので、OHP シートの印刷以外にも利用することができます。この場合は [ドキュメント] ダイアログの [用紙タイプ] を [OHP シート] 以外に設定します。

4.11.3 シート挿入

下図はアプリケーションソフトから100ページの文書を印刷する場合の例です。4ページと5ページの間、50ページと51ページの間、80ページと81ページの間タブインデックス紙を挿入し、30ページと31ページの間、70ページと71ページの間、90ページと91ページの間メモ用の白紙を挿入します。

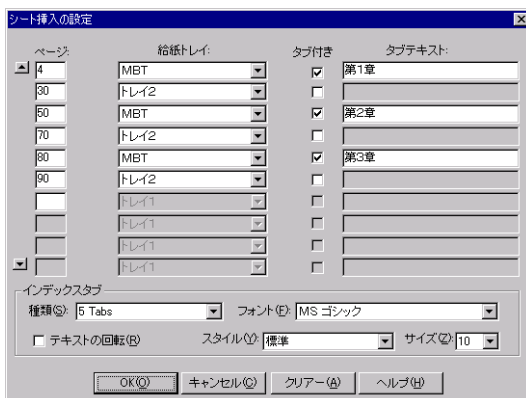


上図のように任意のページに間紙やタブインデックス紙を挿入するには、次のように [シート挿入] ダイアログを設定します。

- 1 [セパレータ] ダイアログを開きます。
[シート挿入] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。



- 2 下図のように設定します。



ポイント シート挿入の設定をするには、まず [ページ] に数字を入力してから [Tab] キーを押します。

ポイント シートが挿入されるのは設定された [ページ] の直後です。[ページ] が [3] と [4] に設定されている場合は、3 ページ目と 4 ページ目の間、4 ページ目と 5 ページ目の間、それぞれにシートが挿入されます。両面印刷する場合は [3] の指定は無視され、4 ページ目と 5 ページ目の間のみシートが挿入されます。

参考 [シート挿入] 機能はページ記述言語が [PostScript] のときに利用できます。また、シート挿入の設定は最大 100 グループまで可能です。

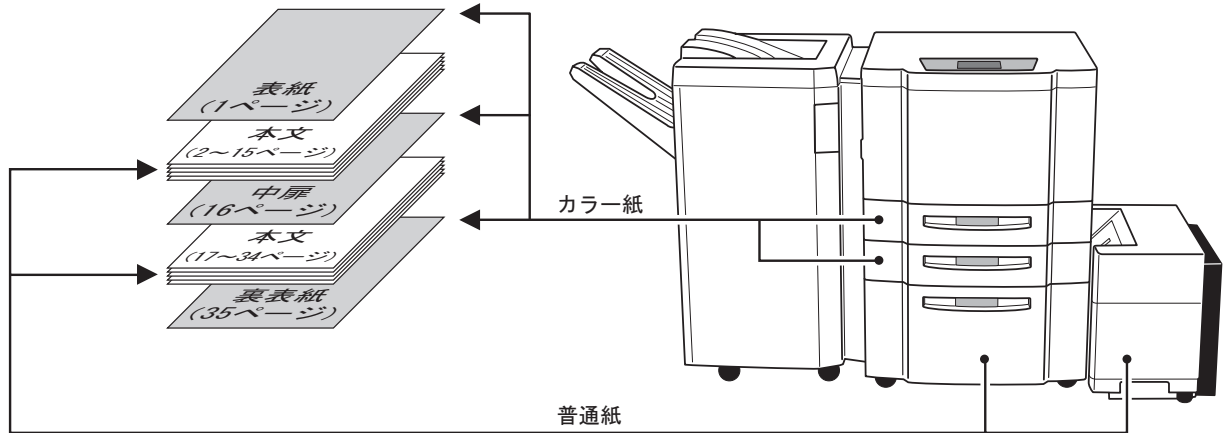
参考 [テキストの回転] を選択すると、タブインデックスに印刷する文字列を反時計周りに 90 度回転します。

参考 [シート挿入の設定] で使用可能なタブインデックス紙は、5 タブの A4 タブ紙のみです。

注意 タブインデックス部分に印刷可能なテキストの長さは、指定するフォント、サイズによって変わりますので、あらかじめ試し印刷をしてからご使用ください。また、給紙トレイにタブ紙を設定する方法については、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

4.12 混在トレイの活用

下図はアプリケーションソフトから35ページの文書を印刷する場合の例です。1ページ、16ページ、35ページをカラー紙で片面印刷し、それ以外のページを普通紙で両面印刷します。



上図のように任意のページをカラー紙と普通紙で給紙トレイを切替えて印刷を切替えるには、次のように「[ドキュメント] ダイアログの「混在トレイ」を設定します。

- 1 「[ドキュメント] ダイアログを開き、[両面印刷]（[長辺を綴じる]）を選択します。



- 2 「混在トレイ」ボタンをクリックします。

- 3 「[トレイ選択方法]」の「用紙タイプ」を選択し、下図のように設定します。



ポイント 「[トレイ選択方法]」で「用紙タイプ」を選択したときは、プリンタの操作パネルで設定した用紙タイプと一致した用紙がトレイから給紙されます。例えば印刷する文書の表紙・中扉のページにカラー紙を用いた印刷を行う場合、トレイ1とHCFに普通紙をセットしておき、トレイ2とトレイ3にカラー紙をセットしてお

ば、印刷する文書の本文はトレイ1とHCFの2つのトレイグループから、表紙・中扉はトレイ2とトレイ3のトレイグループから給紙させることができます。



「混在トレイ」の設定をする場合は、プリンタ本体の設定を確認してください。

◎「[トレイ選択方法]」で「用紙タイプ」を選択する場合は、(1)「プリンタの操作パネル」で次の設定を行ってください。

[プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙タイプ] で、用紙タイプを設定する。

(2) 給紙トレイにセットする用紙は、同じ用紙サイズ・用紙方向・用紙重量でセットしてください。[用紙重量]は、プリンタの操作パネルから [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙重量] で設定できます。

◎「[トレイ選択方法]」で「給紙トレイ」を選択する場合は、(1)「プリンタの操作パネル」で次の設定を行ってください。

[プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

(2) 給紙トレイにセットする用紙は、同じ用紙サイズ・用紙方向・用紙タイプ・用紙重量でセットしてください。

[用紙タイプ]は、プリンタの操作パネルから [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙タイプ] で設定できます。

[用紙重量]は、プリンタの操作パネルから [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙重量] で設定できます。

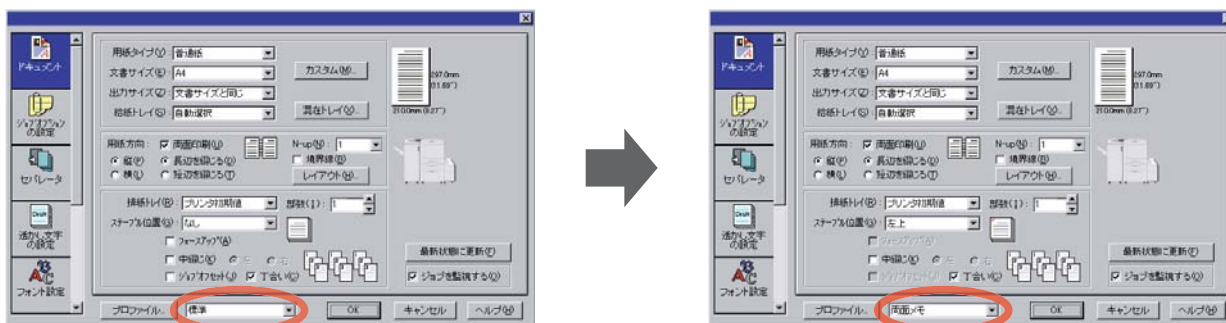
プリンタの操作パネルの使用方法については、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

4.13 プロファイルの活用

用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷などのプリンタドライバの各種設定情報をライブラリとして登録しておき、瞬時に呼び出してプリンタドライバの設定内容を切り換えるための機能がプロファイルです。このプロファイル機能を活用すると、面倒な操作を行わずに効率よく印刷設定することができますようになります。

4.13.1 プロファイルによる設定内容の切り換え

プロファイルとして登録されているライブラリは、[プロファイル] ボタンの右にリストアップされます。例えば [標準] を選択すると、プリンタドライバの初期設定値となります。また、[両面メモ] を選択すると、A4 サイズの文書を両面印刷して左上にステープルするように、プリンタドライバの設定が変更されます。



プロファイルの登録方法や削除方法については、以下の説明をご覧ください。

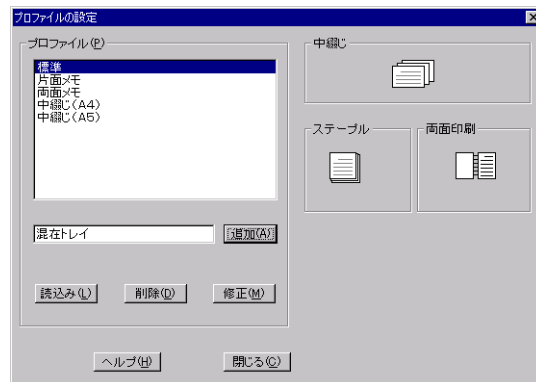
4.13.2 プロファイルの登録

ここでは混在トレイの設定をプロファイルとして登録する場合の例を示します。

1 プロファイルとして保存するプリンタドライバの設定を行います。混在トレイの設定をするには、[ドキュメント] ダイアログの [混在トレイ] ボタンをクリックします。



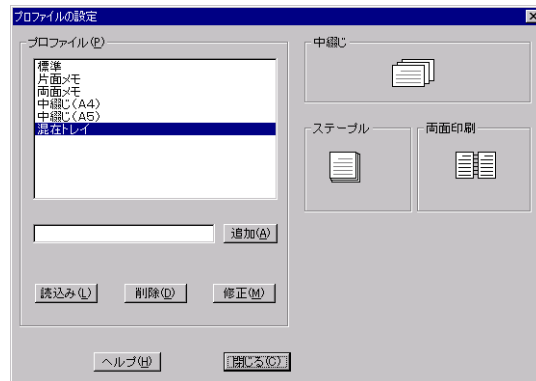
3 プロファイル名を入力して、[追加] ボタンをクリックします。



2 [プロファイル] ボタンをクリックします。



4 [プロファイル] リストに追加されたことを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。



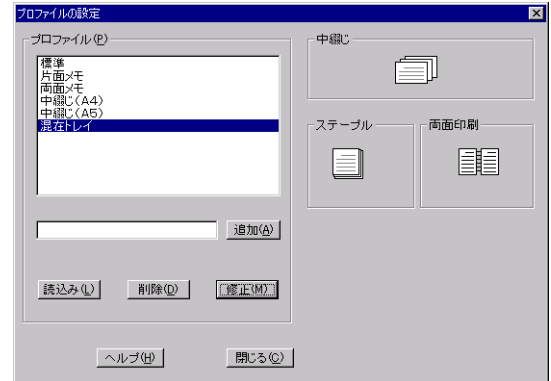
4.13.3 プロファイル登録内容の変更

ここでは既にプロファイルとして登録されている設定内容を変更する手順を示します。

1 変更を行うプロファイルを選択します。



3 登録内容を変更するプロファイル名を [プロファイル] リストから選択します。



2 プリンタドライバの設定を変更して、[プロファイル] ボタンをクリックします。



4 [修正] ボタンをクリックします。これにより変更したプリンタドライバの設定内容が保存されます。

参考 [修正] ボタンを選択できない場合は、[プロファイル] リストで他のプロファイル名を選択してから再度登録内容を変更するプロファイル名を選択します。

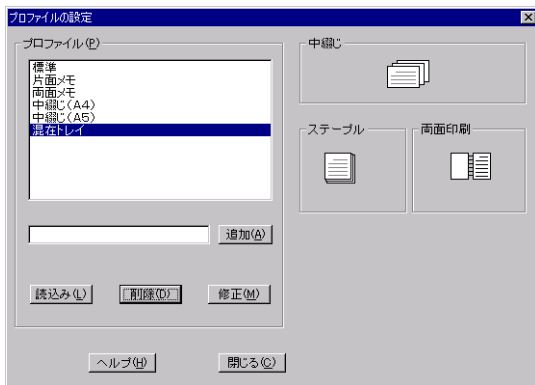
5 [閉じる] ボタンをクリックします。

4.13.4 プロファイルの削除

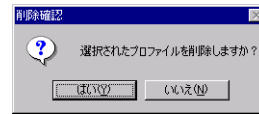
1 [プロファイル] ボタンをクリックします。



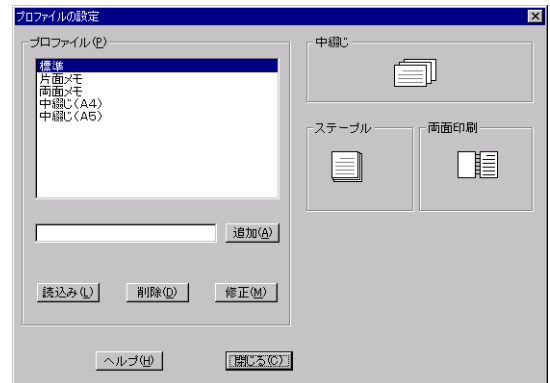
2 [プロファイル] リストから削除するプロファイル名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。



3 [はい] ボタンをクリックします。

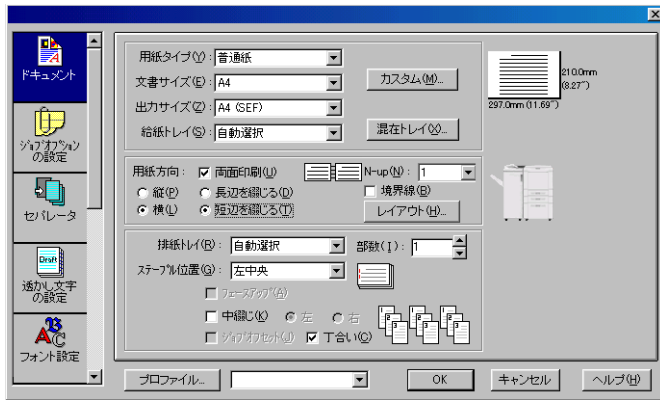


4 [閉じる] ボタンをクリックします。



4.14 ステープル位置について

製品オプションの「スタンダードフィニッシャー」を装着している場合は、ステープル機能を利用することができます。[ステープル位置]の指定は、アプリケーションソフトの文書設定、プリンタドライバの設定、用紙送り方向 (LEF/SEF) の組み合わせにより下表のようになります。



印刷の向き [横] の [A4] サイズ文書を、ステープル位置 [左中央] で [A4(SEF)] 用紙に印刷する場合の設定例です。

ステープル位置 \ 用紙送り方向	縦		横	
	Long Edge Feed (LEF)	Short Edge Feed (SEF)	Long Edge Feed (LEF)	Short Edge Feed (SEF)
左上				
右上				
左中央		※斜線部はステープルすることができない組み合わせを示します。		
右中央		※斜線部はステープルすることができない組み合わせを示します。		
上中央	※斜線部はステープルすることができない組み合わせを示します。			

※斜線部はステープルすることができない組み合わせを示します。

ポイント アプリケーションソフト上の文書設定である [印刷の向き] と、[ドキュメント] ダイアログの [用紙方向] は同一方向となるように指定してください。

ポイント 給紙トレイに用紙をセットする場合、用紙の向き (用紙送り方向) に着目すると次の2つの種類に分けられます。

- 用紙の長い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (LEF : Long Edge Feed)
- 用紙の短い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (SEF : Short Edge Feed)

A4 と Letter は LEF/SEF どちらの向きにでもトレイにセットできますが、その他の用紙サイズについては LEF または SEF のどちらか一方の向きに限定されます。

参考 各給紙トレイにセットされている用紙サイズと LEF/SEF の状況については、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [プリンタ] を選択して確認することができます。



プリンタドライバの [N-up] 指定が [2] [6] [8] の場合は、[ステープル位置] の指定は下表のようになります。
 なお [N-up] が指定できるのは、[高度な設定] ダイアログの [ページ記述言語] が [PostScript] の場合です。

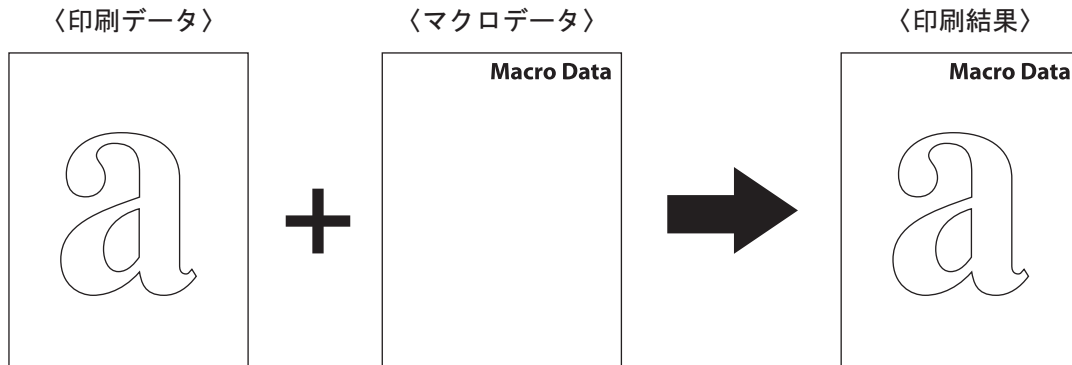
用紙方向 用紙送り 方向 ステープル位置	縦		横	
	Long Edge Feed (LEF)	Short Edge Feed (SEF)	Long Edge Feed (LEF)	Short Edge Feed (SEF)
左上				
右上				
左中央	/			/
右中央	/			/
上中央		/	/	

※斜線部はステープルすることができない組み合わせを示します。

4.15 PCL マクロによる重ね合わせ印刷

4.15.1 PCL マクロの概要

PCL マクロ機能を利用すると、アプリケーションソフトから印刷するときに、あらかじめ作成しておいたマクロデータを、印刷データに重ね合わせて印刷することができます。



! PCL マクロ機能は、ページ記述言語が [PCL5e] のときに利用できます。
ポイント

! 印刷データにマクロデータを上書きしますので、印刷データとマクロデータが重なる部分はマクロデータの方が上になります。「5.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ ⑥バックグラウンド」をご覧ください。
ポイント

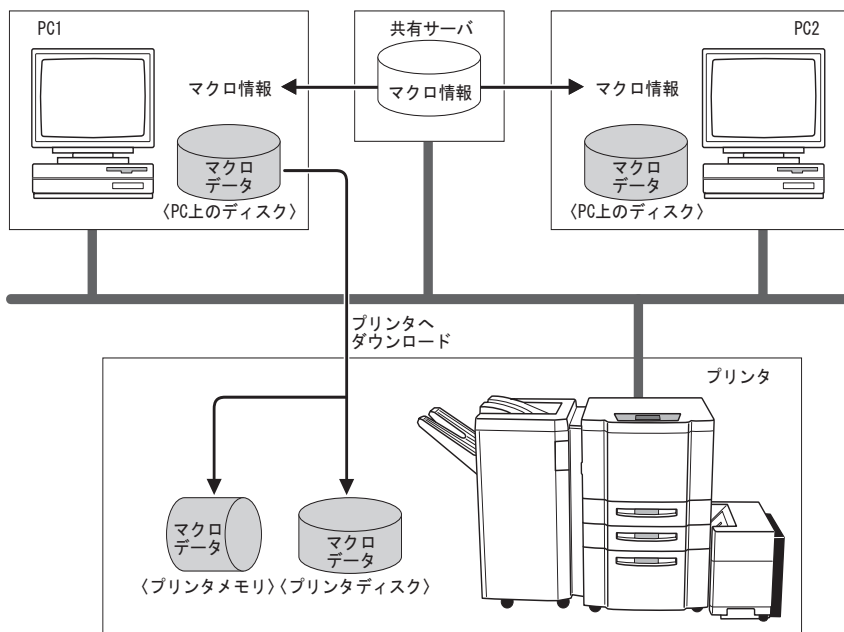
PCL マクロによる重ね合わせ印刷を行うには次の手順が必要です。

- ①マクロデータの作成
- ②マクロデータの登録
- ③マクロデータを指定した重ね合わせ印刷

詳しくは以下の説明をご覧ください。

4.15.2 マクロデータについて

マクロデータを使用するためには、まずマクロデータを作成し、次にコンピュータ（PC）やプリンタに登録する必要があります。マクロデータの登録場所には、[PC上のディスク] [プリンタメモリ] [プリンタディスク] の3種類があります。



マクロデータの登録場所によっては印刷スピードに影響を与えます。次のような特徴や注意点を考慮してご使用ください。

① PC上のディスク

PC上のマクロデータは、アプリケーションソフトから印刷するたびに印刷データと共にプリンタヘダウンロードされます。したがって、印刷データ以外にマクロデータをダウンロードする時間も常にかかります。

! 一度マクロデータをPC上のディスクに登録すれば、印刷スピードを上げるためにプリンタメモリヘダウンロードポイントしてから使用することもできます。

② プリンタメモリ

プリンタメモリ上のマクロデータは、他の登録場所と比較して印刷スピードが最も速くなりますが、プリンタの電源が切られた場合はプリンタメモリから消失してしまいます。このためその都度プリンタメモリにダウンロードする必要があります。

! プリンタメモリにも物理的な制限があるため、プリンタメモリにダウンロードしたマクロデータが印刷できない場合があります。このような場合は、PC上のディスクまたはプリンタディスクに登録したマクロデータをご使用ください。

! マクロデータをプリンタメモリヘダウンロードした後、PostScript データを印刷すると、プリンタメモリ上のマクロデータはプリンタメモリから消失してしまいます。

③ プリンタディスク

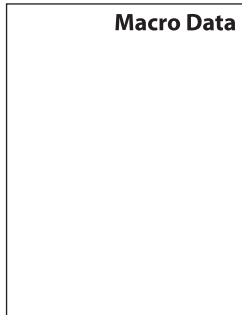
プリンタディスク上にマクロデータを登録すると、アプリケーションソフトから印刷するたびにマクロデータをプリンタヘダウンロードする必要がなくなります。ただし、プリンタディスクからプリンタメモリヘマクロデータを転送する時間は必要です。

! PC上に登録されたマクロデータは、そのPCユーザしか使用できませんが、プリンタディスク上のマクロデータは、共有サーバ上の [マクロ構成ファイル] にアクセス可能なすべてのネットワークユーザが使用できます。[マクロ構成ファイル] は、プリンタディスクヘダウンロードされたマクロデータの情報を格納しておくもので、管理者が共有サーバ上にあらかじめこのファイルを作成しておく必要があります。この [マクロ構成ファイル] により、ネットワークユーザがプリンタディスク上のマクロデータを利用したり、新たなマクロデータをプリンタディスクに登録できるようになります。

4.15.3 マクロデータの作成

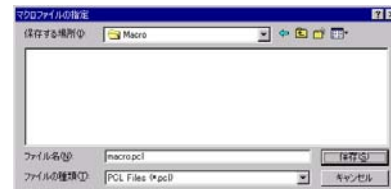
ここではアプリケーションソフトとプリンタドライバを使用して、マクロデータを作成する手順を説明します。

- 1** アプリケーションソフトでマクロデータ用の文書を作成します。



- 3** アプリケーションソフトから印刷を実行します。

- 4** マクロデータのファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。



- 2** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[出力先] で [PCL マクロ] を選択します。

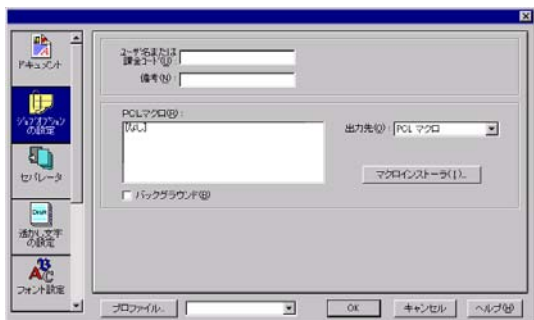


- !** **ポイント** [PCL マクロ] リストでは何も選択されていないか、[なし] が選択されていることを確認します。もし [なし] 以外のマクロデータが選択されていると、作成するマクロデータに [PCL マクロ] リストで選択されているマクロデータが重ね合わされてしまいます。

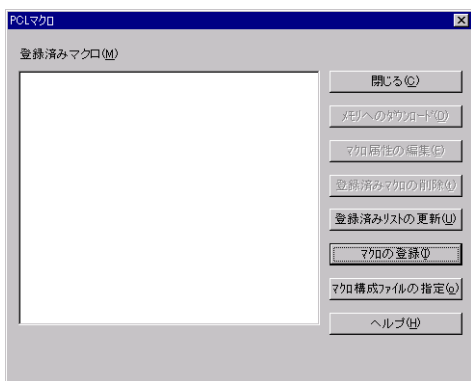
4.15.4 マクロデータの登録 (PC上のディスク)

ここではプリンタドライバを使用して、あらかじめ作成しておいたマクロデータを [PC上のディスク] に登録する場合の手順を説明します。

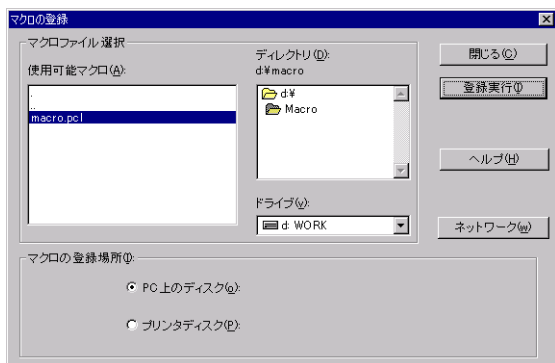
1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。



2 [マクロの登録] ボタンをクリックします。

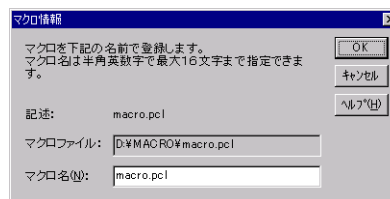


3 [マクロの登録場所] で [PC上のディスク] を選択します。



4 [マクロファイル選択] から、あらかじめ作成しておいたマクロデータを選択し、[登録実行] ボタンをクリックします。

5 [マクロ名] を入力して [OK] ボタンをクリックすると、マクロデータが [PC上のディスク] に登録されます。



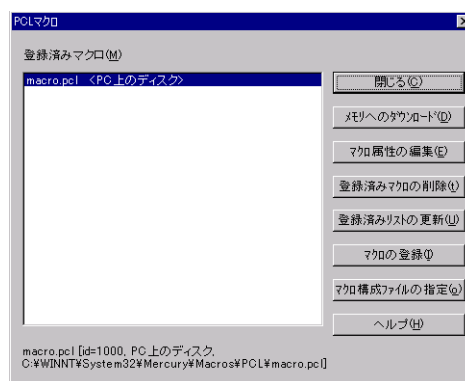
参考 [マクロファイル] には、マクロデータが保存されている場所がディレクトリ付きで表示されます。

6 [OK] ボタンをクリックします。



7 [マクロの登録] ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。

8 [登録済みマクロ] リストにマクロデータが登録されていることを確認します。



参考 [登録済みマクロ] リストには“マクロデータ名 <マクロデータの登録場所>”という書式で表示されます。また、ダイアログ下部には [登録済みマクロ] リストで選択されているマクロデータの詳細情報が表示されます。左から順に、マクロデータ名、マクロ ID、マクロデータの登録場所、マクロデータのオリジナルファイルの保存場所となります。

4.15.5 マクロデータの登録（プリンタメモリ）

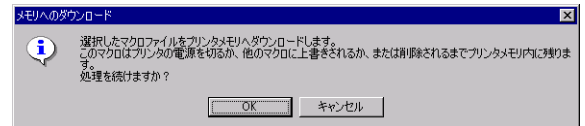
ここではプリンタドライバを使用して、[PC 上のディスク] に登録したマクロデータをさらに [プリンタメモリ] へダウンロードする場合の手順を説明します。

! マクロデータを [プリンタメモリ] へ登録するためには、あらかじめ [PC 上のディスク] にマクロデータを登録しておく必要があります。

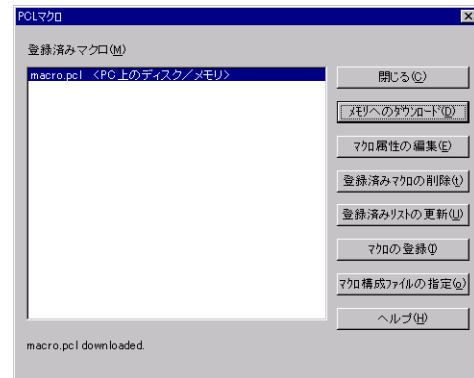
1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。



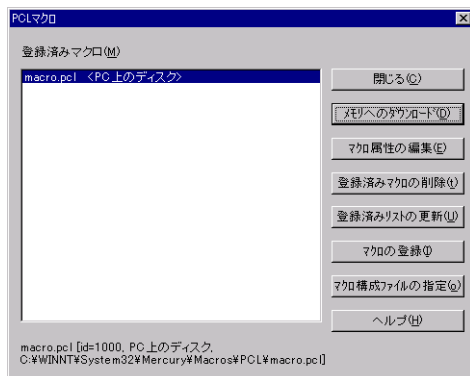
3 [OK] ボタンをクリックします。



4 マクロデータが [プリンタメモリ] へダウンロードされ、画面左下にダウンロード終了のメッセージが表示されます。



2 [プリンタメモリ] へダウンロードするマクロデータを [登録済みマクロ] リストから選択して、[メモリへのダウンロード] ボタンをクリックします。



参考 [登録済みマクロ] リストの <マクロデータの登録場所> の表示が、[PC 上のディスク] から [PC 上のディスク/メモリ] に変わります。

! [プリンタメモリ] にダウンロードされた個々のマクロデータを識別するには、プリンタおよびプリンタドライバでは [マクロ ID] と呼ばれる値が使用されます。このマクロ ID はマクロデータの登録時にプリンタドライバによって自動的に割り当てられます。同一のコンピュータから複数のマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードする場合は特に問題ありませんが、異なるコンピュータからマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードする場合は、マクロ ID の重複による問題が発生することがあります。もしマクロ ID が重複したマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードすると、すでに [プリンタメモリ] にダウンロードされていたマクロデータは上書きされてしまいます。このようなマクロ ID の重複による問題を回避するためには、各コンピュータごとに使用可能なマクロ ID の範囲を割り当ててご使用ください。マクロ ID の設定を変更する場合は [4.15.8 マクロデータの属性編集](#) をご覧ください。

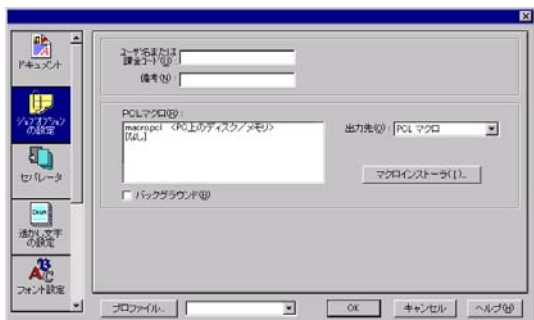
! プリンタメモリの物理的制限により、マクロデータによってはプリンタメモリへダウンロードした場合、プリンタの電源を切らなくてもプリンタメモリ内のマクロデータが消失してしまう場合があります。このような場合はマクロデータを再度プリンタメモリへダウンロードするか、PC 上のディスクまたはプリンタディスクを指定してください。

! マクロデータをプリンタメモリへダウンロードした後、PostScript データを印刷すると、プリンタメモリ上のマクロデータはプリンタメモリから消失してしまいます。

4.15.6 マクロデータの登録（プリンタディスク）

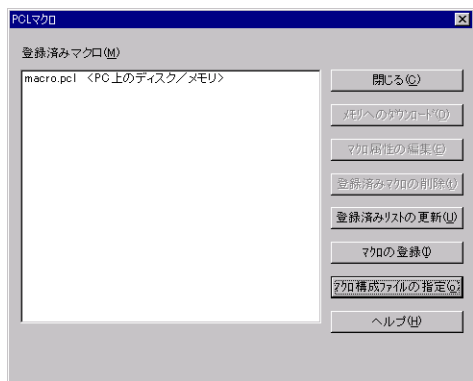
ここではプリンタドライバを使用して、あらかじめ作成しておいたマクロデータを [プリンタディスク] へ登録する場合の手順を説明します。

1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。



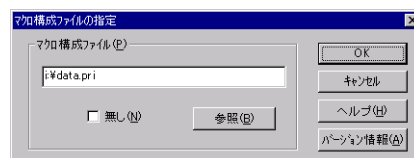
! [プリンタディスク] にマクロデータを登録するには管理者権限が必要です。

2 マクロデータを [プリンタディスク] に登録するには、まず [マクロ構成ファイル] を指定する必要があります。すでに [マクロ構成ファイル] が指定されている場合は **4** に進みます。[マクロ構成ファイル] の指定をはじめて行う場合は [マクロ構成ファイルの指定] ボタンをクリックします。



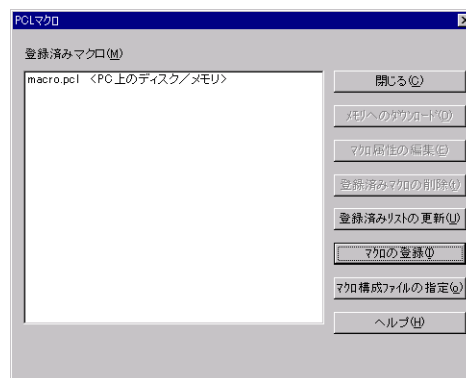
! [マクロ構成ファイル] は、プリンタディスクへダウンロードされたマクロデータの情報格納しておくもので、管理者が共有サーバ上にあらかじめこのファイルを作成しておく必要があります。この [マクロ構成ファイル] により、ネットワークユーザがプリンタディスク上のマクロデータを利用したり、新たなマクロデータをプリンタディスクに登録できるようになります。

3 [無し] のチェックを外して共有サーバ上の [マクロ構成ファイル] を指定し、[OK] ボタンをクリックします。

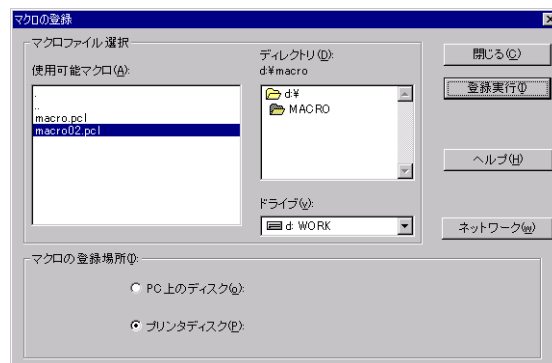


! [マクロ構成ファイル] が共有サーバ上に作成されていない場合は、[参照] ボタンをクリックして [マクロ構成ファイルの選択] ダイアログを開きます。共有サーバ上のフォルダへ移動し、ファイル名を入力して [マクロ構成ファイル] を作成します。

4 [マクロの登録] ボタンをクリックします。

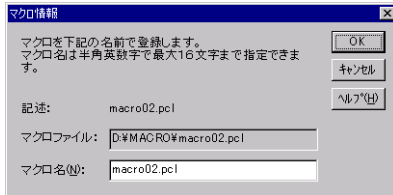


5 [マクロの登録場所] で [プリンタディスク] を選択します。



6 [マクロファイル選択] から、あらかじめ作成しておいたマクロデータを選択して、[登録実行] ボタンをクリックします。

7 [マクロ名] を入力して [OK] ボタンをクリックすると、マクロデータが [プリンタディスク] に登録されます。



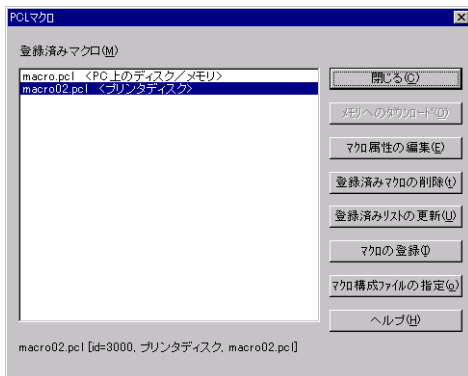
参考 [マクロファイル] には、マクロデータが保存されている場所がディレクトリ付きで表示されます。

8 [OK] ボタンをクリックします。



9 [マクロの登録] ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。

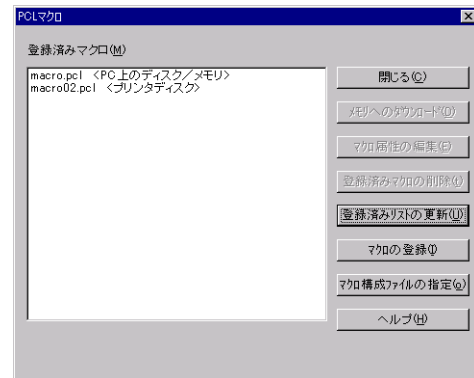
10 [登録済みマクロ] リストにマクロデータが登録されていることを確認します。



参考 [登録済みマクロ] リストには“マクロデータ名 <マクロデータの登録場所>”という書式で表示されます。また、ダイアログ下部には [登録済みマクロ] リストで選択されているマクロデータの詳細情報が表示されます。左から順に、マクロデータ名、マクロ ID、マクロデータの登録場所、マクロデータのファイル名となります。

ポイント **3** で指定した [マクロ構成ファイル] は、ネットワーク環境で他のコンピュータと共有する「マクロデータに関する情報ファイル」です。他のコンピュータから [プリンタディスク] にマクロデータが登録されると、[マクロ構成ファイル] の内容はその都度更新されます。このため他のコンピュータから [プリンタディスク] に登録されたマクロデータのリストは、この [マクロ構成ファイル] から取得することができます。

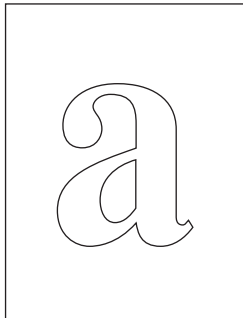
[登録済みリストの更新] ボタンをクリックすると、共有サーバ上の [マクロ構成ファイル] の内容に基づいて [登録済みマクロ] リストを更新することができます。



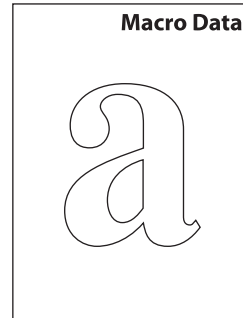
4.15.7 マクロデータを指定した重ね合わせ印刷

ここではアプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して、マクロデータを重ね合わせて印刷する手順を説明します。

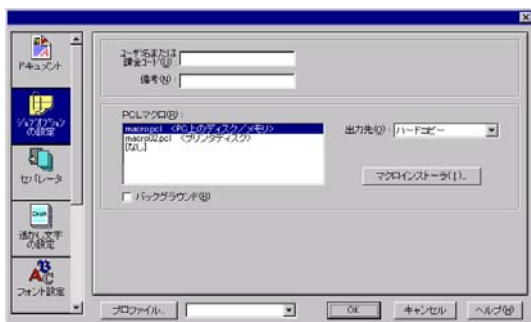
1 アプリケーションソフト上で印刷データ用の文書を作成します。



5 アプリケーションソフトから印刷を実行します。



2 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開きます。



3 [PCL マクロ] リストから、印刷データに重ね合わせるマクロデータを指定します。

4 [出力先] で [ハードコピー] を選択します。

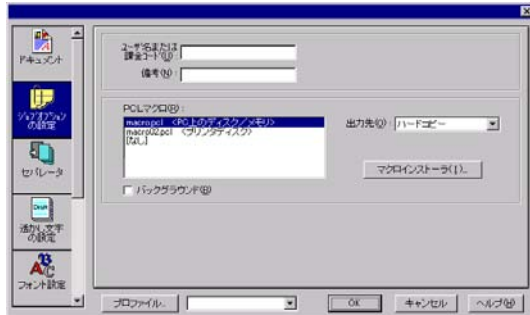
! 次の例のように、マクロデータを作成したときのプリンタドライバの設定と、マクロデータを印刷データに重ね合わせて印刷するときのプリンタドライバの設定が異なると、意図した印刷結果が得られません。

- ① [ドキュメント] ダイアログの文書サイズまたは出力サイズが異なる場合
 - 良い例：印刷データ [A3]、マクロデータ [A3]
 - 悪い例：印刷データ [A3]、マクロデータ [A4]
- ② [ドキュメント] ダイアログのステープル位置の指定が異なる場合
 - 良い例：印刷データ [右上]、マクロデータ [右上]
 - 悪い例：印刷データ [右上]、マクロデータ [左上]
- ③ [イメージ] ダイアログの印刷可能領域（マージン）が異なる場合
 - 良い例：印刷データ [余白なし]、マクロデータ [余白なし]
 - 悪い例：印刷データ [余白あり]、マクロデータ [余白なし]

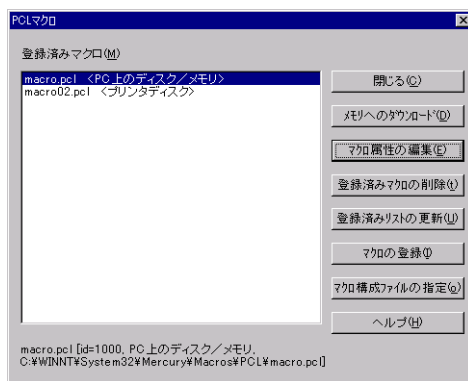
4.15.8 マクロデータの属性編集

ここではプリンタドライバを使用して、登録済みのマクロデータの属性を編集する手順を説明します。

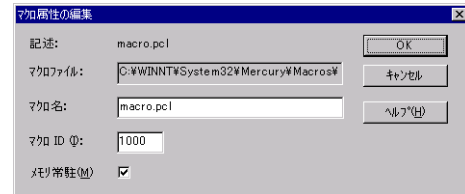
- 1** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストール] ボタンをクリックします。



- 2** [登録済みマクロ] リストから属性を編集するマクロデータを選択して、[マクロ属性の編集] ボタンをクリックします。



- 3** 下図ダイアログでマクロデータの属性を編集します。



[マクロ名]

マクロデータの登録時に指定した [マクロ名] が表示されます。他の名称に変更する場合は、半角英数字で最大 16 文字まで指定することが可能です。

[マクロ ID]

マクロデータの登録時に自動的に割り当てられた [マクロ ID] が表示されます。[マクロ ID] はマクロデータをプリンタメモリにダウンロードした場合に、個々のマクロデータを識別するために使用されます。

! [マクロ ID] の指定可能範囲は 0 ~ 32767 です。ただし、プリンタドライバが自動的に割り当てる [マクロ ID] の範囲は 1000 ~ 1999 です。

! マクロ ID の重複したマクロデータが [プリンタメモリ] にダウンロードされると、すでに [プリンタメモリ] にダウンロードされていたマクロデータは上書きされてしまいます。

[メモリ常駐]

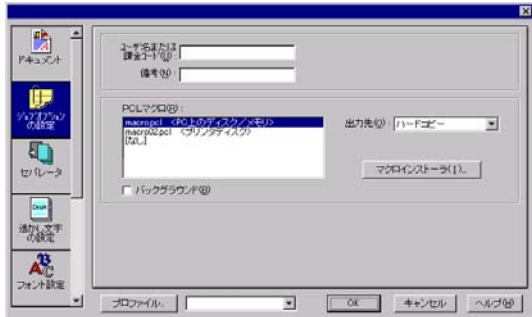
マクロデータをプリンタメモリにダウンロードした場合に [メモリ常駐] は選択可能になります。[メモリ常駐] が選択されていると、マクロデータがプリンタメモリにダウンロードされていることを意味します。

! プリンタの電源が切られるなどしてプリンタメモリ内のマクロデータが消失した場合は、[メモリ常駐] のチェックを外します。

4.15.9 マクロデータの削除

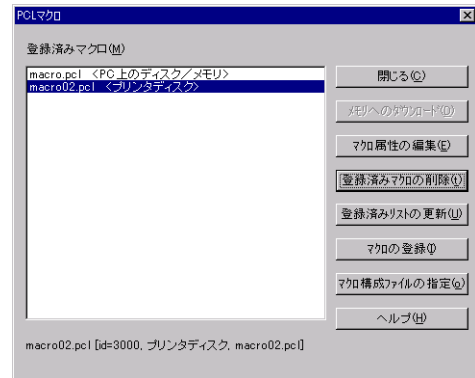
ここではプリンタドライバを使用して、登録済みのマクロデータを削除する手順を説明します。

- 1** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。

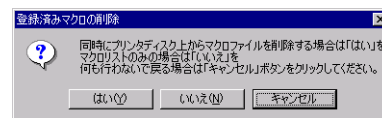


- ポイント** [プリンタディスク] 上のマクロデータを削除するには管理者権限が必要です。

- 2** [登録済みマクロ] リストから削除するマクロデータを選択して、[登録済みマクロの削除] ボタンをクリックします。



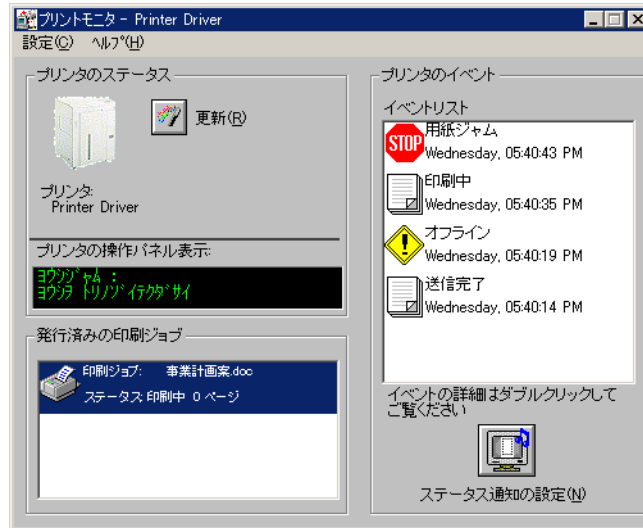
- 3** ダイアログの表示内容にしたがってボタンをクリックします。



4.16 プリントモニタについて

4.16.1 プリントモニタの概要

プリンタ状態監視機能（以下、プリントモニタ）を使用すると、プリンタドライバから印刷を行うコンピュータ上で、離れた場所に設置されたプリンタの状態を確認することができますようになります。



プリントモニタの画面では、次のようなプリンタの状態監視を行います。

印刷ジョブの監視	アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷した場合、プリンタからコンピュータに印刷ジョブの処理状況がリアルタイムに通知されます。
プリンタ障害の監視	プリンタがオフライン状態になったり、用紙切れや用紙ジャムなどの障害が発生すると、プリンタからコンピュータにリアルタイムに通知されます。
プリンタ操作パネルの表示	プリンタの操作パネルの表示内容を取得します。

ポイント プリントモニタとプリンタとの相互通信には、ネットワーク管理の標準プロトコルである SNMP (Simple Network Management Protocol) を使用しています。このためご使用のコンピュータで“TCP/IP プロトコル”と“IP アドレス”の設定、および SNMP の追加が必要となります。プリントモニタを使用する場合は、あらかじめコンピュータとプリンタとの接続確認およびネットワーク管理プロトコルの追加を行ってください。詳しくは以下の説明箇所をご覧ください。

- ◇ Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合 : [「2.1 プリンタとの接続確認」](#)
[「2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」](#)
- ◇ Windows XP/Server 2003 の場合 : [「3.1 プリンタとの接続確認」](#)
[「3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」](#)

ポイント Windows XP (Service Pack 2 以降) あるいは「ファイアウォール」機能をご利用の場合は、[「4.16.6 ファイアウォールの設定について」](#) をご覧ください。

4.16.2 プリントモニタの起動

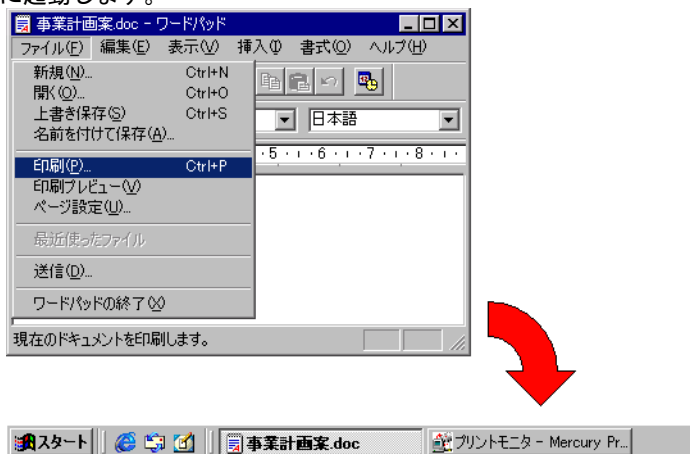
プリントモニタの使用目的としては次のような場合が考えられます。

- ①アプリケーションソフトからの印刷を監視する
- ②現在のプリンタの状態を確認する

このような使用目的ごとにプリントモニタの起動方法を選択することができます。

① アプリケーションソフトからの印刷を監視する

アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷を行います。このときプリントモニタは、タスクバーに格納された状態で自動的に起動します。



ポイント アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷したときに、プリントモニタが自動的に起動するのは、[ドキュメント] ダイアログの [ジョブを監視する] が選択されている場合です。プリントモニタを自動的に起動させないようにするには [ジョブを監視する] のチェックを外します。また、プリンタドライバのインストール途中でプリンタ状態監視機能を「無効」にすると、[ジョブを監視する] のチェックボックスは表示されません。

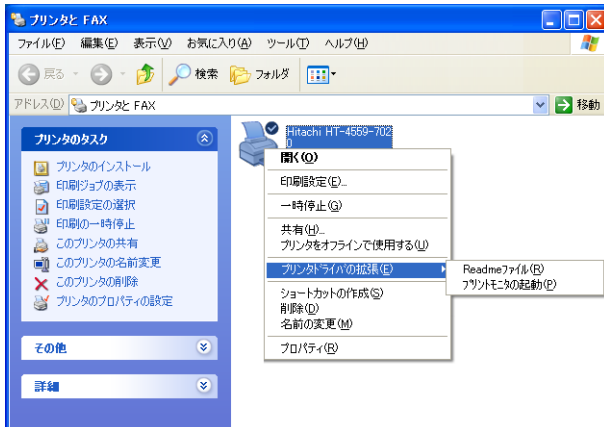
参考 プリントモニタが自動的に終了するのは、タスクバー上のプリントモニタが一度も最大化表示されないで印刷も正常に終了した場合です。印刷途中でプリンタ障害が通知されたり、一度でもプリントモニタを最大化表示した場合は、プリントモニタはプリンタ監視状態を継続します。

② 現在のプリンタの状態を確認する

次の手順でプリントモニタを起動します。

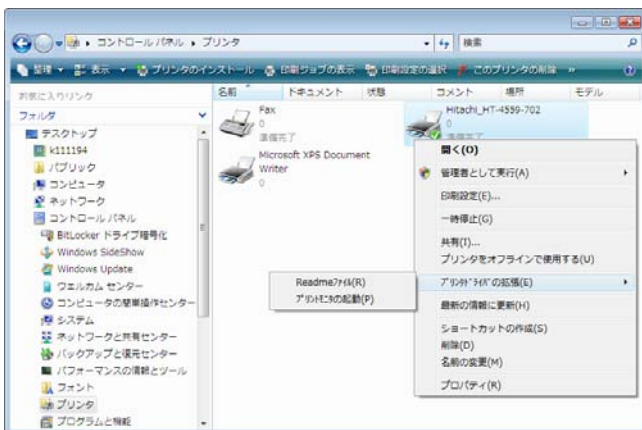
【Windows XP/Server 2003 の場合】

[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタと FAX] を開きます。
[プリンタと FAX] にて、監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します



【Windows Vista/Server 2008 の場合】

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] アイコンをダブルクリックして [プリンタ] フォルダを開きます。監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します。



【Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合】

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[デバイスとプリンター] アイコンをダブルクリックして [デバイスとプリンター] フォルダを開きます。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します。



参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

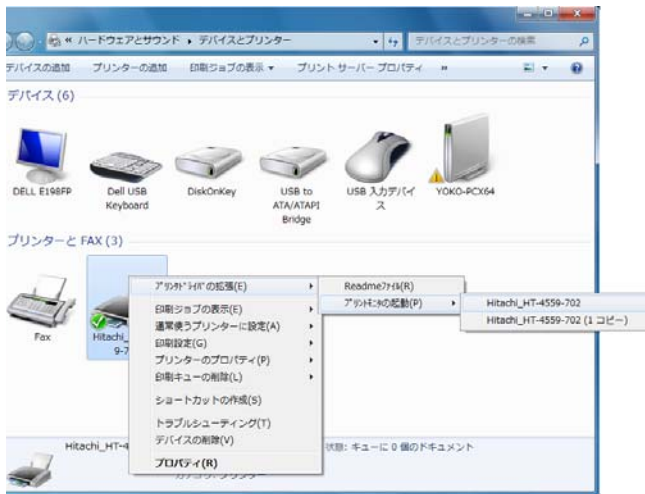
- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 - (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 - (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。
- 以降は上記と同様の手順でプリントモニタを起動します。

参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。コントロールパネルを開きます。

以降は上記と同様の手順でプリントモニタを起動します。



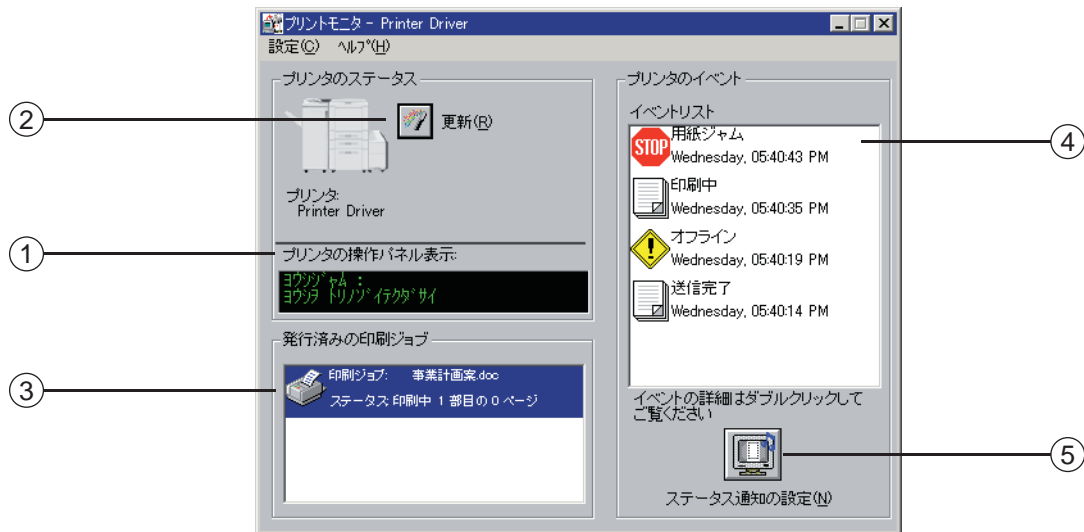
同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ]を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。



プリントモニタを上記手順で起動した場合は自動的に終了しません。プリンタ監視状態を継続します。

4.16.3 プリントモニタの画面

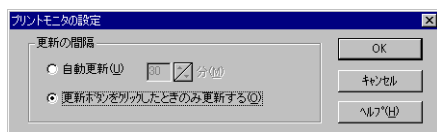
プリントモニタの画面について説明します。



- ① プリンタの操作パネル表示
プリンタ本体の操作パネルに表示されているメッセージ内容を表示します。

- ② 更新
ボタンをクリックすると、プリンタから操作パネルの表示情報を取得して① [プリンタの操作パネル表示] を更新します。

ポイント プリンタ操作パネルの表示内容を定期的に更新するには、[プリントモニタの設定] ダイアログで [自動更新] する時間間隔を設定します。メニューから [設定] → [プリントモニタの設定] を選択すると [プリントモニタの設定] ダイアログが開きます。



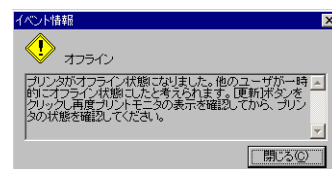
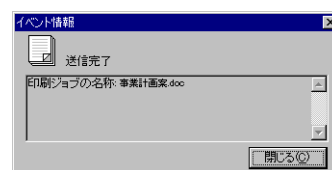
- ③ 発行済みの印刷ジョブ
アプリケーションソフトから印刷を行うと、その印刷ジョブがリストに追加されます。印刷ジョブの処理状況に応じて表示内容が切り替わり、印刷が終了したジョブはリストから消えていきます。

参考 プリンタから [印刷完了] が通知されなかった場合は、リスト上に印刷ジョブが消えずに残ってしまいます。このような場合は、該当する印刷ジョブを選択して [Delete] キーを押してリストから削除してください。

- ④ イベントリスト
印刷ジョブの処理状態や障害情報など、プリンタから通知された情報をリスト表示します。プリンタから通知された情報は新しい順に上から表示します。

参考 印刷ジョブの処理状態については [送信完了] [印刷中] [印刷完了] の通知があります。また、プリンタから通知される情報は重要度ごとに分類されています。詳しくは [ステータス通知の設定] ダイアログの説明をご覧ください。

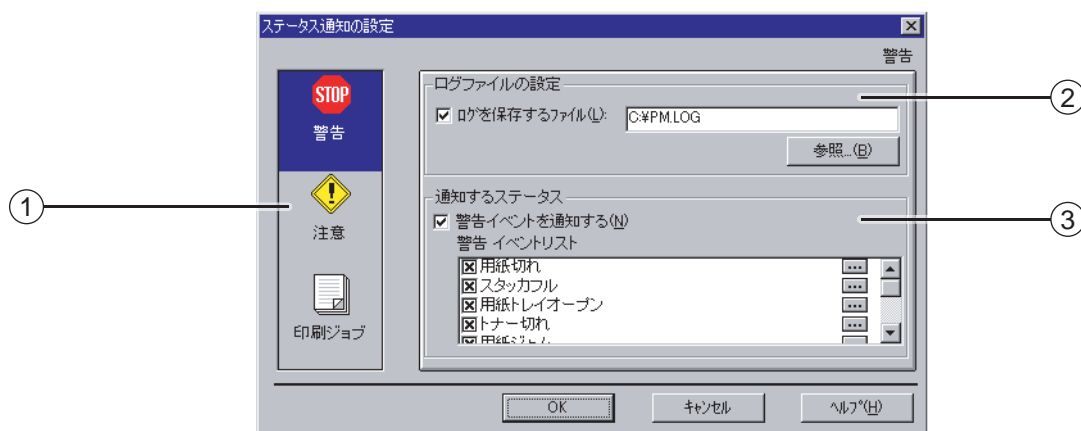
ポイント [イベントリスト] 上のイベント項目をダブルクリックすると、通知内容の詳細を確認することができます。



- ⑤ ステータス通知の設定
ボタンをクリックすると、[ステータス通知の設定] ダイアログを表示します。詳しくは「4.16.4 ステータス通知の設定」をご覧ください。

4.16.4 ステータス通知の設定

プリンタからプリントモニタに通知される個々のイベントについて、コンピュータ上でユーザにどのように通知するかを設定します。このダイアログで適切な通知方法を指定しておく、プリントモニタの画面をタスクバーに最小化しておいても、プリンタでどのようなイベントが発生したかを知ることができます。



参考 [ステータス通知の設定] ダイアログを開くには、プリントモニタの画面で [ステータス通知の設定] ボタンをクリックします。

① 重要度

これらのアイコンリストはステータス通知内容の重要度を表します。各アイコンをクリックすると、ダイアログ右側の [通知するステータス] 欄の表示内容が切り替わります。

[警告]

エラーリカバリが必要なプリンタ障害を意味します。
[用紙切れ] や [用紙ジャム] などが該当します。

[注意]

オフラインやその他のプリンタ障害を意味します。

[印刷ジョブ]

アプリケーションソフトから印刷したときのジョブの処理状態を意味します。

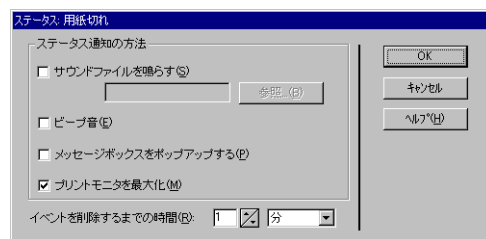
② ログファイルの設定

プリンタから通知されたイベントを保存するファイル名を指定します。[ログを保存するファイル] を選択すると、指定したファイルにプリンタイベントのログが保存されます。

③ 通知するステータス

プリンタからプリントモニタに通知される個々のイベントについて、コンピュータ上での通知方法を設定します。設定を行うには、まず [警告イベントを通知する] を選択します。次に [警告イベントリスト] で設定対象イベント名称の左側にチェックをします。さらにイベント名称の右側に現われる [...] ボタンをクリックします。

ポイント [警告イベントを通知する] のチェックを外すと、すべての警告イベントの通知が無効となります。また、[警告イベントを通知する] を選択した状態で、各イベント名称左側のチェックを外した場合にも通知は行われません。



[ステータス : xxx] ダイアログでは、個々のイベントをどのようにユーザに通知するかを設定します。

[サウンドファイルを鳴らす]

プリンタからステータス通知されたときに、ここで指定した WAVE ファイルを鳴らします。

[ビープ音]

プリンタからステータス通知されたときに、ビープ音を鳴らします。

[メッセージボックスをポップアップする]

プリンタからステータス通知されたときに、メッセージボックスをポップアップ表示します。

[プリントモニタを最大化]

プリンタからステータス通知されたときに、プリントモニタを最大化表示します。これはステータス通知方法の初期設定値です。

[イベントを削除するまでの時間]

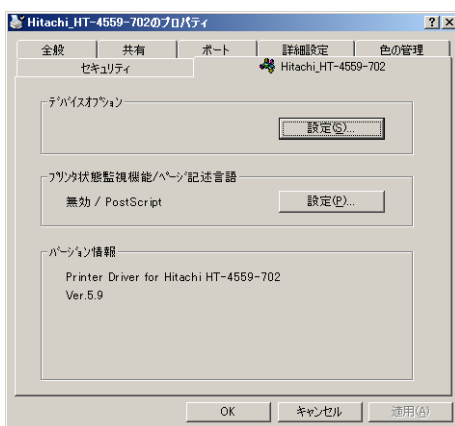
プリンタから通知されたイベント情報を、プリントモニタ画面の [イベントリスト] に表示しておく時間を設定します。

4.16.5 プリントモニタ / ページ記述言語 設定値の変更

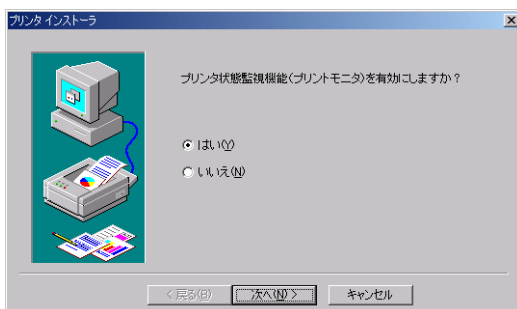
プリンタの [IP アドレス] や [論理プリンタ名] を変更した場合や、プリンタドライバが生成するページ記述言語を変更する場合は、以下の手順でプリンタドライバを再設定します。なお、説明に用いる画面は Windows Server2003 の例で、プリンタドライバの設定はすべて初期値に戻ります。

1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012の場合は第2章、Windows XP/Server 2003の場合は第3章の「プロパティの表示」の手順にしたがって、プロパティを表示します。ただし、Windows Vista/Server2008の場合は [管理者として実行] → [プロパティ] を選択してください。

2 プリンタアイコンと同じ名称のタブを選択して、[プリンタ状態監視機能 / ページ記述言語] → [設定] ボタンをクリックします。



3 プリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を利用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。ここで [いいえ] を選択すると **5** に進みます。



4 プリンタの [IP アドレス] と [論理プリンタ名] を入力して [次へ] ボタンをクリックします。



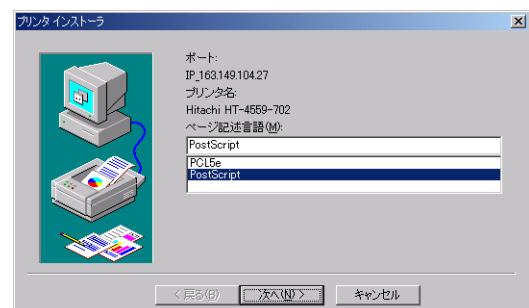
ここで [検出] ボタンをクリックすると、プリンタドライバに設定されたポートを利用してプリンタ本体

と通信を行い、[IP アドレス] と [論理プリンタ名] を自動検出することが可能です。

ポイント IP アドレスと論理プリンタ名を自動検出することができなかった場合は、プリンタの [IP アドレス] と [論理プリンタ名] を直接入力してください。論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript” や “vp-pcl” などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は “postscript” を、ページ記述言語で PCL を使用する場合は “vp-pcl” を [論理プリンタ名] として使用します。“postscript” または “vp-pcl” はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

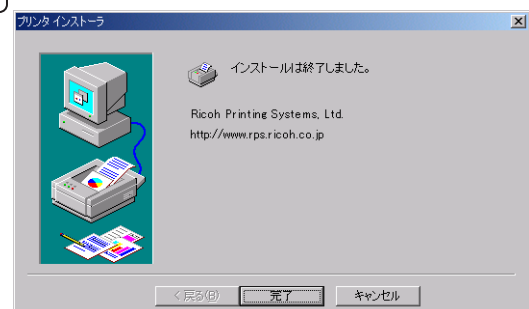
ポイント Windows XP (Service Pack 2 以降) あるいは「ファイアウォール」機能をご利用の場合は、「4.16.6 ファイアウォールの設定について」をご覧ください。

5 プリンタドライバで使用するページ記述言語を [PostScript] と [PCL5e] から選択して [次へ] ボタンをクリックします。



ポイント **3** でプリンタ状態監視機能を有効にした場合は、プリンタ本体に定義されている論理プリンタの設定にしたがって、ページ記述言語が自動的に決定されません。

6 [完了] ボタンをクリックします。



4.16.6 ファイアウォールの設定について

「ファイアウォール」機能が組み込まれているコンピュータでは、プリンタの自動検出や状態監視をするために「ファイアウォール」の設定変更が必要となる場合があります。例えば、Windows XP (Service Pack 2) の初期状態では [Windows ファイアウォール] により次の現象が発生します。

(1) プリンタ状態監視機能の設定画面で [検出] ボタンをクリックしたときにプリンタを自動検出できない。

(2) 印刷ジョブの処理状態やプリンタの障害情報がプリントモニタのイベントリストに表示されない。

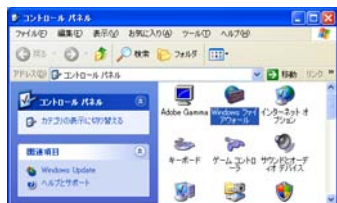
これらの現象を回避するための設定例 (Windows XP Service Pack 2) を以下に示します。

ポイント プリンタの自動検出や状態監視をしない場合は、以下のような「ファイアウォール」の設定変更は必要ありません。

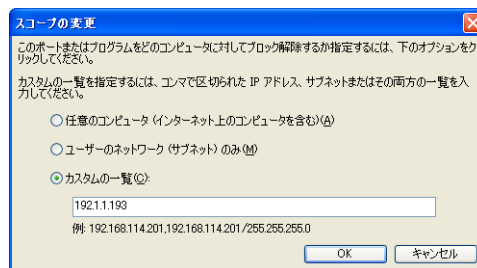
【Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 の場合】

1 [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を開きます。

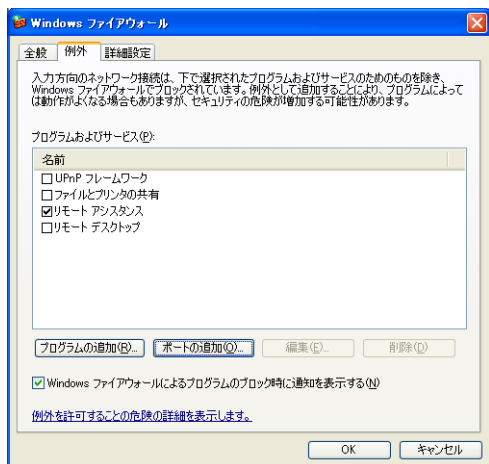
Windows Vista/Server 2008 の場合は [Windows ファイアウォール] ダイアログでさらに [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。



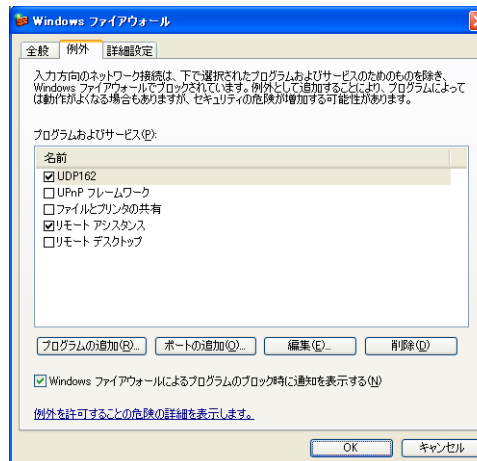
ポイント ご使用のプリンタからの通信のみを許可し、他の機器からの通信をブロックするには、手順 **3** で [スコープの変更] ボタンをクリックします。さらに [カスタムの一覧] をクリックしてプリンタの IP アドレスを追加します。



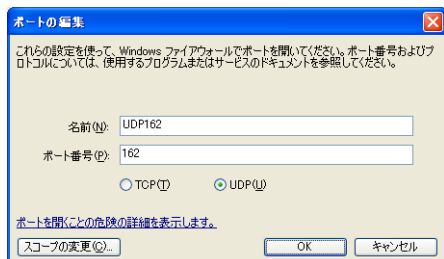
2 [例外] タブを選択して [ポートの追加] ボタンをクリックします。



4 手順 **3** で追加したポート名が [プログラムおよびサービス] 一覧に追加されます。チェックボックスを選択して [OK] ボタンをクリックします。



3 [ポート番号] に [162] を入力して [UDP] をクリックします。さらに、このポートの [名前] を入力して [OK] ボタンをクリックします。



5 Windows Vista/Server 2008 の場合、[プログラムまたはポート] リストに [WinSNMP DLL Support Application Release #xx] が存在する場合は本項目を選択 (ON) してください。最後に [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

【Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合】

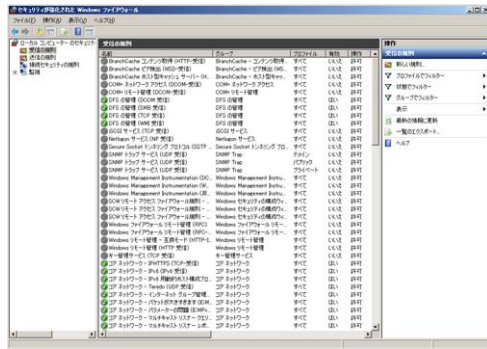
1 [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を開きます。

[Windows ファイアウォール] ダイアログでさらに [詳細設定] をクリックします。



参考 アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] から [小さいアイコン] に変更してください。

2 画面左の [受信の規則] を選択して画面右の [新しい規則] をクリックします。

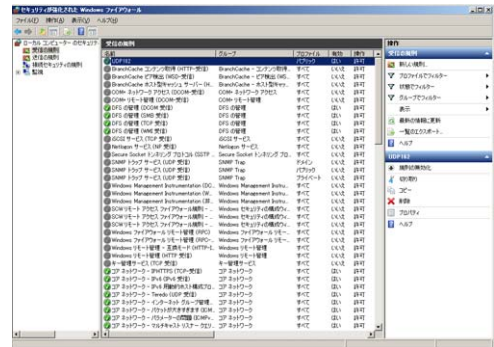


3 ウィザードに従って規則を追加します。



ポイント [規則の種類] では [ポート] を選択して [次へ] をクリックします。[プロトコルおよびポート] ではプロトコルは [UDP]、ポートは [特定のローカルポート] を選択し、ポート番号 [162] を入力して [次へ] をクリックします。[操作] では [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。[プロファイル] では [パブリック] をオンにし、[次へ] をクリックします。[名前] に規則の名前を入力し、[完了] をクリックします。

4 手順 **3** で追加した規則名が [受信の規則] 一覧に追加されます。ダブルクリックして、プロパティを表示します。



5 [スコープ] のタブを選択して [リモート IP アドレス] の [これらの IP アドレス] を選択し、[追加] をクリックします。[この IP アドレスまたはサブネット] にプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



第 5 章

その他のプリンタドライバについて

第5章 その他のプリンタドライバについて

本章では、第2章から第4章までに説明したプリンタドライバ以外の Windows 用プリンタドライバのインストール方法について説明します。



製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前に必ずお読みください。



プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、本章で説明するプリンタドライバは、同じコンピュータ上で当社製プリンタドライバと併用することができます。

5.1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 標準 Post-Script プリンタドライバ

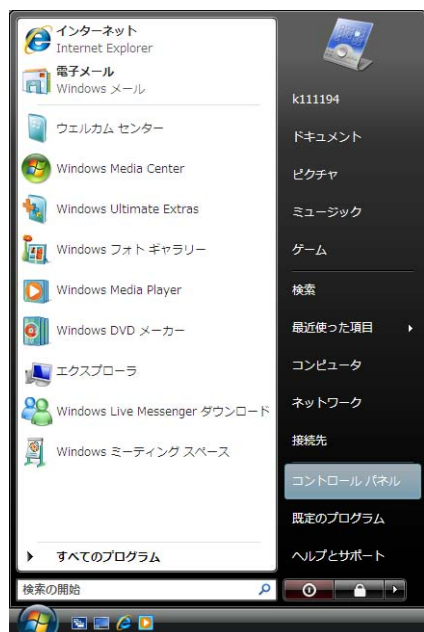
5.1.1 インストール手順

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 標準 PostScript プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

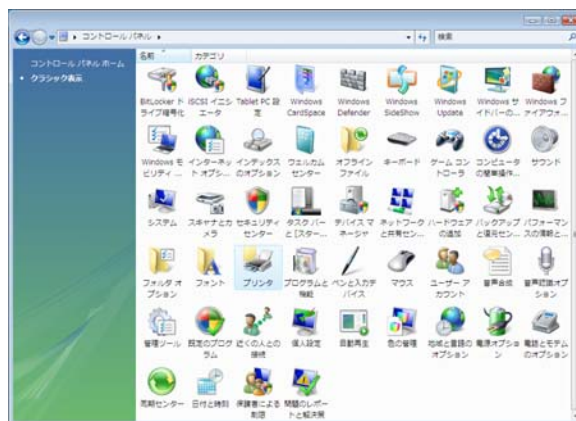


参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。





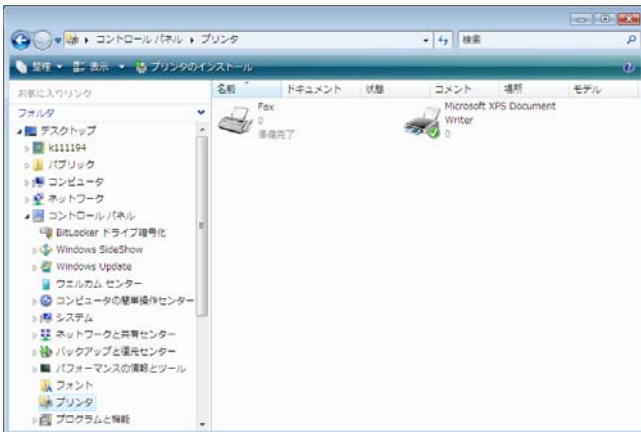
Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター]アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]か[小さいアイコン]に変更してください。



ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します]を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

4 Windows Vista の場合

画面上部の[プリンタのインストール]をクリックします。



Windows Server 2008 の場合

[ファイル] → [管理者として実行] → [プリンタの追加...] を選択します。

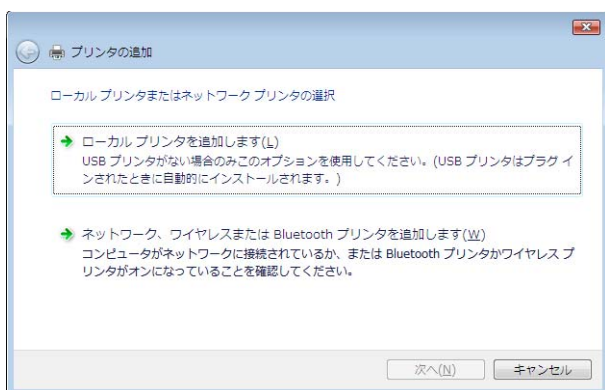
Windows 7/8/Server 2012 の場合

画面上部の[プリンターの追加]を選択します。

Windows Server 2008 R2 の場合

画面上部の[プリンターの追加]をクリックし、[管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する]をクリックします。

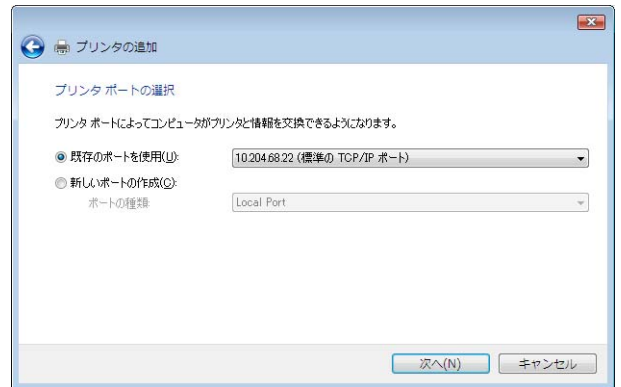
5 [ローカルプリンタを追加します]をクリックします。



プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は[ローカルプリンタを追加します]を選択してください。

6

プリンタとの接続ポートを選択して[次へ] ボタンをクリックします。

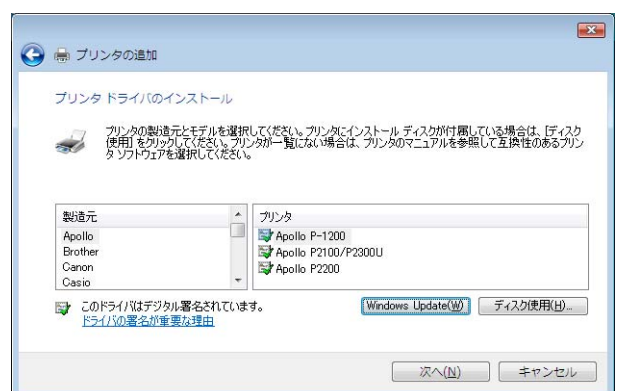


LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「2.3 LPR ポートの追加」を参照してください。また、「2.1 プリンタとの接続確認」や「2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合」も合わせてご覧ください。

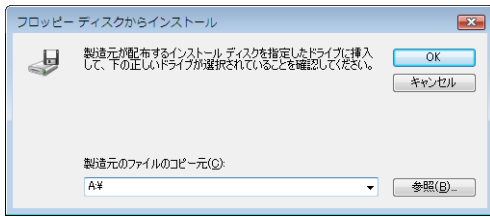
接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。「2.7 印刷するポートの変更」をご覧ください。

7

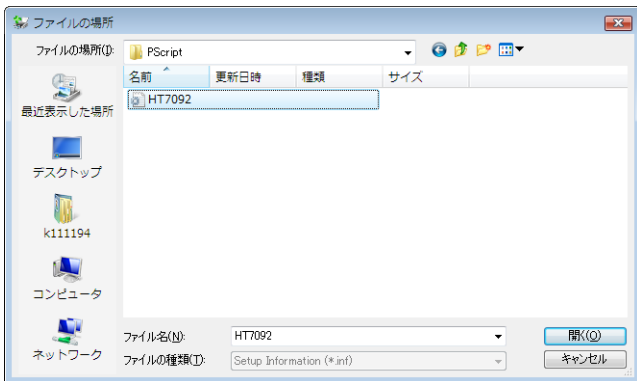
[ディスク使用] ボタンをクリックします。



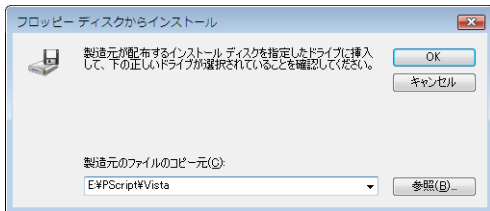
8 [参照] ボタンをクリックします。



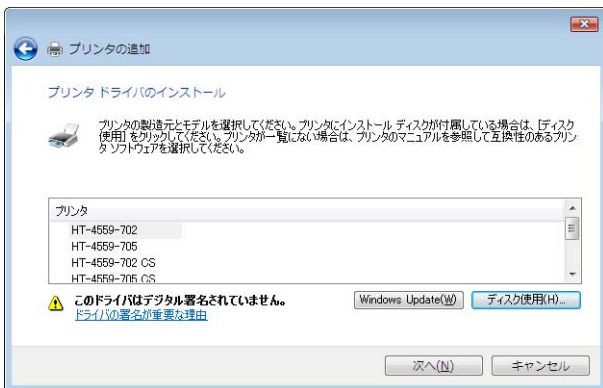
9 CD-ROM ドライブの [PScript] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



10 [OK] ボタンをクリックします。



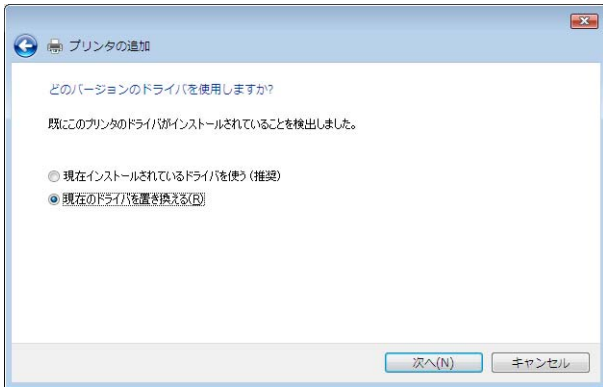
11 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



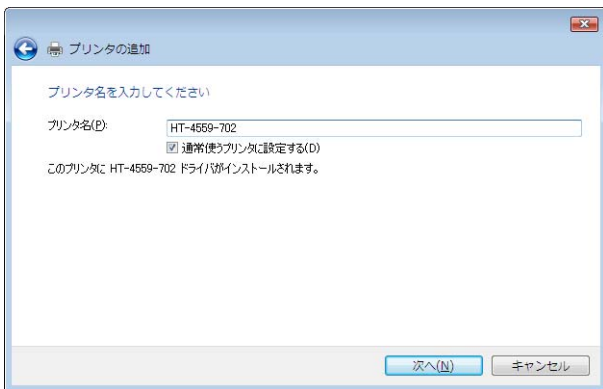
プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
HT-4559-702	2 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705	5 書体	
HT-4559-702 CS	2 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705 CS	5 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-922	2 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925	5 書体	
HT-4559-922 CS	2 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925 CS	5 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-702A	2 書体 +8 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705A	5 書体 +8 書体	
HT-4559-702A CS	2 書体 +8 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705A CS	5 書体 +8 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-922A	2 書体 +8 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925A	5 書体 +8 書体	
HT-4559-922A CS	2 書体 +8 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925A CS	5 書体 +8 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-702B	2 書体 +4 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705B	5 書体 +4 書体	
HT-4559-702B CS	2 書体 +4 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-705B CS	5 書体 +4 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-922B	2 書体 +4 書体	スタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925B	5 書体 +4 書体	
HT-4559-922B CS	2 書体 +4 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー
HT-4559-925B CS	5 書体 +4 書体	コンテナスタック 1 台 コンテナスタック 2 台 コンテナスタック 1 台とスタンダード [®] フィニッシャー

参考 JIS2004 対応または日立書体対応フォントを増設してご使用の場合、下記モデルを選択してください。
 JIS2004 対応フォント使用時
 「2 書体 + 8 書体」または「5 書体 + 8 書体」
 日立書体対応フォント使用時
 「2 書体 + 4 書体」または「5 書体 + 4 書体」

12 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



13 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



注意 プリンタの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される時は、[続行] ボタンをクリックします。

参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、プリンタドライバを通常使用するかどうかを **15** で選択します。

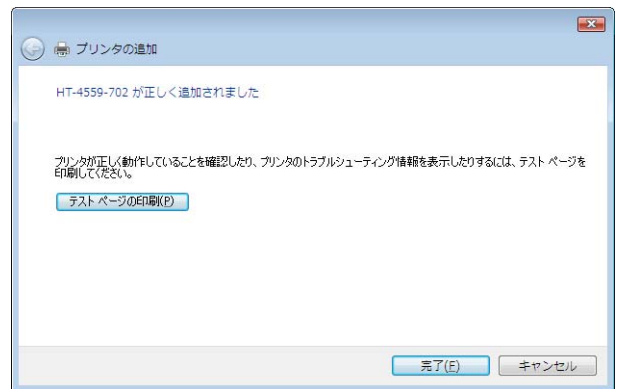
参考 [Windows セキュリティ] ダイアログが表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

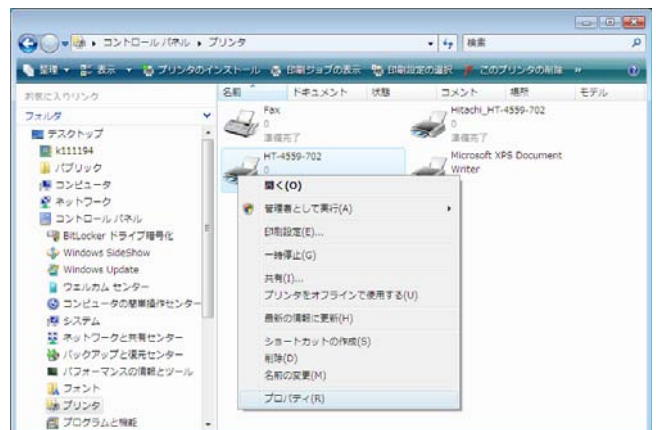


ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。

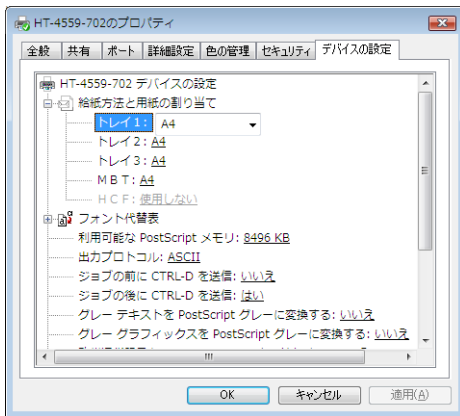
15 プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため [テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



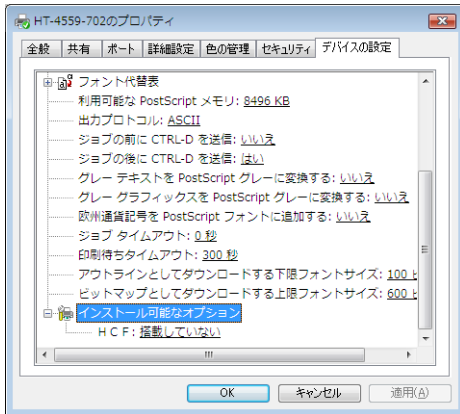
16 次に [デバイスオプション] の設定をします。[プリンタ] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



17 [デバイスの設定] タブを選択します。



18 リストをスクロールさせて、[インストール可能なオプション] を表示します。ここでオプション装置の装着状況を設定します。



注意

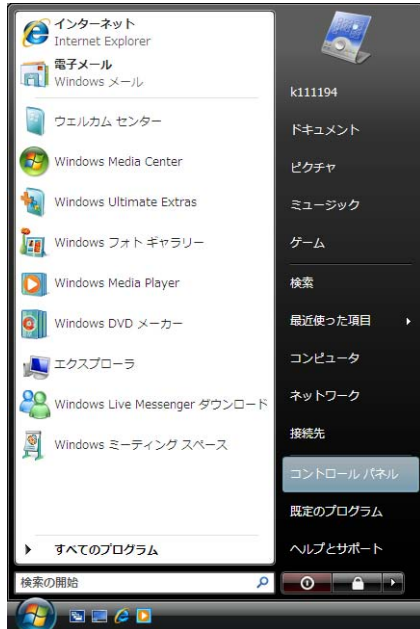
コンピュータとプリンタをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

19 [OK] ボタンをクリックして[プロパティ] を閉じます。

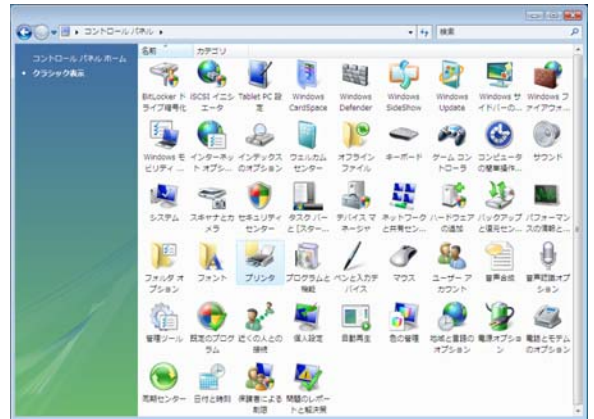
5.1.2 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更するには、次の手順で [印刷設定] を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



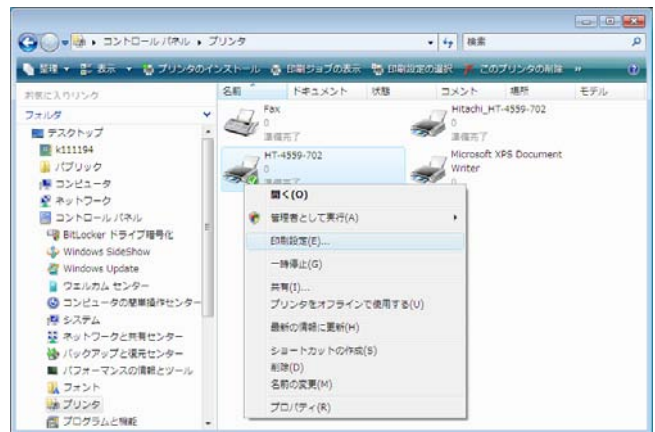
- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

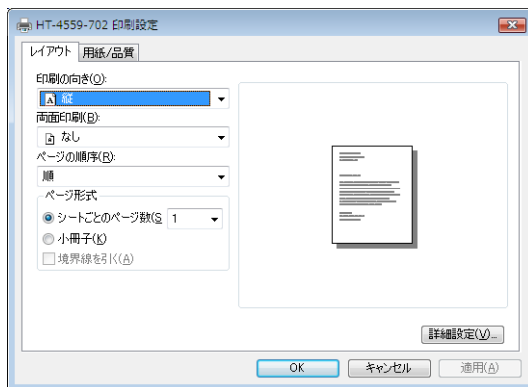
- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。

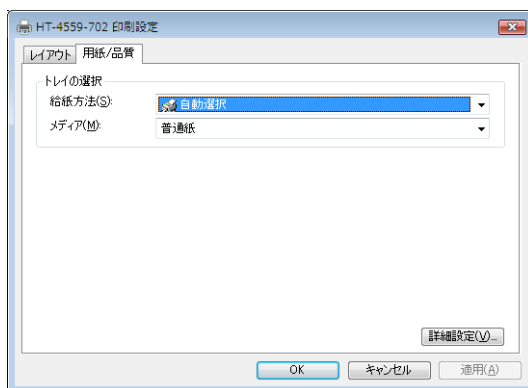


- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[印刷設定] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

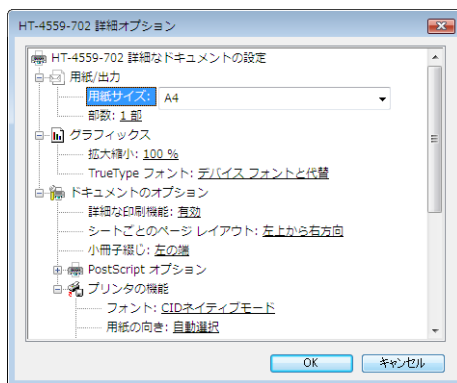
- 4** [レイアウト] [用紙 / 品質] タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



- 5** さらに [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



- 6** 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



! 各項目の詳細については「[5.3 プリンタ固有機能](#)」のポイント説明をご覧ください。

5.1.3 アプリケーションソフトからの印刷

アプリケーションソフトから印刷するときプリンタドライバの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

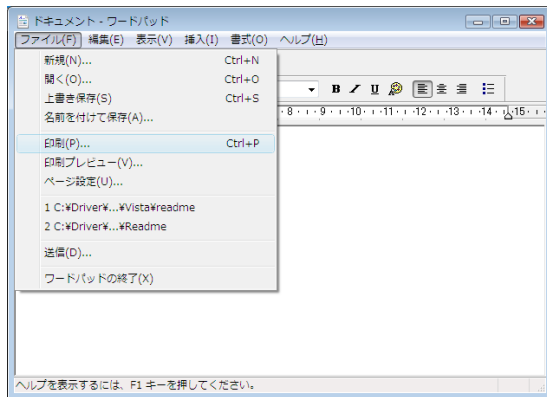


注意

アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

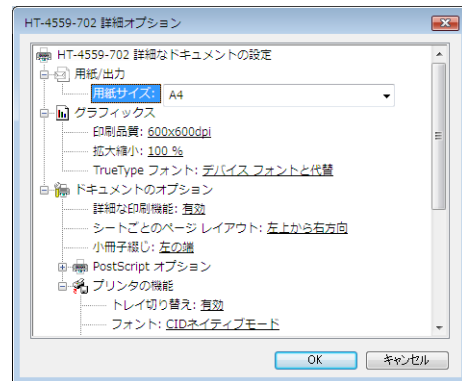
1

アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



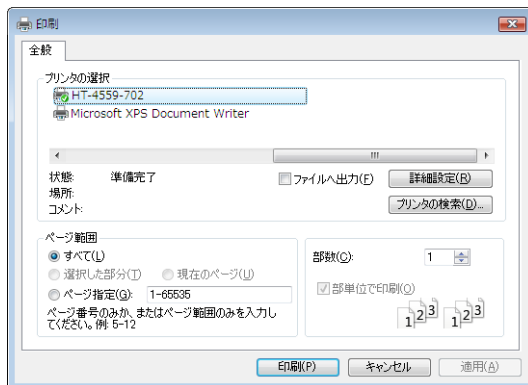
4

プリンタドライバの設定を変更し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



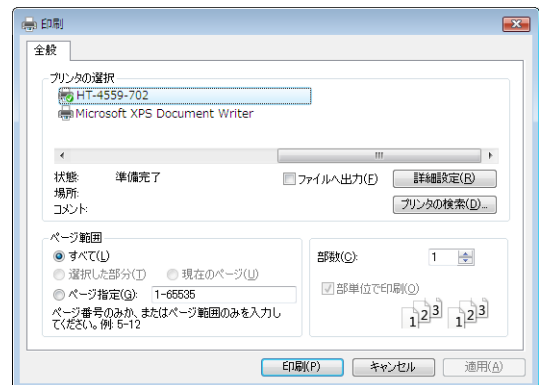
2

[プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



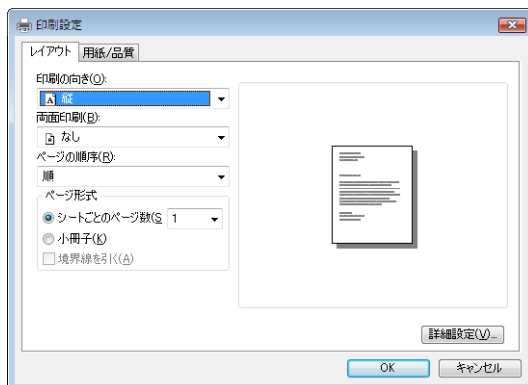
5

[印刷] ボタンをクリックします。



3

[詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



注意

アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステーブルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に働きません。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。



ポイント

各項目の詳細については「5.3 プリンタ固有機能」の説明をご覧ください。

5.2 Windows XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタドライバ

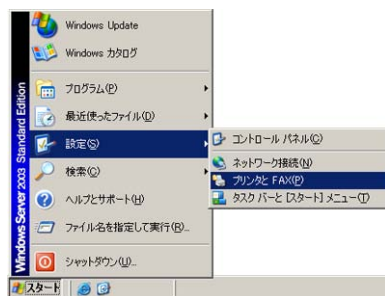
5.2.1 インストール手順

Windows XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



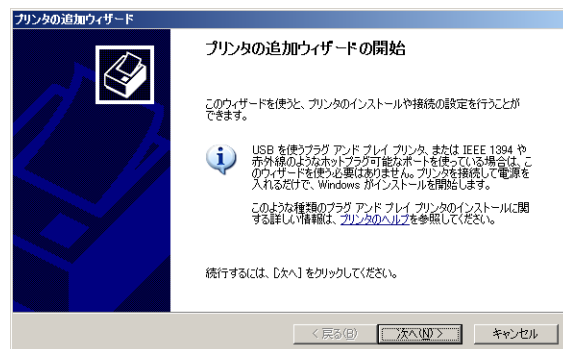
3 Windows Server 2003 の場合 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。



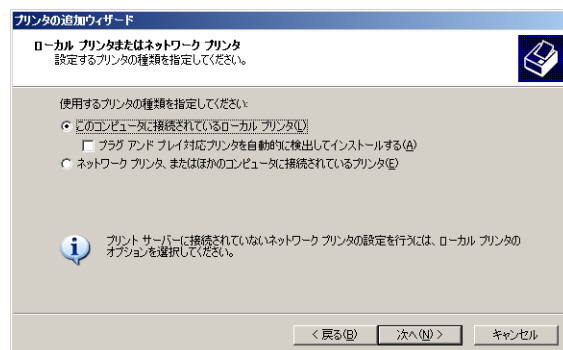
Windows XP の場合

[プリンタのタスク] → [プリンタのインストール] をクリックします。

4 [次へ] ボタンをクリックします。



5 [ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] ボタンをクリックします。

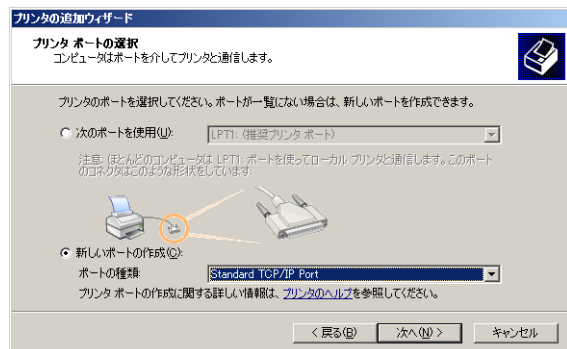


ポイント [ネットワークプリンタ] を選択することもできますが、ここではプリンタをネットワーク接続でご使用になる場合でも [ローカルプリンタ] を選択してください。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用するコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

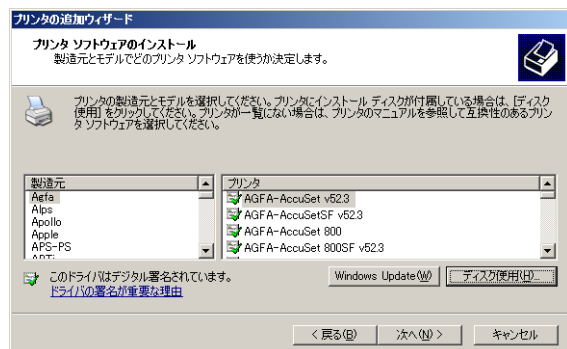
6 プリンタとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

新たに接続ポートを追加する場合は、[新しいポートの作成] とポートの [種類] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

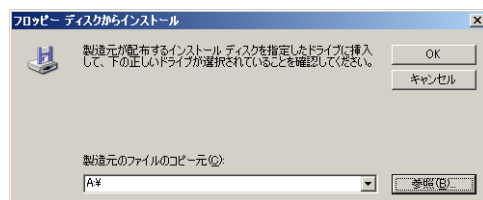


ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「**3.1 プリンタとの接続確認**」や「**3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合**」をご覧ください。また、接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。「**3.6 印刷するポートの変更**」をご覧ください。

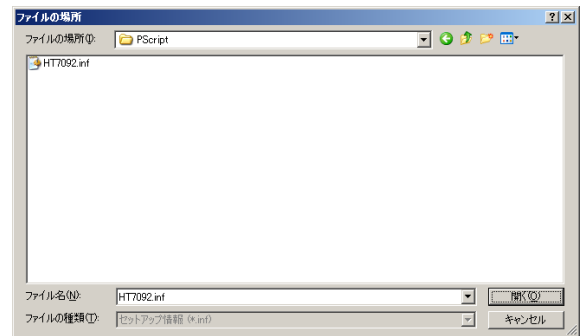
7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



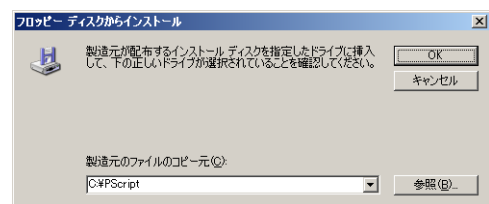
8 [参照] ボタンをクリックします。



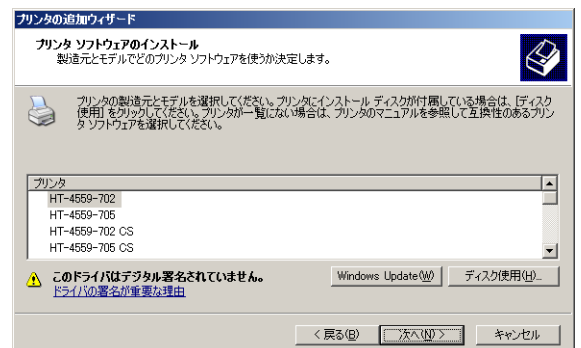
9 CD-ROM ドライブの [PScript] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



10 [OK] ボタンをクリックします。



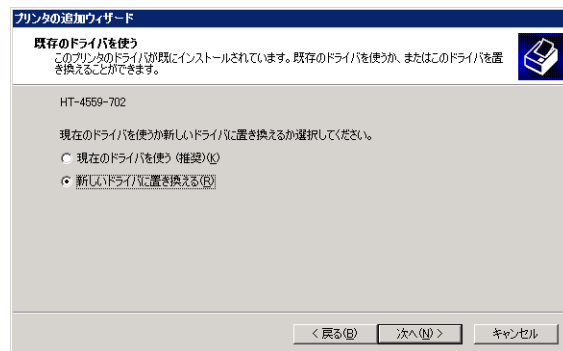
11 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタモデルは、プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションとの組み合わせに注意して選択してください。



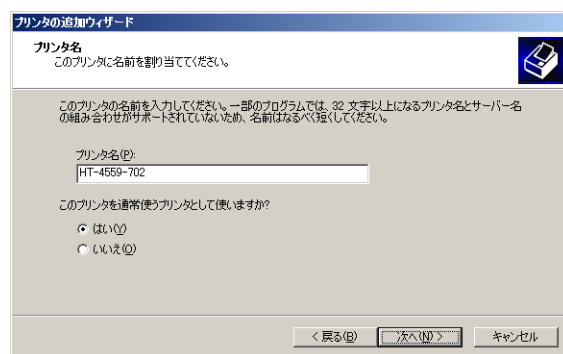
プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
HT-4559-702	2 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-705	5 書体	
HT-4559-702 CS	2 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-705 CS	5 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-922	2 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-925	5 書体	
HT-4559-922 CS	2 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-925 CS	5 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-702A	2 書体 + 8 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-705A	5 書体 + 8 書体	
HT-4559-702A CS	2 書体 + 8 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-705A CS	5 書体 + 8 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-922A	2 書体 + 8 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-925A	5 書体 + 8 書体	
HT-4559-922A CS	2 書体 + 8 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-925A CS	5 書体 + 8 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-702B	2 書体 + 4 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-705B	5 書体 + 4 書体	
HT-4559-702B CS	2 書体 + 4 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-705B CS	5 書体 + 4 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-922B	2 書体 + 4 書体	スタンダードフィニッシャー
HT-4559-925B	5 書体 + 4 書体	
HT-4559-922B CS	2 書体 + 4 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー
HT-4559-925B CS	5 書体 + 4 書体	コンテナスタック 1 台
		コンテナスタック 2 台
		コンテナスタック 1 台とスタンダードフィニッシャー

参考 JIS2004 対応または日立書体対応フォントを増設してご使用の場合、下記モデルを選択してください。
 JIS2004 対応フォント使用時
 「2 書体 + 8 書体」または「5 書体 + 8 書体」
 日立書体対応フォント使用時
 「2 書体 + 4 書体」または「5 書体 + 4 書体」

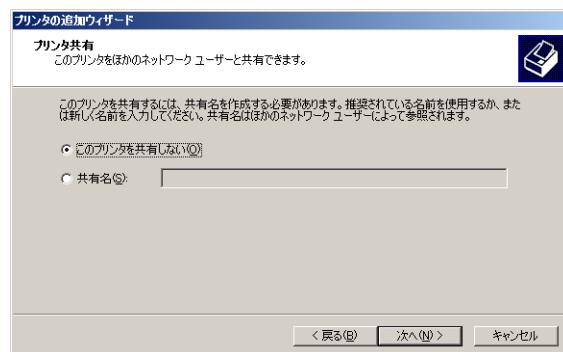
12 下図のダイアログが表示された場合は、[新しいドライバに置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



13 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

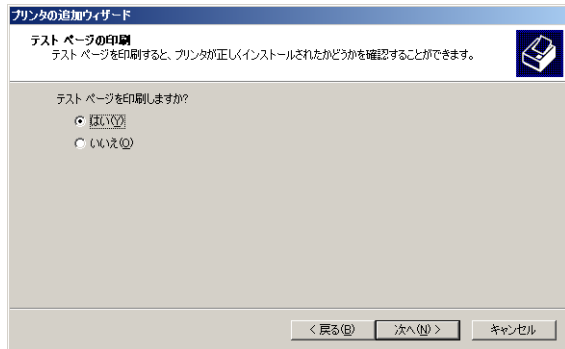


14 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

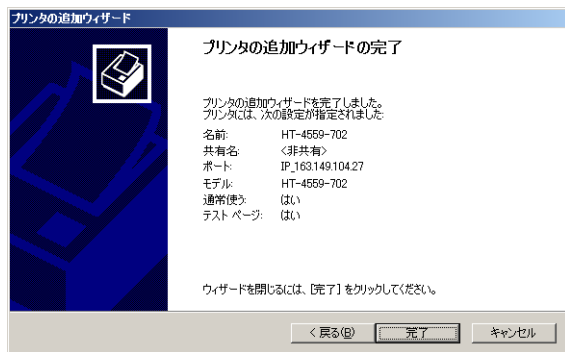


ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。

15 プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するには [はい] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

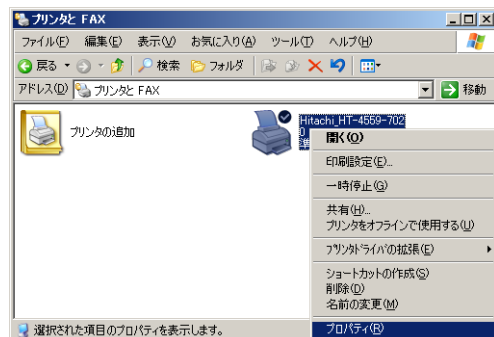


16 [完了] ボタンをクリックします。

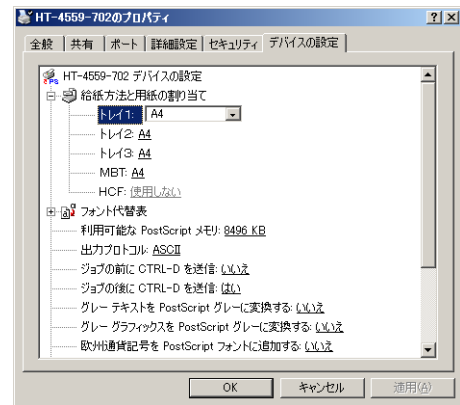


17 [ハードウェアのインストール] ダイアログが表示されますので、[続行] ボタンをクリックします。ここでファイルのコピーが行われ、[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが追加されます。

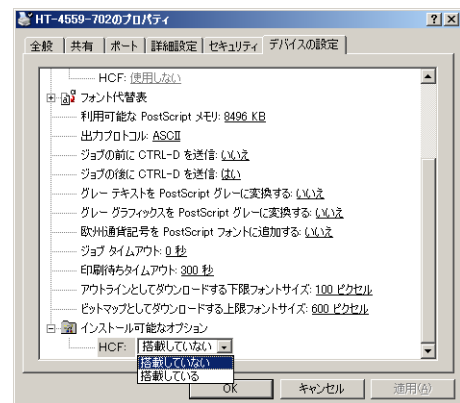
18 次に [デバイスオプション] の設定をします。[プリンタと FAX] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



19 [デバイスの設定] タブをクリックします。



20 リストをスクロールさせて、[インストール可能なオプション] を表示します。ここでオプション装置の装着状況を設定します。



注意

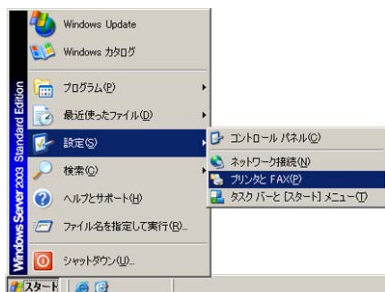
コンピュータとプリンタをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

21 [OK] ボタンをクリックして [プロパティ] を閉じます。

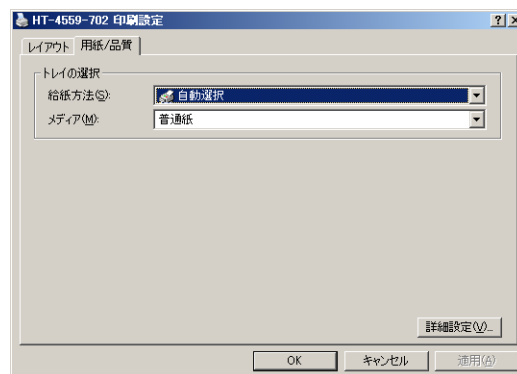
5.2.2 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更するには、次の手順で [印刷設定] を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

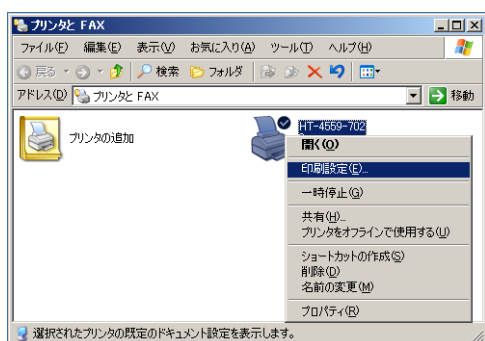
- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



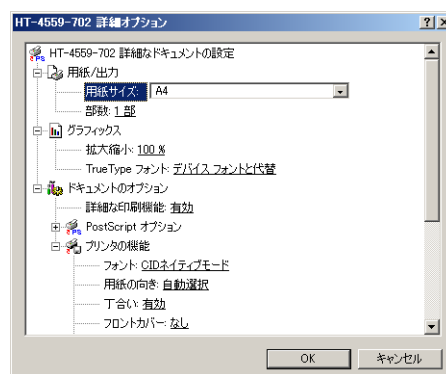
- 4** さらに [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



- 2** Windows Server 2003 の場合
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



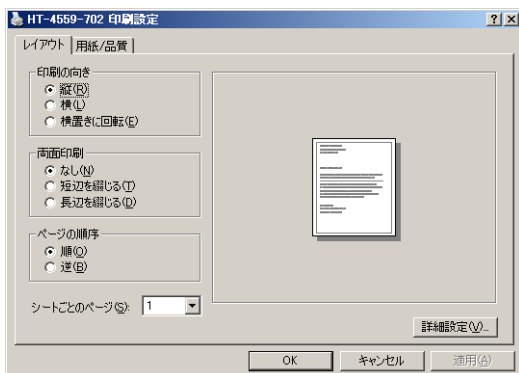
- 5** 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



Windows XP の場合

プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [印刷設定の選択] をクリックします。

- 3** [レイアウト] [用紙 / 品質] タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



! 各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、「5.3 プリンタ固有機能」の説明もご覧ください。

5.2.3 アプリケーションソフトからの印刷

アプリケーションソフトから印刷するときプリンタドライバの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。

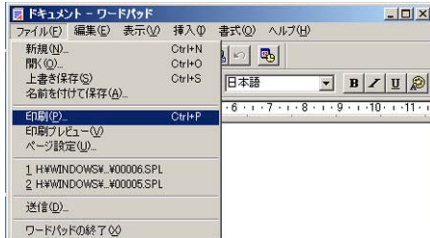


注意

アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。以下の手順は Windows Server 2003 付属のワードパッドの例です。

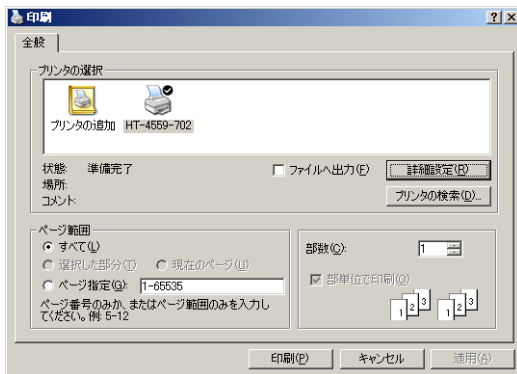
1

アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



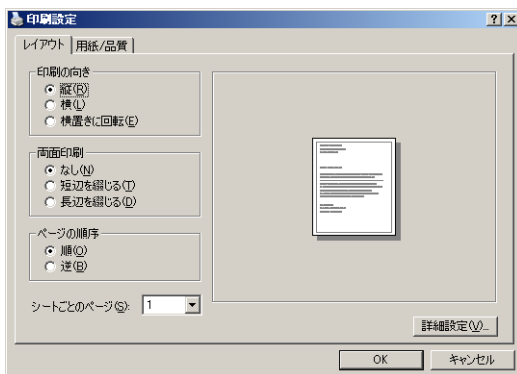
2

[プリンタの選択] リストから PostScript プリンタドライバを選択して [詳細設定] ボタンをクリックします。



3

[詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。

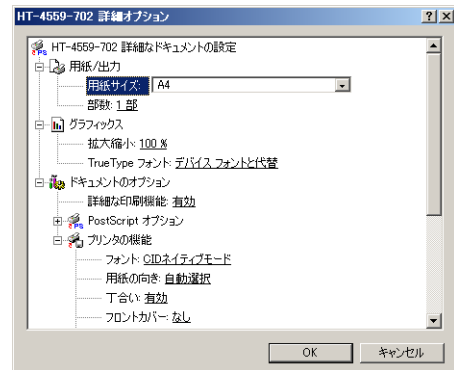


ポイント

各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、「5.3 プリンタ固有機能」の説明もご覧ください。

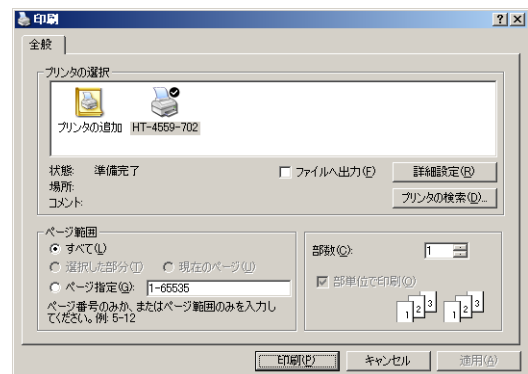
4

プリンタドライバの設定を変更したら [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



5

[印刷] ボタンをクリックすると印刷処理が開始されます。



注意

アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステーブルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に動きません。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。



参考

Adobe PageMaker から印刷する場合は、ご購入のプリンタに対応したプリンタ記述 (PPD) ファイルが必要です。「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の「PScrit」フォルダに格納してある PPD ファイルを、PageMaker 本体がインストールされているフォルダの [Rsrc] → [Japanese] → [PPD4] フォルダにコピーしてください。PageMaker からの印刷については、PageMaker のマニュアルをご覧ください。

5.3 プリンタ固有機能

プリンタ固有機能の設定項目について説明します。



プリンタドライバで「プリンタの機能」を表示するには、本章の「プリンタドライバの初期値変更」「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。

◇ 用紙サイズ（初期値：A4）

印刷する用紙サイズを選択します。



用紙サイズの [Ledger] (11x17 inch) と [SuperB] (12x18 inch) については、製品仕様の名称とは異なり、次の名称が画面表示されます。

(製品仕様) Ledger → (画面表示) Tabloid
(製品仕様) SuperB → (画面表示) 12x18

◇ 両面印刷（初期値：なし）

用紙の裏側に印刷するページイメージの向きによって [短辺を綴じる] または [長辺を綴じる] を選択します。

◇ 給紙方法（初期値：自動選択）

用紙を給紙するトレイを選択します。[自動選択] の場合は [用紙サイズ] [用紙の種類 (メディア)] [用紙の向き] の指定にマッチしたトレイが選択されます。



[MBT] から給紙する場合は、プリンタの操作パネルで次の設定を行ってください。

- (1) [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] → [MBT] で、MBT にセットした用紙サイズを設定する。
- (2) [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

◇ 排紙先選択 / 排出方法（初期値：プリンタ初期値）

用紙の排紙先を指定します。

◇ 用紙の種類 / メディア（初期値：普通紙）

印刷する用紙の種類を選択します。トレイにセットした用紙の種類をご確認の上、指定してください。

◇ フォント（初期値：CID ネイティブモード）

通常は [CID ネイティブモード] を選択します。OCF フォントを使用する場合や文字の印刷に関して問題が発生した場合には [OCF コンパチブルモード] へ切り替えてください。

◇ 用紙の向き（初期値：自動選択）

通常は [自動選択] で印刷を行ってください。

給紙トレイに用紙をセットする場合、[用紙の向き] に着目すると次の2つの種類に分けられます。

- ・用紙の長い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (LEF: Long Edge Feed)
- ・用紙の短い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (SEF: Short Edge Feed)

A4 と Letter は LEF/SEF どちらの向きでもセットできますが、その他の用紙サイズについては LEF または SEF のどちらか一方の向きに限定されます。

◇ 丁合い（初期値：有効）

[有効] を選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。[無効] を選択すると、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。



アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に働きません。

◇ フロントカバー（初期値：なし）

給紙トレイを指定すると、文書の先頭にカバーシートを挿入します。

◇ トレイ切り替え（初期値：有効）

[有効]を選択すると、印刷途中で給紙トレイの用紙がなくなった場合に、自動的に他のトレイに給紙先を切り替えて印刷を継続することができます。[無効]を選択すると、印刷途中で用紙がなくなっても他のトレイへの自動切り替えは行われません。



【トレイ切り替え】は、用紙サイズの他に用紙の種類、重量、向き（LEF/SEF）、それぞれの条件がすべて一致している他のトレイがある場合に行われます。

◇ 排出方法（初期値：フェースダウン）

[フェースアップ]を選択すると、片面印刷時に印刷面が上向きとなるように用紙を排紙します。



用紙送り方向に対して長さが9inch (228.6mm)を超える用紙は[フェースアップ]で排紙することができないか推奨されていません。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

◇ ジョブオフセット（初期値：無効）

[有効]を選択すると、印刷ジョブ単位、部単位でのオフセット排紙を行います。

◇ 印刷可能領域（初期値：余白なし）

[余白なし]を選択すると、用紙全面に縁なしで印刷することが可能になります。[余白あり]を選択すると、用紙縁面の印刷保証領域外の部分には印刷を行いません。

◇ アミ点形状、スクリーン線数、スクリーン角度（初期値：プリンタ初期値）

ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。[スクリーン線数][スクリーン角度]で[プリンタ初期値]以外の値を指定するには、まず[アミ点形状]で[プリンタ初期値]以外の形状を選択してください。



スクリーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンタ解像度との相互関係により変化します。このため、[スクリーン線数][スクリーン角度]の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバでの[アミ点形状][スクリーン線数][スクリーン角度]の指定を無効にするものがあります。

◇ ステープル位置（初期値：なし）

[エレベータトレイ]に排紙するときに、用紙縁面中央2箇所、用紙コーナー1箇所のいずれかを選択します。

設定値	ステープル位置
印刷の向き（縦）左上	
印刷の向き（縦）右上	
印刷の向き（縦）左中央（LEF）	
印刷の向き（縦）右中央（LEF）	
印刷の向き（縦）上中央（SEF）	
印刷の向き（横）左上	
印刷の向き（横）右上	
印刷の向き（横）上中央（LEF）	
印刷の向き（横）左中央（SEF）	
印刷の向き（横）右中央（SEF）	



ステープル位置は、文書の印刷の向き（縦／横）、用紙サイズ、用紙の向き（LEF / SEF）などの設定により異なります。

5.4 カスタムサイズ用紙に印刷するには

ポイント プリンタ操作パネルの [プリンタ設定] → [用紙設定] → [用紙サイズ] で、カスタム用紙のサイズを設定します。プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

参考 プリンタ操作パネルの [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を印刷条件に応じて変更します。ベストフィット機能は、アプリケーションソフト上の用紙サイズと異なる用紙に印刷する場合に有効です。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 Windows XP/Server 2003 の場合
[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

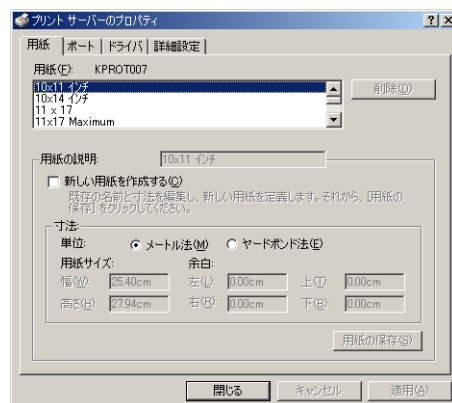
Windows 8 の場合
[スタート] 画面にて背景を右クリックし、画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択すると、[アプリ] 画面が表示されます。[アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

Windows Server 2012 の場合
[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

2 Windows XP/Server2003 の場合。
[ファイル] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

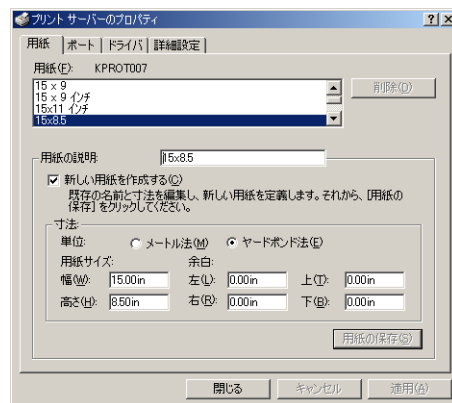
Windows Vista/Server 2008 の場合。
プリンタリスト上で右ボタンをクリックして [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合。
Fax またはプリンタを選択し、画面上の [プリントサーバープロパティ] をクリックします。



3 [用紙] タブ上で、[新しい用紙を作成する] をチェックし、幅と高さを設定して [用紙の保存] ボタンをクリックします。

参考 たとえば、15x8.5 インチの用紙サイズをすべて余白無しで作成した場合は下記のようになります。





Windows Server 2008 R2 の場合は、[用紙設定の変更] ボタンをクリックして [新しい用紙を作成する] をチェックし、幅と高さを設定して [用紙の保存] ボタンをクリックします。



アプリケーションソフト上では新しく追加した用紙サイズ名を直接指定します。新しく追加した用紙サイズは、アプリケーションソフトとプリンタドライバとの組み合わせにより正しく動作しない場合があります。あらかじめ試し印刷を行い、正しく印刷できることを確認してからご使用ください。

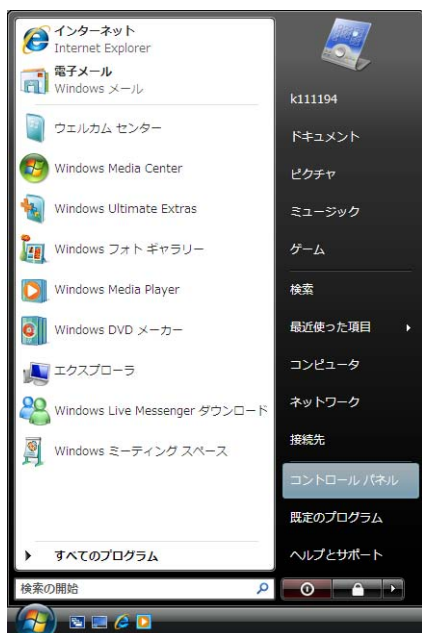
5.5 プリンタドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバのバージョン情報は次の画面でご確認ください。

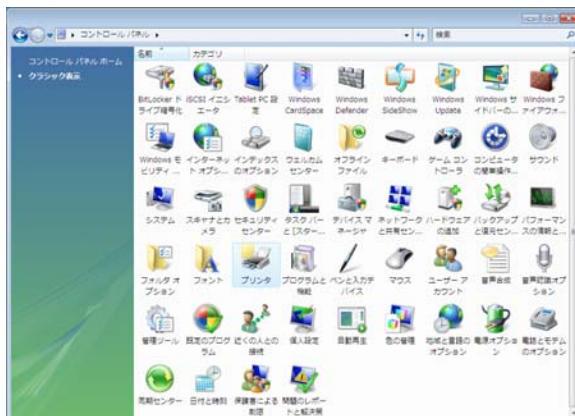
5.5.1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 標準 Post-Script プリンタドライバ

説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



2 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



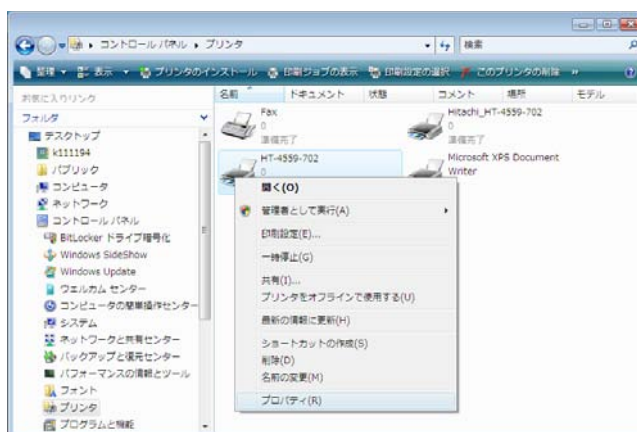
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。してください。

参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

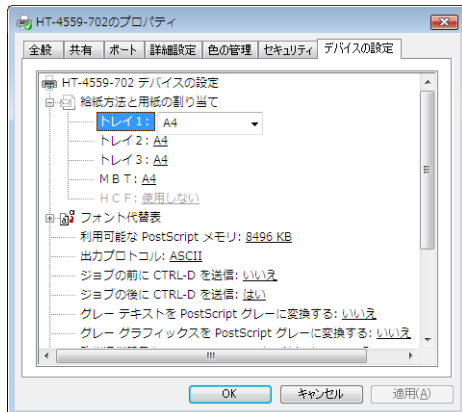
参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

3 プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 4** [デバイスの設定] タブを選択し、[...] デバイスの設定」と表示されている部分をクリックします。さらに右クリックして [バージョン情報] を選択します。



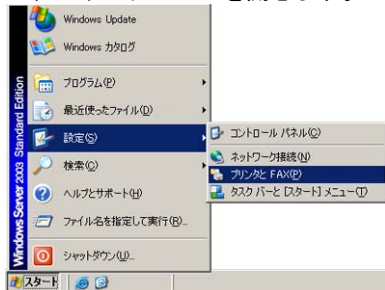
- 5** バージョン情報を確認します。



5.5.2 Windows XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタドライバ

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。

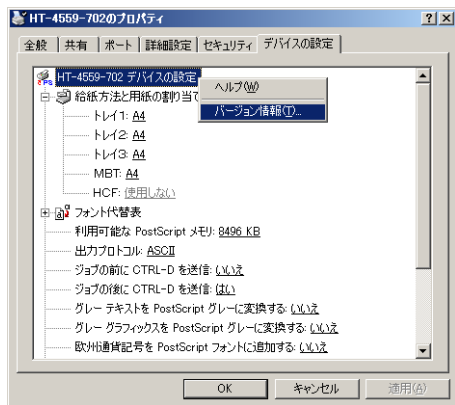


- 2** Windows Server 2003 の場合
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。
右ボタンをクリックして[プロパティ]を選択します。

Windows XP の場合

プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [プリンタのプロパティの設定] をクリックします。

- 3** [デバイスの設定] タブをクリックします。さらに [...] デバイスの設定 と表示されている部分を選択して、右クリックします。



- 4** [バージョン情報] を選択します。



HITACHI
Inspire the Next